令和4年度評価結果

令和5年10月

新潟市水道局

施策I	水質管理の充実・強化			事業·取組名	I – 1	水源水質の	 監視									所管課	水質管	管理課
① 事業概要																		
<u> </u>	【事業の目的】	同一の水源を	利用する水道事業の	本や関係機関と	と連携し、情	報共有体制の	の構築や河川の	D水質調査	₹を行うことにより、浄水処:	理への影響を	未然に防ぎます。							
			令和3年度	Ę			令	和4年度			令和5	F.度				令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	汚濁対策連絡 ・灯油流出など 機関と情報共存 ・水道原水の共 取水する県内引 水質を調査)。 ・浄水施設での	野川両水系水質協議 協議会と連携し水源語の水源水質事故時の の水源水質事故時の 同を確実に実施します。 同調査を実施します 事業体の取水地点のラ	監視を実施します。 監視を実施します。 「365日24時 (信濃川及び阿 ちで代表的な地 監視します。特に	す。 で、関係 時間) 可賀野川から 也点の河川 こ、水質	汚濁対策連・灯油流出が機関と情報・水道原水の取水する県の水質を調査・浄水施設・	間野川両水系 経協議会と連携 などの水源水質 共有を確実に実 の共同調査を実 内事業体の取か)。 での対応が困難	男し水源監事故時の緊施します。 施します。 施します(K地点のうちな物質を監	会(両水協)および水質 視を実施します。 急連絡について、関係 (365日24時間) 信濃川及び阿賀野川から で代表的な地点の河川 に視します。特に、水質 おそれがある項目を調査	汚濁対策連 ・灯油流出な機関と情報す ・水道原水の 取水する県内 水質を調査) ・浄水施設で	賀野川両水系水質絡協議会と連携し水 などの水源水質事故は されるででで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	源監視を実施の緊急連絡です。(365Eでは、信濃川にのうちで代表でを監視します	します。 こついて,関係 24時間) なび阿賀野川か 可な地点の河川	15				
②過程																		
	年度		令和3年度				令	和4年度			令和5	丰度		0.0		令和6年度		
【予算・決算額】 費用はどれくらい	予算額 (a)				1,174,000				1,174,700				1,015,9	00				
かけたか	執行額 (b)			1	1,174,000				1,174,700									
	執行率(%) (b)/(a)				100%				100%				0	%		#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対目	目標	目標	令和4年	度	対目標	目標	令和5年度		対目標	目標	令和	6年度	対目	1標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間			120時間	120時	間		120時間								
時間 (人員) は どれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12か月	100	0%	12か月	12か月	₹	100%	12か月								
	単位あたり の作業量 (c/d)	10時間	10時間			10時間	10時間	間		10時間								
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(1)	⁄ア)	(ア)	(イ)		(イ/ア)	(ア)	(イ)		(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/	′ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果																		
■柏未・刈未	令和2年度実績			F.			A	和4年度				F度		1		令和6年度		
-	・県内12水道事業体を会員として構成される両	・県内12水道事	業体を会員として構		では、水	·	<u> </u>		される両水協では、水道		UMUS	+/文				13/110平皮		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	水協では、水道水の原料となる河川の水質を保全するために連絡通報網の整備や啓発活動に取り組んでいます。両水協の取組みの一つである水質事故時の緊急連絡体制の活用により、水質事故による水道水への被害を未然に防止することができました。	道水の原料となる 備や啓発活動に る水質事故時の 水道水への被害 ・新型コロナウイル 会・第一回幹事 Webで開催しまし 実施計画並びに	る河川の水質を保全 取り組んでいます。両 緊急連絡体制の活を を未然に防止すること とえばいては書面で、 した。両水協の事業 で 予算の審議決定等を を最小限とするための た。	するために連絡: 水協の取組み 用により, 水質! ができました。 より, 令和3年 第2回幹事会 重営に係る基本 を行い, 水質質 迅速かつ適切!	通報網の整の一つであ事故による 度は、総会についてはない方針及び と対対をする は、対策生しな対応をす	水の原料とないの原料とないで発発活動に水質事故時で道水への被きが新型コロナでについてはWI幹事会のみな方針及び実が発生した場	る河川の水質を に取り組んでいま の緊急連絡体集 を未然に防止 ロイルス感染症の EBで開催、第1 対面で開催しまし 他計画並びに予 合に、影響を最	を保全するができる。 はます。両水ができることができることができます。 の影響により、 の幹事会した。両水は ができます。 の審議。	ために連絡通報網の整備 品の取組みの一つである より、水質事故による水 ききました。 う、令和4年度は、総会 は書面で実施し、第2回 品の事業運営に係る基本 決定等を行い、水質異常 なための迅速かつ適切な			交合订	SVA.				▼ ¢₩n	
	に、 影響を取り限とするための近途がり過じな 対応をする準備を整えました。		101%以上	90%~	予定を下回る 90%未満~		1	定を上回る 01%以上	90%~ 100%以下 90%未満~		予定を」		7/2/21/2			予定を上回る 101%以上	90%~	予定を下回る 90%未満〜
		水源の監視及び		1点		水源の監視	及び調査		1点									
		平均(A))	1点		平均	(A)		1点	平均((A)			平均	J (A)			

								初「ベハグーンフ、	ノテ末計画日本ノー	•								
目標設定項目		·]標			令和3年度			令和4年度			令和5年度	Ŧ			令和6年度		
(評価指標)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		71413年度										71110千/支		
	目標(B)		目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度([達成度(D/E		実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
河川水質事故による	0%	0%	0%	0%	0%	100%	3点 加点	0%	100% 39					加点				加点
水道水の影響	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	達成度([()占	実績累計(E)	達成度(D/B	()占	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	-	-	_	_	-	-	3点	-	- 3,	į.								
	目標(B)		目標(B)		実 績(D)	達成度([達成度(D/B		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
水道原水の水質調査	2回	2回	2回	2回	2回	100%	3点 加点	2回	100% 39					加点				加点
7,72,7,1,7,1,7,1,7,1,1,1	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E	()占	実績累計(E)	進捗度(E/C	()占	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	_	-	_	_	-	-	3点	-	- 3,	į.								
	目標(B)		目標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度([達成度(D/B		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
浄水施設での対応が	40	4回	40	40	4回	100%	3点 加点	4回	100% 39					加点				加点
困難な物質の監視	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E	0.5	実績累計(E)	進捗度(E/C	0.占	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	_	-	_	_	-	-	3点	-	- 3,	<u> </u>								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度([実 績 (D)	達成度(D/B		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
							加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E	E/C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度([実 績 (D)	達成度(D/B		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
							加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E	E/C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果																		
	所	管評価				令和3年度			令和4年度			令和5年度	Ę			令和6年度		
					・本事業の活動予算につい	,		・本事業の活動予算につい										
								水道事業体の有収水量は										
					9。共同調宜, 上流調宜 事業計画および年間予算			カ 共同調査、上流調査、技 計画および年間予算につい										
		2性評価】						承認される事案です。感										
事業	業・取組の実	施効率を評	価する。					の決算額が予算額を下回										
					において、繰越金の増額を			において、共同調査費の見										
					する案が承認されました。			額する案が承認されました										
	#II	価結果			予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	1	%	今評価	予算効率		\$43×	許価
	Τā	Ш和木			作業効率	3点	ホルロ 計1 IIII C	作業効率	3点	ボルロ it Tim	作業効率		市の日	⊐ ēT1W	作業効率		孙心口	16十1四
	評価の	観点·結果			外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		ら点/10点	外的要因加点		0.±	/10点	外的要因加点		ᄼ	/10点
					・両水協の活動を通して、			・両水協の活動を通して、			外的安凸加点		OH.	/ 10点	71的安囚加点		UH.	7.10円
					件(例年100件程度)発生													
					迅速な連絡通報と関係機			迅速な連絡通報と関係機										
	r++	±.44===/10*1			系全体の影響を未然に防													
古朱 만선치다		か性評価】	カマキュ たわぎ	T/≖±フ	調査や特別調査を実施し	, 会員事業体の	対益となる情報が得ら	査や特別調査を実施し、	会員事業体の共益とな	る情報が得られま								
事業・取組が目標	宗寺で運成り	るだめに付え	りでのつにか計	F1Щ9る。	れました。			した。										
					・本市に直接影響する事業			本市に直接影響する事業)ませんでしたが、引								
					油流出事故がありましたが	,関係者と連携	して必要な対応を実施	き続き監視および関係者と	との連携を継続します。									
					しました。													
	評	価結果			達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度		総合	合評価	達成度		総合	評価
	評価の	観点·結果			進捗度	3点	С	進捗度	3点	С	進捗度				進捗度			
	p. 1				外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	5点/10点	外的要因加点		0点	/10点	外的要因加点		0点/	/10点
④ 2 次評価結果					ı													
						維持			維持									
					<u> </u>	営審議会総 評	Į.	#	E 営審議会総評		*	Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y	絵 評		*	Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y	注 平	
											η.				η.		re I	
					引き続き,計画に沿って	尹耒で推進9~	acc.	引き続き,計画に沿って	・尹耒で推進すること									
	ľ.	方向性】																

施策I	水質管理の充実・強化			事業・取組名	I – 2 水安	全計画の充実・適	切な運用							所管課	水質管	管理課
事業概要														<u>'</u>		
	【事業の目的】	安全で良質なる	水道水を継続的に供	給するために,	水源からじゃ口	までのすべての過程	における一元的	的な水質管理を行う	「水安	全計画」を評価	10,必要に応じて見	直すことで計画の充実を図	図っていきます。			
			令和3年度				令和4年度				令和5年度			令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)		D運用・評価 以こよる水安全計画の 適宜見直しを行います		施し, ・P	安全計画の運用・ DCAサイクルによる。 要に応じて適宜見	水安全計画の					D評価を毎年実施し、 す。				
2過程																
	年度		令和3年度				令和4年度				令和5年度			令和6年度		
【予算·決算額】	予算額(a)				0				0			0				
費用はどれくらい	執行額 (b)				0				0							
かけたか	執行率(%) (b) / (a)				-				_		#DIV/0!			#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対目標	票	目標 令和	4年度	対目標		目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対[目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	60時間	60時間		60	時間 60	時間			60時間						
時間 (人員) は どれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12か月	100%	6 12	2か月 12	か月	100%		12か月						
	単位あたり の作業量 (c/d)	5時間	5 時間		5	時間 5	時間			5時間						
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア	7) (ア) (1)	(イ/ア)		(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(1)	/ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果	•				· ·	·										
■和木・刈木	令和 2 年度実績		令和3年度				令和4年度				令和5年度			令和6年度		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	・毎年度末に水安全計画の運用について、事故等への対応状況を評価する妥当性の確認を行っています。 ・新たな管理基準値及び、異常時・緊急時対応マニアルに従い、適切な運用をすることができました。	状況を評価する。 ・管理基準値及	び, 異常時・緊急時	ています。	況を に従い, ・管理	年度末に水安全計 評価する妥当性の 里基準値及び、異常 運用をすることができ	確認を行ってい は時・緊急時対	ます。								
			予定を上回る 101%以上	100%以下 90	定を下回る 0%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を 90%オ			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回 90%未満。
		・見直し	1点	水安全	全計画の評価・見直し		1点									

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

1点

目標設定項目	Į į	目標			令和3年度		Ι	令和4年度		Ι	令和5年度				令和6年度	:	
(評価指標)	令和3年度 令和4年度				力和3千皮						コ和り十一支				기계이다/호	1	
净水場「水安全計		目標(B)		実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
画」の評価実施率	100% 100%	100%	100%	100%	100% 3点	加点	100%	100% 3点	加点			(- (-)	加点			(- (-)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
		- C	- -	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- 3点		- the (D)	- 3点		中 (4 (2)	****	(D (D)	b) 45 mm cm	中 体 (5)	\#.+\ric	(D (D)	b) 45 #F CD
	目標(B)目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達放度	(D/B)	外的要因
				D/4 H=1 /5))#### (F (O)	加点	ch/# EE 1 (c))#### (F (O)	加点	D/# E /c)	\44.11F.mm	(= (0)	加点	D/4 = 1 / (5)	\44.11E-17	(5 (0)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	目標案計 (C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	_	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
		□## (D)	□## (D)	虫 纬 (5)	- 本土中 (D (D)	N AD ATT	中 纬 (5)	(D (D)	N Abatical	中 (4 (2)	' *++ c	(D (D)	NAATO	中 (4 (2)	\#.+\ric	(D (D)	N WHELD
	目標(B)目標(B)	日標(B)	日標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	D#### (6)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	加州
	日標系計 (C) 日標系計 (C)	日信系訂 (C)	日信来計 (C)	天祖糸司(C)	進抄及 (E/ C)	0点	天祖糸司(C)	進抄及 (E/ C)		天祖糸司(C)	進抄反	(E/ C)	_	天祖糸司(C)	進抄反	(E/ C)	
	目標 (B) 目標 (B)	口抽 (D)	日無 (b)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実績(D)	法心由	(D/B)	外的要因
	日保(D)日保(D)	日信(D)	日伝 (D)	大 根 (D)	建成反 (D/ b)	加点	大 根 (D)	建成皮 (D/ B)	加点	大 (L)	建冰皮	(0/6)	加点	大 (E (D)	建以反	(0/0)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	日標要計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	жик	実績累計(E)	進捗度(E/C)	жик	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	лж	実績累計(E)	准性度	(E/C)	加州
	口 味和 (C) 口味来 (C)	шижен (С)	шижней (С)	大根赤町 (L)	進沙皮 (L/ C)		大順系引 (L)	進沙皮 (L/ C)		大順系引(L)	進19/反	(L/ C)	_	大根未可 (L)	進沙反	(L/ C)	
	目標(B)目標(B)	日煙 (B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
	日保(D)日保(D)	口信(D)	口(示 (D)	大 根 (D)	建成反 (D/ b)	加点	大 根 (D)	建成皮 (D/ B)	加点	大 (L)	建冰皮	(0/6)	加点	大 (E (D)	建以反	(0/0)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	日標要計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	жик	実績累計(E)	進捗度(E/C)	жик	実績累計(E)	進捗度	(F /C)	лж	実績累計(E)	進捗度	(F /C)	加州
	口标来(I (C) 口标来(I (C)	District (C)	Distriction (C)	大根赤町 (L)	進沙皮 (L/ C)		大順系引 (L)	進沙皮 (L/ C)	_	大順系引(L)	進19/反	(L/ C)	_	大順系引 (L)	進19/支	(L/ C)	
■評価結果																	
一时间机木	所管評価				令和3年度		<u> </u>	令和4年度		T	令和5年度				令和6年度		
	/// 日 I I I III			・水安全計画実施に際し		トレアいませ	・水安全計画実施に際		トレイいませ		13-143-1-12				13-1110-1-72		
				ん。なお、水安全計画の			ん。なお、水安全計画の										
				定以来, 運用状況を振			以来、運用状況を振り										
	【効率性評価】			PDCAサイクルを確実に対		00000	イクルを確実に推進して										
車	「Xが平は評価」 業・取組の実施効率を評	価さる		i b di i y i y y chibytic,	EXEC CV 0.70		1777 Cray(ic)axeo C	0.0.70									
*	未・ 収組の大肥別学で計	Im み の。															
				予算効率	3点	総合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率		緃	合評価	予算効率		经会	許価
				作業効率	3点	С	作業効率	3点	С	作業効率		110	шрт іш	作業効率		AND F	1 p 1 lm
	評価の観点・結果			外的要因加点		点/10点	外的要因加点		点/10点	外的要因加点		οĖ	[/10点	外的要因加点		0占	/10点
				・新潟市内すべての浄水			・新潟市内すべての浄水			71日支四加州		O _M	() 10M	71印文四加州		O _M	10/11
				ました。	場に切いて女当住の	EDUIT FACCION	ました。	い物に切いて女当日の	EDUIT-X-CIJVI								
				・水安全計画を着実に実	≧行する <i>ことによ</i> って :	水源から給水栓		を行い 大規模塩水流	#上時の対応等								
	【有効性評価】			に至るまでのリスクを未然			について本編に追加しま		27-10-07/1/10-43								
事業. 前知が日報	【有効注評価】 票等を達成するために有刻	カズキったかぎ	(本オマ	水の安定供給が可能とな			・水安全計画を着実に		k源から給水栓								
尹未・以祖が日代	示守で達成するために行う	カでの フにか音士	-1Ш90,	効性の高い計画となるよ			に至るまでのリスクを未然										
					,		の安定供給が可能とな										
							の高い計画となるよう、降	随時見直していく予定	です。								
	評価結果			達成度	3点	総合評価	達成度	3点	総合評価	達成度		843	合評価	達成度		<u> </u>	計画
				進捗度	3点	С	進捗度	3点	С	進捗度		ris Co	— p 1 1mm	進捗度		414CV E	4 h 1 lm1
	評価の観点・結果			外的要因加点		点/10点	外的要因加点		点/10点	外的要因加点		٥٨	[/10点	外的要因加点		0占	/10点
④ 2 次評価結果				刀的女囚加無	0.H. 0	m/ 10/m	刀印及四加州) <u></u>	M/ 10M	刀印英四加州		O _M	() 10M	川可交四加州		O _M	10/11
シェグロ個相本					維持			維持		I							
				経	営審議会総評		糸	至営審議会総評		糸	Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y	評		ŧ	経営審議会総	全部	
				引き続き, 計画に沿って	事業を推進すること.		引き続き,計画に沿って	事業を推進すること.									
										I							
	r 144-1																
	【方向性】									I							
										I							
										I							

						初・イク	・メーノフン争:	果肝伽官理	シート											
施 策 I	水質管理の充実・強化			事業·取組名	I – 3	水質管理体制	制の強化											所管課	水質管	理課
事業概要																				
	【事業の目的】		水道水質検査優良 水質監視装置を拡充					生を確保しま	す。											
			令和3年	度			令	和4年度				令和	05年度				4	和6年度		
		水道GLPの網・水質検査機す。	維持・更新 終器の計画的な更新と	更新計画の見直し	しを行いま	○水道GLPの紙・水質検査機す。	維持・更新 経器の計画的な§	更新と更新計	一画の見直しを	行いま	○水道GLPの約・水質検査機す。	維持・更新 経の計画的な更	更新と更新	計画の見直	しを行いま					
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	○水質監視体系 ・主要な配水。 (増設・更 ○その他	系統に管末水質監視	装置を設置します		○水質監視体・主要な配水(増設・引○その他	系統に管末水質	質監視装置を	き設置します。		変更)を設 (増設・勇 (まの他 ・水質管理に	系統に水質自動 :置します。 更新) おける人材育成と	と技術の組	迷承を行いま	す。					
		・水質検査計 します。	画を策定し, 検査計	画及び検査結果	を公表	・水質検査計 します。	画を策定し,核	検査計画及び	「検査結果を公	法	・水質検査計 します。	一画を策定し、検査	查計画及	び検査結果を	を公表					
過程																				
	年度		令和3年	度			令	和4年度				令和	05年度				f	3和6年度		
【予算·決算額】	予算額 (a)			77	7,252,630				89,5	05,220				9	8,654,201					
費用はどれくらい	執行額 (b)			70	0,661,884				89,4	13,124										
かけたか	執行率(%) (b) / (a)				91.5%					99.9%					0%		#	#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対目]標	目標	令和4年	度	対目標	Į	目標	令和5年度	度	対目	目標	目標	令和6年	F度	対目	標
【時間・体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間			120時間	120時間	間			120時間									
時間(人員)は どれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12か月	100	0%	12か月	12か月	3	100%	,	12か月									
	単位あたり の作業量 (c/d)	10時間	10時間			10時間	10時間	1			10時間									
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(1/	⁄ア)	(ア)	(イ)		(イ/ア)	(ア)	(イ)		(イ)	⁄ア)	(ア)	(イ))	(1)	⁄ア)
所管課分析評価 結果·効果																				
	令和2年度実績		令和3年	度			令和	和4年度				令和	05年度				?	和6年度		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	・教育訓練や水質検査機器の保守点検は毎年度当初に実施計画表を作成し、計画的に実施しており2022年2月にはGLP更新審査を予定しています。 ・水質管理技術については、引き続きのJT(On the Job Training)の確実な実施と効果が期待される業務ローテーションを実施しました。 ・令和2年度水質管理計画を検討し、今後求められる水道水質管理の考え方を取り入れた管理計画を策定し、1月に公表しました。	た。 ・教育訓練や水 画表を作成し、 ・コロナの影響で 8月を予定してし ・水質管理技術 Training)の研 実施しました。 ・令和4年度水	見装置については予定 く質検査機器の保守力 計画とおりに実施して を延期となっていたGLI います。 版については、引き続 確実な実施と効果が と取り入れた管理計画を検討し を取り入れた管理計画	点検は毎年度当初 ます。 更新審査について きOJT(On the 別待される業務ロー シ、今後求められる を策定し、1月に	のに実施計 では2022年 Job -テーションを る水道水質	た。 ・コロナの影響で 8月に実施し、 受け、認定を維 ・水質管理技術 Training) の 実施しました。 ・令和5年度が 管理の考え方を	で延期となっていまで 現地審査におい は持しています。 がについては、引 確実な実施と効 K質管理計画を	たGLP更新者 で認定事務/ lき続きOJT り果が期待され を検討し、今後 理計画を策定	審査について、 局からは良好が (On the Job 1る業務ローテ 後求められる水 じ、1月に公	2022年 注評価を ーションを 道水質										
			予定を上に 101%以	上 100%以下	予定を下回る 90%未満~		10	正を工凹る 7.1%以上	90%~	定を下回る %未満~			を上回る 1%以上	予定どおり 90%〜 100%以下	予定を下回る 90%未満~			定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を ⁻ 90%未
		·水道GLPの維		1点		·水道GLPの組			1点											
		人材育成及び	P技術継承	1点		・人材育成及び)技術継承		1点											

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

1点

								初「ヘハノーノン	/ 学来計画官座ン一「								
目標設定項目			標			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
(評価指標)	令和3年度 令	1-19:12	1-11-11	1-14-112	÷ (+ (-)) + D + (- (-)	LI / L	÷ (+ (-)) + D = (- (-)	hi //	÷ (+ (-))	hi / h =====	÷ (+ (-)	\	·- (=)	61.45-TT
		,	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
検査機器の	100%	100%	100%	100%	100%	100% 3点	加点	100%	100% 3点	加点		\(\(\frac{1}{2}\)	加点		Mr. Liberto	(= (=)	加点
保守点検実施率	目標累計(C)目	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
		- -	- -	- (-)	- (± (5)	- 3点		- -	- 3点	ti 45-mm	中 结 (5))	hi /h-mm	中 (= (5)	\# <u>+</u> \-	(D (D)	h1.45-77
			目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
管末水質監視装置	1台	1台	2台	2台	1台	100% 3点	加点	1台	100% 3点	加点	D/4 H = 1 / (5))#### (F (O)	加点	D/# H=1 /F)	\44.11E-m	(5 (0)	加点
設置数	目標累計(C)目	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度 (E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
		_ 目標 (B)				- 3点 達成度 (D/B)	外的要因		- 3点 達成度 (D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	'杏라庄	(D/B)	外的要因
教育訓練実施率			,	,	美 槙 (D) 100%	,	外的安因加点	美 領 (D) 100%		かり安因 加点	美 領 (D)	達 (D/B)	外的妥因 加点	夫 緽(D)	達別及	(D/B)	加点
(訓練実施回数/	100%	100%	100% 目標累計 (C)	100% 目標累計 (C)		100% 3点	加点		100% 3点	加点	安结用註 (F)	*## (F / C)	加炰	中结用計 (r)	*###	(F (C)	川只
予定訓練回数)	目標累計(C)目	目標累計(C)	目標系計(C)	目標系計(C)	夫粮糸訓(E)	進捗度 (E/C)	0点	夫禎糸訓(E)	進捗度 (E/C) - 3点	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	- 目標 (B) E	_ 二無 (D)	- -				外的要因		- 3 <u>只</u> 達成度 (D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
北所や木牡田の	12回	目標(B) 12回	目標(B)	12回	关 模 (D)		加点	天 模 (D)	100% 3点	加点	天 禎 (D)	建成反 (D/ D)	」外的安因	天 禎 (D)	建风反	(D/ B)	加点
水質検査結果の Web公表回数		12四 目標累計 (C)	12四 目標累計(C)	12四 目標累計(C)	実績累計(E)	100% 3点 進捗度 (E/C)	加州	実績累計(E)	100% 3点 進捗度 (E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	加州
Web公衣四数	目標系訂 (C) 目	目標系計(C)	日信系計 (C)	日信系計 (C)	夫粮糸訓(E)	進抄及 (E/ C)	0点	夫禎糸訓(E)	進抄度 (E/ C)	0点	夫禎糸訓(C)	進抄及(E/C)		夫楨糸訓(C)	進抄及	(E/C)	
	日標(B) E	— □ (D)	日 恒 (D)	_ 目標(B)			外的要因	 実績(D)		外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	法出在	(D/B)	外的要因
	日保(D)E	⇒ (D)	口(示 (D)	口伝 (D)	大 (D)	连/队/支(D/ B)	加点	大 根 (D)	建风皮 (D/ D)	加点	大 恨 (D)	建风皮 (D/ B)	加点	大 恨 (D)	建冰皮	(0/0)	加点
	目標累計(C)目	コ標度計 (で)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加黑	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加州
	日标来訂(C) E	当信来記(C)	日标来訂(C)	日信来訂(C)	大根米il (L)	進抄及 (L/ C)	-	大根米司(口)	進抄及(L/C)		大根米司(口)	進抄及 (L/ C)	-	大根米司(口)	進抄反	(L/ C)	-
■評価結果																	
■町御和木	所管:	≕亚⁄邢				令和3年度			令和4年度		Ī	令和5年度			令和6年度		
	/// [ртіш			・CLD認定維持に係る予	らいては適切に執行	されました	・GLP更新審査に係る予		行されました		13-1123-1-752			D-HO-T-IX	•	
事	【効率性 業・取組の実施		西する。		い,ICP分析装置を廃」 抑えられました。 ・水質管理における人材	SEM/EDS法へ完全移行 上ししたため、これに係る 育成・技術の継承につい から特別の予算は計上し	修繕費用がては, 主に	・水質検査に係る予算に・水質管理における人材 OJTにより進めていること	育成・技術の継承につ	いては、主に							
	評価				予算効率	3点 総合	h評価	予算効率	3点 総	合評価	予算効率	% ₩≤	5評価	予算効率		松公	↑評価
					作業効率		С	作業効率	3点	C	作業効率	市位日	-1 1 Imi	作業効率		/IVC> E	4 b 1 lm
	評価の観	点·結果			外的要因加点		~ /10点	外的要因加点		氢/10点	外的要因加点	0点。	/10点	外的要因加点		0占	/10点
事業・取組が目標	【有効性 票等を達成する		であったか評	価する。	・GLP認定を維持している 準以上の技術力を確保し り客観的に保証されるとい に行うことは、本市新・マス 頼される水道」を目指すに ・水質管理における人材育	ということは,本市の水質検 ,その検査精度について第 うことです。水道水の安全性 タープランに掲げる「すべての は不可欠の取組みです。 引成・技術の継承にあたって(育訓練を着実に実施するご	査が一定水 三者機関によ 保証を確実 のお客さまに信 は、分析技術	・GIP認定を維持している 準以上の技術力を確保し り客観的に保証されるとい に行うことは、本市新・マス 頼される水道」を目指すに ・水質管理における人材育 の計画的な習得を進め教 果を現場に反映できるよう	ということは、本市の水質、その検査精度についてきることです。水道水の安全タープランに掲げる「すべては不可欠の取組みです。 が成れていますが、 が成れていますが、 が、技術の継承にあたっ 育訓練を着実に実施する	検査が一定水 第三者機関によ 性保証を確実 のお客さまに信 では、分析技術		, , ,				- 100	
	評価組	結果			達成度	3点 総合	許価	達成度	3点 総	合評価	達成度	総合	>評価	達成度		総合	5評価
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				進捗度	-7111	C	進捗度	3点	С	進捗度			進捗度			
	評価の観	点・結果			外的要因加点		/10点	外的要因加点		[/10点	外的要因加点	0点/	/10点	外的要因加点		0点.	/10点
④ 2 次評価結果					-			•			-				•		
						維持			維持								

経営審議会総評

引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

経営審議会総評

経営審議会総評

経営審議会総評

引き続き、計画に沿って事業を推進すること.

【方向性】

施策I	水質管理の充実・強化			事業·取組名 I -	- 4 新潟市	虫自の管理目標	票による水質管	理						所管課	水	質管理課
①事業概要														"		
	【事業の目的】	国が定める	が質基準値等より厳い	ハ, 本市独自の「安	全性とおいしさ)基準」である管	言理目標値を設	设定し, より安全でおいし	い水道水の	共給に取り組んでいきます。						
			令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	・農薬類, 独自の管理	目標による水質管理総トリハロメタン,残留は 総トリハロメタン,残留は 目標値により管理を行い じて独自管理目標値の	ます。	いて ・農薬 独自の	管理目標値によ	メタン,残留塩 り管理を行いま	i素,臭気強度について isす。 記直しを行います。	・農薬類、 自の管理目	担目標による水質管理総トリハロメタン、残留塩素機・リハロメタン、残留塩素標値により管理を行います。 で、水自管理目標値の見	r.					
2過程																
	年度		令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
【予算·決算額】	予算額 (a)			35,755	,500			47,272,500)		56,80	8,180				
費用はどれくらい	執行額 (b)			27,253	,710			31,227,218	3							
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			76	5.2%			66.1%	o			0%		#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和	14年度	対目標	目標	令和5年度	対目標		目標	令和6年度	:	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	120時間	120時間		120時	間 120	O時間		120時間							
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12か月	100%	125)	12	2か月	100%	12ヶ月							
	単位あたり の作業量(c/d)	10時間	10時間		10時	图 10	時間		10時間							
1	(月あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	((1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)		(ア)	(1)	(イ/ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果																
	令和2年度実績		令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	・令和2年度については、残留塩素管理目標達成率が目標を下回りましたが、他の項目については目標を達成できました。 ・残留塩素管理については、8月~9月の高水温の影響で塩素注入率が上がり、達成率が下がりました。各浄水場の給水区域の特性を評価し、管網末端における消毒効果を確保しつつ浄水場出口の残留塩素濃度を低く抑える取り組みを進め、水質管理体制の強化を図っていきます。	を下回りまし ・残留塩素質 う管末での残値を超える地 ・各浄水場の 毒効果を確	管理については,夏季(浅塩低下により残塩管理	は目標を達成できま 猛暑)の気温上昇 式を引き上げたため 話し、管網末端におけ 銭留塩素濃度を低く	した。 を下回り で伴 ・残留地 管網末 標値を制 ・各浄水 中え ・毒効果 る取り組	ましたが、他のび 素管理について 帯での残塩低下 登える地点が多い 場の配水区域 を確保しつつ浄	頁目については には、夏季(猛 により残塩管 くなりました。 の特性を評価 水場出口の残 に管理式の改良	理目標達成率が目標 目標を達成できました。 器)の気温上昇に伴う 理式を引き上げたため目 し、管網末端における消 留塩素濃度を低く抑え 見を行い、水質管理体制								
		 独自管理目標 	予定を上回る 101%以上	100%以下 90%元	≅満~	目標値による水質管	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上		を下回る		予定を上回る 101%以上	予定どお 90%~ 100%以	アルをトロ
		理	配による小貝官	1点	理	口伝唱による小賞官		1点								+-

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

平均(A)

1点

						新・マスタープラ	ン事業評価管理シート								
目標設定項目 (評価指標)	目標 令和3年度 令和4年度 令和5年	度 令和6年度	F	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
農薬濃度	目標 (B) 目標 (B) 目標 (100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100	B) 目標 (B)	実績(D) 100%	達成度	(D/B) 外的要 3点 加点	国 実績(D) 100%	達成度 (D/B) 100% 3点	外的要因加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点
管理目標達成率	目標累計 (C) 目標累計 (C) 目標累計	(C) 目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計 (E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	жик	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	лиж
	- - 目標(B) 目標(B) 目標(B) 目標(B)	- 3) 目標 (B)		達成度	, , , , , , , , , , , , ,	,	- 3点 達成度 (D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
総トリハロメタン濃度 管理目標達成率	100% 100% 100% 目標累計 (C) 目標累計 (C) 目標累計		100% 実績累計 (E)	100% 進捗度	3点 加点 (E/C) 0点	100% 実績累計 (E)	100% 3点 進捗度 (E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	加点
	- - - -			達成度	3点		- 3点 達成度 (D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
残留塩素 管理目標達成率	91% 91% 91% 91% 91% 目標累計 (C) 目標累計 (C) 目標累計 (C) 目標累計 (C) 目標累計 (C) 目標累計		90% 実績累計 (E)	98.9% 進捗度	3点 加点 (F/C)	88% 実績累計 (E)	96.7% 3点 進捗度 (E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度	(F/C)	加点
		_	実 績 (D)	達成度	3点	-	- 3点 達成度 (D/B)	り 外的要因	実 績 (D)	達成度 (D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度		外的要因
臭気強度	100% 100% 1009	6 100%	100%	100%	3点 加点	100%	100% 3点	加点	-		加点				加点
管理目標達成率		-	実績累計(E)	進捗度	3点	実績累計(E)	進捗度 (E/C) - 3点	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度		
	目標(B)目標(B)目標(3) 目標 (B)	実績(D)	達成度	(D/B) 外的要 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計	(C) 目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	_	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-
■評価結果		'			·										
	所管評価			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
事美	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。		・本市独自の管理目標 給するために、浄水場 とにより、目標値を概な ・令和3年度は、秋葉 あり、活性炭を多く使用 用が抑えられました。	と連携し粉末流 達成できました 区の朝日沈砂	5性炭処理を実施する こ。 池からの油流出事故	こ 給するために、浄水場と とにより、目標値を概ね ・令和4年度は、原水な	連携し粉末活性炭処理 達成できました。 k質について、塩水遡上 発生しなかったため比較	を実施するこ や油流出事 的安定してお							
	評価結果		予算効率	4点	総合評価	予算効率	****	合評価	予算効率	総合	>評価	予算効率		総合	評価
	評価の観点・結果		作業効率 外的要因加点	3点	B 7点/10点	作業効率 外的要因加点	3点 0点 7点	B /10点	作業効率 外的要因加点	0点/	∕10点	作業効率 外的要因加点		0点/	∕10点
事業・取組が目標	【有効性評価】 票等を達成するために有効であった <i>1</i>	評価する。	・本市独自の管理目標 給する取組みは、本市 まに信頼される水道」を 炭の注入率と注入手法 とから、今後とも調査研	, マスタープランに 目指すには不可 については浄z	こ掲げる「すべてのお客 可欠です。ただし,活 K費の増加と関連する	き 給する取組みは、本市 生 に信頼される水道」を目	指すには不可欠です。た ついては浄水費の増加と	べてのお客さま だし、活性炭		,					

(1)	2	沙 割	加布经	Œ

評価結果

評価の観点・結果

達成度

進捗度

外的要因加点

3点

3点 0点

総合評価

С

6点/10点

受 2 次 計 				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.	引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

達成度

進捗度

外的要因加点

総合評価

С

6点/10点

達成度

進捗度

外的要因加点

総合評価

0点/10点

達成度

進捗度

外的要因加点

総合評価

0点/10点

3点

3点 0点

					初1-12	くタープラン事業評価	847 I						
施策I	水質管理の充実・強化			事業·取組名 I - 5	分かりやすいる	水質情報の提供						所管課	水質管理課
事業概要													
	【事業の目的】	安全でおい	しい水や災害時での水の)安定供給など、多様化で	するお客さまのニ	ニーズに対し、水道水をは	らいしく飲める啓発活動やニ	一ズにあった情	報提供などを行い、水道	道水に対する信頼性を高め	かます。		
			令和3年度			令和4年度	E		令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	・ろ過実験t への理解を注 見極め、実 ・小学校向! ○分かりやすで ・最新の情報 ・水質管理! 活用します。	施可能か判断します。 けブレゼンテーションのスキ い情報提供 暇やデータを盛り込んだパ に関する情報提供のツー	いては、感染症の状況を ルアップを図ります。 ンフレット等を作成します。 ルとしてインターネットを	・ろ過実験や への理解を終 見極め、実施・小学校向い ○分かりやすい ・最新の情幸・水質管理の 活用します。	徳可能か判断します。 けプレゼンテーションのスキ √情報提供 最やデータを盛り込んだバ □関する情報提供のツー	いては、感染症の状況を ・ルアップを図ります。 ンフレット等を作成します。 ルとしてインターネットを	への理解を済 ・小学校向に ○分かりやすい ・最新の情報 ・水質管理に 活用します。	きき水を実際に体験して 深める「体験型広報」を充 ナプレゼンテーションのスキリ い情報提供 最やデータを盛り込んだパン こ関する情報提供のツール	実させます。 ルアップを図ります。 ルフレット等を作成します。 レとしてインターネットを			
過程													
	年度		令和3年度	:		令和4年度	Ę		令和5年度			令和6年度	
【予算·決算額】	予算額 (a)			334,070)		335,170			0			
費用はどれくらい	執行額 (b)			206,030)		0						
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			61.7%	ò		0%		#DIV/0!			#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	120時間	90時間		120時間	90時間		120時間					
時間(人員)は どれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	12ヶ月	12か月	75.0%	12ヶ月	12か月	75.0%	12ヶ月					
	単位あたり の作業量(c/d)	10時間	7.5時間		10時間	7.5時間		10時間					
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
所管課分析評価													
結果·効果	令和 2 年度実績	l	令和3年度		Т	令和4年度	:		令和5年度			令和6年度	
【実施結果・効果】 3業・取組の結果は	・感染症防止のため、例年実施していた「簡易ろ 過実験」「臭気検査」「きき水体験」などの体験型 広報は、実施しませんでした。 ・小学生向けプレゼンテーションの資料を見直し、 水質管理について理解を深めてもらうための広報 活動の準備を整えました。 ・パンプレットについては、感染症の影響により配 布の機会がなくなったため、作成しませんでした。 ・本市ホームページにおいて、マンガヤイラストを活	易ろ過実験」・感染症防山体験」などのかい学生向けついて理解を・パンフレットに同新しまし、本市ホームを	N減少した期間に、感染を1回実施しました。 を1回実施しました。 このため、例年実施して 本験型広報は、実施で けプレゼンテーションの資料 深めてもらうための広報 こついては、最新の情報 た。	症対策を講じたうえで「簡いに「臭気検査」「きき水きませんでした。 を見直し、水質管理に 活動の準備を整えました。 やデータを盛り込んだもの マラストを活用した水質	易ろ過実験」 ・感染症防止体験」などの化・小学生向けいて理解を深・パンフレットに数あったため、・本市ホーム/	減少した期間に、感染 を1回実施しました。 のため、例年実施してい 体験型広報は、実施で ブレゼンテーションの資料 めてもらうための広報活 こついては、コロナ禍の影 作成を行いませんでしま	症対策を講じたうえで「簡いた」臭気検査」「きき水きませんでした。 体を見直し、水質管理につ動の準備を整えました。 響で過年度の在庫が多き。 イラストを活用した水質検		でいます。			万和6年度	

予定を上回る

101%以上

予定を下回る

0点

平均(A)

90%未満~ 90%~

1点

0.5点

予定を上回る

101%以上

予定を下回る

平均(A)

90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~

予定を上回る

101%以上

予定を下回る

90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~

予定を上回る

101%以上

・啓発活動の継続

・分かりやすい情報提供

平均(A)

予定を下回る

・啓発活動の継続

・分かりやすい情報提供

平均(A)

90%未満〜 100%以下 90%~

1点

0.5点

									新・マスターノフン	ノ争来評価官坦シート									
目標設定項目			1標	1		令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
(評価指標)			令和5年度			\+ b-	(= (=)	hi 46	d= (+ (=)) + D + (- (-)	51.45-TT	d= (+ (=)	\+ 1\-	·-	H / L TT TO	÷ (+ (-)	\	· · · · · ·	61.45-mm
44.50 mil - + + D			目標(B)		実 績 (D) 1回	達成度		外的要因	実績(D) 1回	達成度 (D/B)	外的要因加点	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点
体験型広報 年間実施数	12回	12回 目標累計 (C)	12回 目標累計 (C)	12回 目標累計 (C)	実績累計(E)	8.3%	1点 (E/C)	加点	実績累計(E)	8.3% 1点 進捗度 (E/C)	加只	実績累計(E)	*###	(F (C)	加点	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	ル只
中间天爬奴	日標系計 (C)	日信系計 (C)	日標系訂 (C)		夫禎糸訓(E)	進抄及		0点	夫禎糸訓(E)		1点	夫禎糸il(E)	進捗度	(E/C)	-	夫禎糸訓(C)	進抄及	(E/C)	
		- -	口悔 (D)			- 法武府	1点 (D/B)	b) shares	 実績(D)	- 1点 達成度 (D/B)	N WATER	宇 絓 (D)	達成度	(D /B)	となる	実 績 (D)	達成度	(D /B)	从价而压
	日信(B)	日標(B)	目標(B)	日標(B)	夫 禎 (D)	建	(D/B)	外的要因 加点	夫 禎 (D)	運成長 (D/B)	外的要因 加点	実績(D)	建	(D/B)	外的要因 加点	夫 楨 (D)	建	(D/B)	外的要因 加点
		口標型計 (C)	目標累計(C)		実績累計(E)	光 排弃	(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E/C)	mm.	実績累計(E)	冶	(E/C)	加州	実績累計(E)	准 排弃	(E/C)	ル川
	日伝来訂(C)	日信来訂 (C)	日伝来ii (C)	日保来訂 (C)	天祖糸司(C)	進抄反	(E/ C)	0点	天祖糸司 (こ)	進抄及 (E/ C)		天祖糸司 (こ)	進抄反	(E/ C)	-	天祖糸司(C <i>)</i>	進抄反	(E/ C)	-
	日煙 (B)	一 日煙 (B)	目標(B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
	口(示 (D)	口伝(D)	口(示 (D)	口伝(D)	大 (貝 (D)	连/队/支	(0/0)	加点	大 /貝 (D)	建成皮 (D/ D)	加点	大 /貝 (D)	连/从/文	(0/0)	加点	大 順 (D)	连风反	(0/0)	加点
	目標要計 (C)	日標累計 (C)	目標累計(C)	日標累計 (C)	実績累計(E)	准批度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	Энли	実績累計(E)	進捗度	(F/C)	лим	実績累計(E)	准批度	(E/C)	//н/ш
	HIJORDI (C)	E MOREIT (C)	HIJORDI (C)	Elistrati (C)	<u> </u>	Z=127/Q	(L) ()	- 0点	7497KBT (C)	/E/J/(C/		7497KBT (C)	Z=12/3	(L) ()	1	X1927KBT (E)	AE17/X	(L) ()	1
	日煙 (B)	日煙 (B)	目標(B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
	DIX (D)	DIX (D)	DIX (D)	DIX (D))(I)((B)	2012	(5, 5,	加点)(1)A (D)	2213412 (37 3)	加点)(1)A (D)	2213012	(5, 5,	加点)(ijk (b)	22/3/2	(5, 5,	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	BAA.	実績累計(E)	進捗度(E/C)	, sexu	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	247	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	24/11
					JUNEAU (E)	X=12/1X	(2) 0)) (1) (1) (1)) (1) (1) (1)	~=1712	(2) 0)) (I) (I)	×=17/12	(2) 0)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
									-										
■評価結果					•				•			•							
	所	管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
事	所管評価 【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。				・入札により、水源保全お成業務に係る費用を抑えるした。 ・また、水源保全および水直しました。 ・昨年度に引き続き、感鉢験」などは実施できませんで、感染者数が減少した時期した。	ることができたが 質管理センタ 全症防止のたる した。	こめ, 予算交 PRパンフル か, 「臭気検	か率が向上しまかりの構成を見る	ついては、コロナ禍の影響 作成を行わず、予算効率 ・昨年度に引き続き、感 体験」などは実施できませ	をが向上しました。 染症防止のため、「臭気 せんでした。 「期に、「簡易ろ過実験」 見据え、簡易ろ過実験	なあったため、 検査」「きき水 を1回実施で								
	11年	価結果			予算効率	3点	- <u>\$</u>	合評価	予算効率	3点 総	合評価	予算効率		総合	許価	予算効率		総合	·評価
					作業効率	3点		С	作業効率	3点	С	作業効率	+	/INUA E	- PI IIM	作業効率	+	AACA E	- P I IIII
	評価の	観点·結果			外的要因加点	0点	4	/10点	外的要因加点		/10点	外的要因加点		0点。	/10点	外的要因加点		0点	/10点
事業・取組が目札		か性評価】 るために有効	かであったか評	価する。	能となります。感染症の影	に精通した職により、お客 により、お客 スタープラン(ど響を見極)	員が水道が さまが抱くかの理念を実 り、広報活	くの安全性を く質的な不安 現することが可 動が実施可能	・広報の充実については 要課題です。水質管理 分かりやすく広報すること 感を払拭し、本市新・マ、 能となります。感染症の か判断し、水道水質のい きます。	こ精通した職員が水道』 により、お客さまが抱く水 スタープランの理念を実明 影響を見極め、広報活動	くの安全性を 質的な不安 引することが可 か実施可能								
	評	価結果			達成度	1点	総	合評価	達成度	1点 総	合評価	達成度		総合	計評価	達成度		総	>評価
	gar far -	48 F /+ C			進捗度	1点		D	進捗度	1点	D	進捗度				進捗度			
	評価の	観点·結果			外的要因加点	1点		/10点	外的要因加点	1点 3点	/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
④ 2 次評価結果					-				•			•	•				•	*	
						維持				維持									
					4-		\- -		67	7#4 ===		67	7.***** ^ #	\- 		44	7.***** ^ #	\- 	

	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること、ただし、コロナ 禍が長期化する現状において、当初計画通9の実施が困難 だった事業については、感染症流行下における事業継続に十	動については, 感染症禍の終息状況を見極め, 段階的に活		
【方向性】	分に配慮しつつ,状況を見て実施できるものから実施したり, 代替手段を講じるなどの工夫を,必要に応じて検討すること.	到の行用に分めることが主ましい。		

						和・イン	ペメーノフンテ来的	画音車シート								
施策Ⅱ	給水装置における水質保持			事業·取組名	Ⅱ - 1	学校施設の	火飲み水栓の直結	含水化						所管課	管	路課
事業概要														<u>'</u>		
	【事業の目的】	じゃ口から水を飽	飲むという水道の文化	どを引き継ぎ、	次世代を担	う子供たちがた	k道水のおいしさを。	り実感できるよ	う、小中学校の)水飲み水栓(の直結給水化に取り	組みます。				
			令和3年度				令和4:	F度			令和5年	:度		令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	大規模改修計	と連携 施設整備指針に基づ 計画に併せ、教育委員 水化を促進していきる	会と連携し、		大規模改修	会と連携 校施設整備指針に 修計画に併せ、教育 給水化を促進して	委員会と連携		大規模改作	校施設整備指針に	基づき、小中学校における 委員会と連携し、水飲み いきます。				
過程																
	年度		令和3年度				令和4	F度			令和5年	度		令和6年度		
【予算·決算額】	予算額 (a)				0				0				0			
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)				0)			0							
ינובו (אינו	執行率(%) (b) / (a)				-				-		#DIV/	' 0!		#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対	目標	目標	令和4年度	3	村目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対'	目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	10	20			1回	20			1回						
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	1年	1年	20	0%	1年	1年	:	200%	1年						
	単位あたり の作業量(c /d)	1回/年	2回/年			1回/年	2回/年			1回/年						
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(1)	/ア)	(ア)	(イ)	(-	(/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(1	/ア)
听管課分析評価 結果·効果												•				
	令和2年度実績		令和3年度				令和4	F度			令和5年	=====================================		令和6年度		
【実施結果・効果】 3業・取組の結果は	教育委員会との協議 協議実施回数 3回 教育委員会との協議及び情報収集から、大規模 改修計画に基づく直結化実施予定校の確認を行いました。 また、大規模改修計画以外の工事(貯水槽入 替等)で直結給水化が図られるか確認を行い、財 政面から現在の計画に基づき進めることを確認しま した。 学校施設の水飲み水栓の直結給水化率 66.1 %	に基づく直結化身・大規模改修計i 水化が図られるか き進めることを確認	7 2回 の協議及び情報収集 実施予定校の確認を 画以外の工事(貯? か確認を行い、財政可認としました。 次み水栓の直結給水 改数 177校	行いました。 水槽入替等) 面から現在の	で直結給計画に基づ	に基づく直結 ・大規模改修 水化が図られ き進めることを ・なお、2施設 学校施設の元		認を行いました (貯水槽入替 政面から現在 話給水化率は	。 穿)で直結給 の計画に基づ 域少しました。							
	市立学校施設数 177校 (開校により1校増) 直結化した学校数 117校 (開校により1校増)		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上 101%	上 100%以	予正をト回る 00% 主港。		予定を上 101%以			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下 90%未
		教育委員会との	協議 2点			教育委員会	との協議 2点									
				1				1							1	1

平均(A)

2点

平均(A)

平均(A)

2点

								新・マスタープラン	・事業評価管理シ	- ト							
目標設定項目 (評価指標)	目標 令和3年度 令和4年度		令和6年度		令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度		
学校施設の水飲み	目標(B) 目標(B) E 66.7%	目標(B) 66.7%	目標(B) 67.8%	実 績 (D) 66.7%	達成度(D/B) 3点	外的要因 加点	実績(D) 66.3%	達成度(D/I 99.4% 3	,	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点
水栓の直結給水化率	目標累計 (C) 目標累計 (C) 目標	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E) -	進捗度((E/C) 3点	0点	実績累計(E) -	進捗度(E/0	C) 点 0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)目標(B)目	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度((D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度(D/I	B) 外的要因 加点	実 績 (D)	達成度 (D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)目標累計(C)目	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度((E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C	C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-
	目標(B)目標(B)目			実 績 (D)	達成度(-	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/I	加点	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度		外的要因 加点
	目標累計(C)目標累計(C)目			実績累計(E)	進捗度(,	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度		
	目標(B)目標(B)目		実 績 (D)	達成度(外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/I	加点	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度		外的要因 加点	
		目標累計(C)		実績累計(E)	進捗度(,		実績累計(E)	進捗度(E/C	-,	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度		
	目標(B)目標(B)目	,		実績(D)	達成度(,	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/I	加点	実績(D)	達成度 (D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度	, .,	外的要因 加点
■評価結果	目標累計(C)目標累計(C)目	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度((E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C	2)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■ 計1111和未	所管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度		
事業	が 本性評価】 (効率性評価) (対象を評価)	する。		後の改修予定校を確認	会との協議及 しました。 ・水槽入替、値 ・進めましたが、 ・した。	多繕等)に 、厳しい財加	合わせた、直 な事情もあ	・2回にわたり、教育委員 後の改修予定校を確認 ・その他施設の工事(貯 結給水化について協議を り、実施には至りませんで ・本取り組みについては、 はありません。	会との協議及び情 しました。 水槽入替、修繕等 進めましたが、厳し した。	等)に合わせた、直 い財政事情もあ							
	評価結果			予算効率	4点		>評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	総	合評価	予算効率		総合	評価
	評価の観点・結果			作業効率 外的要因加点	3点 0点	7点,	B ∕10点	作業効率 外的要因加点	- 7111	B 7点/10点	作業効率 外的要因加点	0点	i/10点	作業効率 外的要因加点		0点/	/10点
事業・取組が目標	【有効性評価】 票等を達成するために有効で	価する。	・令和3年度は潟東中学成することができました。 ・引き続き、教育委員会 共通の認識で取組を進	との協議及び			・令和4年度は新規の直 済2施設の閉鎖に伴い ・引き続き、教育委員会 共通の認識で取組を進む	直結給水化率が減 との協議及び情報:	少しました。								

/ つり / 短価結算

評価結果

評価の観点・結果

④ 2 次評価結果				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

達成度

進捗度

外的要因加点

総合評価

С

6点/10点

達成度

進捗度

外的要因加点

3点

3点 0点 総合評価

0点/10点

達成度

進捗度

外的要因加点

総合評価

0点/10点

総合評価

С

6点/10点

3点

3点

達成度

進捗度

外的要因加点

施 策 Ⅱ	給水装置における水質保持			事業·取組名	II – 2	貯水槽清掃率向上に	向けた新たな啓	発活動の検討・実施					所管課	管路課
①事業概要			* * 0 = 11 1	1 24 1 18/11/0		- I no le véteb - 3/2 //	- 1 to 10th 1 1th -	X+1=+	IT-16 1. The War	5 14.45				
	【事業の目的】	貯水槽水道利用	者へ安全でおいし	い水道水が供給	含されるよう、	訪問指導等の強化は	こより、貯水槽の	清掃率向上に向けた積	極的な啓発活	動を行います。				
			令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度	
		○民間清掃業者と				○民間清掃業者との				業者との連携				
		・民間清掃業者と	との連携による啓発	も 沽動を行います	۶.	・民間清掃業者との	連携による啓発	活動を行います。	・民間清掃	業者との連携による啓発	古動を行います。			
	【取組内容と計画】	○衛生管理訪問指	旨導の実施			○衛生管理訪問指導	事の実施		○衛生管理	訪問指導の実施				
	「事業・取組み」の		生管理訪問指導					(過去1年以上清掃		設衛生管理訪問指導(
	内容と計画(予定)	報告の無い施設 す。	を対象に、訪問・	電話指導)を表	美施しま	報告の無い施設を す。	対象に、訪問・質	電話指導)を実施しま	報告の無す。	い施設を対象に、訪問・電	『話指導)を美施しま			
						, ,								
2過程														
	年度		令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度	
【予算·決算額】	予算額(a)			3,8	853,000			3,948,08	D		4,261,539			
費用はどれくらい	執行額 (b)			3,7	725,002			3,877,87	1					
かけたか	執行率(%) (b) / (a)				96.7%			98.2%	b		0%		#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	標	目標 令	和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
	総作業量(c)													
【時間·体制 (人員)】	(実働時間)	0.3人	0.3人			0.3人	0.3人		0.3人					
時間(人員)は	期間(d)													
どれくらいかけたか	(従事期間)	1年	1年	100%	%	1年	1年	100%	1年					
	単位あたり													
	の作業量 (c / d)	0.3人/年	0.3人/年			0.3人/年 0	.3人/年		0.3人/年					
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(1/7	ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
③所管課分析評価								-		1				
■結果·効果	令和 2 年度実績		令和3年度	:			令和4年度		T	令和5年度			令和6年度	
	民間清掃業者との連携	民間清掃業者との連		1		民間清掃業者との連携				日がログキル支			17和0千皮	
	貯水槽清掃強化月間での取組案を基に、業界	·貯水槽清掃強化戶	 月間での取組案を基			·貯水槽清掃強化月間	での取組案を基	に、業界団体との協議を実	1					
	mires manage established to the mires and the	施し、業界団体総会 イルス蔓延防止の一						を実施しました。令和5年 の啓発活動の実施に向け						
【実施結果・効果】	啓発活動を予定しましたが、コロナウイルス蔓延防 止の一環として、総会が中止となったため、連携の	体化には至りませんで				て取り組みます。	10 (NO Z 5)-79) C 5							
事業・取組の結果は	具体化には至りませんでした。令和3年度について	会の場での啓発活動	かの実施に向けて取	り組みます。		衛生管理訪問指導の領	E tán							
	も協議を継続し、総会の場での啓発活動の実施	衛生管理訪問指導	の実施					施設衛生管理指導業務						
	に向けて取り組みます。	・(公財) 新潟水を委託し、過去1年	道サービスへ貯水桶			を委託し、過去1年以 設150件を対象に、訪		い小規模貯水槽水道施						
	衛生管理訪問指導の実施	で安託し、過去1年 設150件を対象に、				BX 1 30 1 GX13KIC (B)	-) 电叫出待で天	CIBO & OICe						
	(公財) 新潟水道サービスへ貯水槽施設衛 生管理指導業務を委託し、過去1年以上清掃													
	報告の無い小規模貯水槽水道施設150件を対		予定を上回る	予定どおり 90%~	3定を下回る		予定を上回る	予定どおり 90%~ 予定を下回	5	予定を上回る	予定どおり 90%~ うつのページサ		予定を上回る	予定どおり 90%~ ラロップ・サブ
	象に、訪問・電話指導を実施しました。		101%以上	100%以下 90	10%未満~		101%以上	100%以下 90%未満~	<u> </u>	101%以上	100%以下 90%未満~		101%以上	100%以下 90%未満
		民間清掃業者との	連携		0点	民間清掃業者との連	携	1点						
		衛生管理訪問指導の	実施 2点			衛生管理訪問指導の実施	Ē	1点						

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

1点

									新・マスタープラン	/事業評価管理シート									
目標設定項目		目標				令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
(評価指標)	令和3年度 令和4	年度 令和	05年度	令和6年度		1-14-172				市和4年度			市和5年度	•			市和0年度	1	
	目標(B)目標			目標(B)	実 績 (D)	達成度	(-, -,	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
貯水槽清掃実施率	93.9% 94.0		4.2%	94.4%	96.3%	102.6%		加点	94.8%	100.9% 4点	加点				加点				加点
(簡易専用水道)	目標累計(C)目標累計	(C) 目標	累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
			-	-	-	_	4点		- (+ (-)	- 4点		(()		(- (-)				(- (-)	
	目標(B)目標	. ,	,	目標(B)	実 績 (D)	達成度		外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
貯水槽清掃実施率	66.2% 66.3		6.4%	66.5%	71.2%	107.6%		加点	72.0%	108.6% 4点	加点	D/# H=1 /E)	\44.11b.ptp	(5 (6)	加点	D/4 H = 1 / (5)	\44.11E.07	(5 (6)	加点
(小規模貯水槽水道)	目標累計(C)目標累計	(C) 目標3	累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	,	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進莎度	(E/C)	-
	B標(B)目標	(D) EH	— 票(B)			達成度	4点 (D (B)	外的要因		- 4点 達成度 (D/B)	外的要因	実績(D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	海出舟	(D/B)	外的要因
貯水槽清掃実施率			示(B) 7.8%	78.0%	夫 槇 (D) 81.6%	105.3%		加点	夫 楨 (D)	建成度 (D/B)	加点	夫 楨(D)	连风及	(D/B)	加点	夫 楨(D)	連成長	(D/B)	加点
(全体)				70.0% 目標累計(C)	実績累計 (E)	進捗度		加州	実績累計(E)	進捗度 (E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加州	実績累計(E)	准性度	(E/C)	加州
(± m)	日保来記(C) 日保来記	(C) 日標	#:i1 (C)	日保来訂(C)	大根米司(L)	進沙反	4点	0点	大根米司(L)	- 4点	0点	大根米司(口)	進沙反	(L/ C)	-	大根米司 (L)	進79/支	(L/ C)	1
	目標(B)目標	(D) 日福	= (p)		実 績 (D)	達成度		外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
	口际(D)口际	(D) [1/2	示 (D)	口(示 (D)	天 / (D)	上以以	(0/0)	加点	X //g (D)	建成设 (0/ 0)	加点	大 //g (D)	(生)从(文	(0) 0)	加点	大 /ig (D)	走成反	(0) 0)	加点
	目標累計(C)目標累計	(C) 目標5	要計 (C)	目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(F / C)	//н/ш	実績累計(E)	進捗度(E/C)	лим	実績累計(E)	進捗度	(F / C)	лим	実績累計(E)	准批度	(E/C)	<i>Д</i> Н/М
	DISORDI (C) DISORD	(0) 1100	JIGH (C)	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	大根末町 (1)	JE19/JQ	(L/ C)		大阪末町 (こ)	進沙及 (上/ C)	-	大阪木町 (1)	進19/文	(L/ C)	-	大阪末町 (こ)	進沙汉	(L/ C)	
	目標(B)目標	(B) 目標	票 (B)	月標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
		(=)	31 (-)		24 424 (=7	72.747	(= , = ,	加点	24 124 127	2.342 (2) 2)	加点	24 124 127	72-11/2	, .,	加点	24 124 127	72.7472	, .,	加点
	目標累計(C)目標累計	(C) 目標	累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果						·													
	所管評価					令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
事	【効率性評価 業・取組の実施効率	-	3 .		・引き続き未清掃の小規問指導を委託し実施しま ・限られた人員体制の中	ました。			・引き続き末清掃の小規 問指導を委託し実施しま ・限られた人員体制の中	むた。									
	評価結果				予算効率	3点	総1		予算効率	3点 総行	合評価	予算効率		総合	許価	予算効率		総合	>評価
	評価の観点・網	=			作業効率	3点		С	作業効率	3点	С	作業効率				作業効率			
	1十四の形状・小	1×			外的要因加点	0点		/10点	外的要因加点	-7111	/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
事業・取組が目相	【有効性評価 票等を達成するために	-	ったか評値	逝 する。	・全体の貯水槽清掃率(た。 ・引き続き高い清掃率を 充実・強化の効果が一 ・清掃実施率の値は上 に係る啓発活動を実施	達成できたこ 団と考えます。 下を繰り返し	とは、訪問・	電話指導の	・全体の貯水槽清掃率(た。 ・引き続き高い清掃率を 充実・強化の効果が一 ・清掃実施率の値は上 に係る啓発活動を実施	国と考えます。 下を繰り返しており、今後	電話指導の								
	評価結果				達成度	4点	総		達成度	4点 総1	今評価	達成度		総合	5評価	達成度		総合	>評価
	評価の観点・総	=			進捗度	4点		В	進捗度	4点	В	進捗度				進捗度			
	6十1四ツ世光六(*形	1 不			外的要因加点	0点	8点	/10点	外的要因加点	0点 8点	/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
④ 2 次評価結果																			
						維持				維持									

	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	高い清掃率を維持するために、引き続き、計画に沿って事業を	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.		
	推進すること・			
【方向性】				

新・フィタープラン真常軽価等用

					新	・マスタープラン事業評価	管理シート						
施 策 Ⅱ	給水装置における水質保持			事業・取組名 Ⅱ-	- 3 指定給	k装置工事事業者の技術。	力向上					所管課	管路課
①事業概要												•	
	【事業の目的】	指定給水準	装置工事事業者の技術力	り向上により、工事の	の品質確保やお	客さまとのトラブルの未然防	止を図ります。						
			令和3年度	·		令和4年			令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	の積極的な ・指定給力 働きかける ・講習会事 の見直しる ・指定給力	日本水道協会新潟県支 参加要請、講習内容の 株装置工事事業者講習会 まな。 事務局として、適切な施工 を適宜行います。 証工事の適切な評価と表彰 株装置工事事業者の意登 続します。	適宜見直し 会への参加を積極的 確保に向けた講習 彰制度の継続	の積極的 ・指定 ・指定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	t) 日本水道協会新潟県 りな参加要請、講習内容の 合水装置工事事業者講習 けます。 会事務局として、適切な施 追しを適宜行います。 装置工事の適切な評価とま 給水装置工事事業者の意 に継続します。	適宜見直し 会への参加を積極的に 工確保に向けた講習内容 彰制度の継続	の積極的な。 ・指定給水働きかける ・講習会事の見直しな	参加要請、講習内容の述	会への参加を積極的に	:		
過程													
	年度		令和3年度			令和4年			令和5年度			令和6年度	
【予算·決算額】	予算額 (a)			371	,500		359,750			359,750	1		
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)			241	,508		333,540						
3 17 12 13	執行率(%) (b) / (a)			65	5.0%		92.7%			0%	,	#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	0.2人	0.2人		0.2人	0.2人		0.2人					
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	1年	1年	100%	1年	1年	100%	1年					
	単位あたり の作業量 (c/d)	0.2人/年	0.2人/年		0.2人/	年 0.2人/年		0.2人/年					
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果													
	令和 2 年度実績		令和3年度			令和4年			令和5年度			令和6年度	
	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し、	•令和3年度	積極的な参加要請、講習 ほよ、コロナウイルス感染症は、カオール	拡大防止を理由に、	講習 · 令和44	の積極的な参加要請、講習 F度は、事業者を対象として 票を達成することができました	参会形式での講習会を開						
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	・令和2年度は、コロナウイルス感染症拡大防止 を理由に、講習会開催が叶わず、代替策として、 自主学習テキストを全事業者に配布のうえ、回答	配布のうえ、より実施しま	わず、代替策として、自主 回答のあった事業者を受詞 した。通常と異なる方法に	講者として認定する方	法に ・適切な 試成す ました。	給水装置工事の施工技術	* 催保に向け、資料を修正し						
ア木・4X組い加末は	のあった事業者を受講者として認定する方法によ		した。		給水裝置	冒丁事の適切な評価と表彰	制度を継続						

■結果·効果																	
	令和2年度実績		令和3年度				令和4年度			令	和5年度				令和6年度		
	講習会への積極的な参加要請、講習内容の適	講習会への積極的な参加]要請、講習[内容の適宜見	直し	講習会への積極的な参加	要請、講習の	内容の適宜見	直し								
	宜見直し					・令和4年度は、事業者を		会形式での	講習会を開								
	1-14-1120-1-27-11111-00-111222-1111	会開催が叶わず、代替策と															
		配布のうえ、回答のあった事					施工技術催促	呆に向け、貧	料を修止し								
	自主学習テキストを全事業者に配布のうえ、回答		€なる力法にも	ンかかわらり日			7/エレギ 会(生)[6	立ち(線)生									
	- NO STOREST AND A CONTRACT OF STATE OF	ることができました。	施工技術遊	空后向什 白		<u>給水装置工事の適切な</u> ・指定給水装置工事事業			音次言提を								
	り実施しました。新たな取り組みに対する事業者 への周知が不十分だったことや、受講勧奨ができ	料を修正しました。	UE-TIX VIOLET	木に凹が、口		目的とした優良工事店表											
	なかったなどの要因もあり、目標にはやや到達しま	給水装置工事の適切な評	平価と表彰制	度を継続		IP/CO/CEEDET-NEE	+> C><,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	J/C0 (221)	. 1011)								
	せんでした。	·指定給水装置工事事業			意欲高揚を												
	270 (072)	目的とした優良工事店表彰	彰を実施しま	した。(19件	:19社)												
	・適切な給水装置工事の施工技術確保に向け、																
	自主学習用資料を修正しました。		予定を上回る		予定を下回る		予定を上回る	予定どおり 90%~	予定を下回る		Eを上回る	予定どおり 90%~	予定を下回る		予定を上回る	予定どおり 90%~	予定を下回る
			101%以上	100%以下	90%未満~		101%以上	100%以下	90%未満~	10	1%以上	100%以下	90%未満~		101%以上	100%以下	90%未満~
		講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点		講習会参加要請、講習内容の適宜見直し		1点									
	・指定給水装置工事事業者の施工技術向上及	指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点		指定給水装置工事事業者表彰の実施		1点									
	び意欲高揚を目的とした優良工事店表彰を実施	指定和小衣田工学尹来目衣彰の天泥		1州		国上和小衣但エチチ来目衣 や の天池		1244									
	しました。(19件:18社)																
										TT#7 (A)				TT45 (A)			
		平均(A)		1点		平均(A)		1点		平均(A)				平均(A)			

									新・マスタープラ	ン事業評価管理	ノート								
目標設定項目		_	標	1		令和3年度				令和4年度			令和5年度	F			令和6年度		
(評価指標)		令和4年度					-	T	- (- (-)		(-) IIII			-	I ——				1
(A 1.) 大田になる事 (4)		目標 (B)	目標(B)	目標 (B)	実 績 (D)		(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/		実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
給水装置に係る事故 件数	7 0件 目標累計 (C)	0件 目標累計 (C)	0件 目標累計 (C)	0件 目標累計 (C)	0件 実績累計(E)	100%	3点 (E/C)	加点	0件 実績累計 (E)	100% 進捗度 (E/	3点 加点	実績累計(E)	*###	(E/C)	加点	実績累計(E)	光井 庄庄	(E/C)	加点
1 1 \$ X	日標来計 (C)	目標系計 (C)	日信系訂 (C)	日標系計 (C)	夫賴糸訓(E)	進抄及	3点	0点	夫禎糸訓(E)		0点	夫楨糸訓(E)	進抄及	(E/C)		夫禎糸訓(E)	進抄及	(E/C)	
	日無 (D)	- 目標 (B)	_ 目標 (B)		実 績 (D)		(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/		実 績 (D)	海 (1) 中	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	凌 战府	(D/B)	外的要因
指定給水装置工事	79.2%	79.5%	79.7%	80.0%	80.6%	101.8%		加点	80.6%		4点 加点	大 根 (D)	建/以反	(0/0)	加点	大 (R (D)	连以反	(0/6)	加点
事業者講習会	79.2% 目標累計 (C)		79.7% 目標累計 (C)		実績累計 (E)		(E/C)	加州	実績累計 (E)	進捗度(E/	17111	実績累計(E)	准排度	(E/C)	лж	実績累計(E)	准排度	(E/C)	加州
参加率		口标来(C)		——————————————————————————————————————	大順来引(L)	上沙区	4点	0点	大傾糸司(L)		4点 0点	大根米il (L)	進沙反	(L/ C)	-	大順米司 (L)	進抄反	(L/ C)	
	日標 (B)	目標(B)			実 績 (D)		(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/	-7111	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
	□'lk (D)	口味 (D)	口派 (D)	口派 (0)	天 (貝 (D)	走成汉	(0/ 0)	加点	大 (Q (D)	建规设 (5)	加点	× //5 (D)) (上) (人)	(0, 0)	加点	大 (Q (D)	(生)从(文	(0/0)	加点
	月標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	Энл	実績累計(E)	進 推携度	(E/C)	Энли
					JUNEAU (E)	~=>/~	(2) 0)	- 0点	2019E2NB1 (E)	20/2 (2)	<u> </u>) (1) (2)	~=17/12	(2) (3)) (190) (11 (12)	~=>/~	(2) 0)	
	月標(B)	目標(B)	月標 (B)	月標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/	´B) 外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
					,			加点			加点			ĺ	加点	,			加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/	(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
					,										-				
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/	´B) 外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/	(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果																			
	所	管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度	Ę			令和6年度	芰	
					·指定給水装置工事事業	美者講習会(代わる自主	学習テキスト	·指定給水装置工事事	業者講習会は、指	定工事事業者の施								
					の郵送に際しては、指定こ			句上に資する	工技術向上に資するべく	、最新の情報を盛)込んで作成しまし								
					べく、最新の情報を盛り込			H .1 +4777 0.50	た。	-u ==		_							
		率性評価】			・優良工事店表彰につい				・優良工事店表彰についる る開催が叶い、施工内容										
事	業・取組の実	施効率を評価	価する。		点から、表彰式は例年の 施工内容が優れた工事事				る用作が下い、他工内を 施しました。	か優化に上尹尹を	(白10仕に刈し、夫								
					なお、表彰式の実施形態				が見しなした。										
					額は減少しました。	B// & X C/0	. SICCCICO.)) ++ 7/11											
	<u>#</u> ₩	価結果			予算効率	4点	1 84 2	合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率		经公公	>評価	予算効率		緃	合評価
					作業効率	3点		В	作業効率	3点	С	作業効率		/ht/r	- I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	作業効率		1/1/0/	- Ш П Ш
	評価の	観点·結果			外的要因加点	0点		/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0占	/10点	外的要因加点		0.占	i/10点
					・講習会や表彰制度にあ				・講習会や表彰制度に	-7111				Omi	10/11	7127SEI/II/III		0,,,,	() 10/
					意欲の高揚を図ることを														
					は給水装置工事における				は給水装置工事におけ										
	【有效	动性評価】			よって当該取組は、今後	发も継続的(こ実施してい	きます。	よって当該取組は、今	後も継続的に実施	していきます。								
事業・取組が目標			りであったか評	価する。															
	·····································	価結果			達成度	4点	经	合評価	達成度	4点	総合評価	達成度		2 224	>評価	達成度		絵	合評価
					進捗度	4点		В	進捗度	4点	В	進捗度		ALC: E	-1 hm	進捗度		4404	
	評価の	観点·結果			外的要因加点	0点		/10点	外的要因加点	0点	8点/10点	外的要因加点		0点	/10点	外的要因加点		0点	[/10点
④ 2 次評価結果						- OM				O/M			1				1	- 2/11	
						維持				維持									
					ž. -		N=m						Z###*	West.			/ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	₩\≡π	
						営審議会総				Z 営審議会総評		i	経営審議会総	な評 一		ř	経営審議会総	総評	
					引き続き、計画に沿って	事業を推進す	すること.		引き続き、計画に沿って	事業を推進するこ	٤.								

【方向性】

施 策 Ⅲ	水道施設の計画的更新			事業・取組名	Ⅲ — 1	浄配水施設(D計画的更新						所	管課	計画塾	を備課
①事業概要					L								"	,		
	【事業の目的】		・送配水機能の信頼 こ併せて、環境負荷					するとともに、水需要の減少	かを踏まえて設備	能力を見直し、施設規	見模の適正化を図りる	きす。				
			令和3年	F度			令和4年	芰		令和5年度			令和	16年度		
			こ実施する大規模な 設備を更新します。	・整備事業を中心	いに、各施設		こ実施する大規模な勢 設備を更新します。	修備事業を中心に、各施設		実施する大規模な整ん 设備を更新します。	備事業を中心に、各.	施設				
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	【個別整備】4 せ、計画的な	場施設整備事業】 - 各施設の経年劣化 ・更新及び施設整備 今後の施設整備に「	」た個別の設備! を実施	状況に合わ	【巻取水場施 【個別整備】名 せ、計画的な	施設整備事業】 令和 設整備事業】 令和 各施設の経年劣化し 更新及び施設整備を 今後の施設整備に向し	4〜令和6年度 E個別の設備状況に合わ 実施	【巻取水場施設 【個別整備】名 せ、計画的な見	施設整備事業】 令和 设整備事業】 令和4 施設の経年劣化した 更新及び施設整備を き 後の施設整備に向けた。	〜令和6年度 個別の設備状況に合 €施	st)				
②過程																
	年度		令和3年	丰度			令和4年	芰		令和5年度			令和	16年度		
【予算·決算額】	予算額 (a)			51	3,845,000			961,960,000	D		1,657,124	,000				
費用はどれくらい	執行額 (b)			30	3,018,000			851,805,000)							
かけたか	執行率(%) (b) / (a)				59.0%			88.5%	b			0%	#D	IV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対	目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	Ę	対目	1標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) 担当者数	6.30人	6.30人			5.76人	5.76人		5.17人							
・(八兵) は 時間 (人員) は どれくらいかけたか	期間 (d) 対応期間	1年	1年	10	0%	1年	1年	100%	1年							
	単位あたり の作業量 (c/d)	6.30人/年	6.30人/年			5.76人/年	5.76人/年		5.17人/年							
	対応期間あたり従事職員数	(ア)	(1)	(1)	⁄ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)		(1)	′ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果				·								•				
	令和2年度実績		令和3年	F度			令和4年	芰		令和5年度			令和	16年度		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	◆配水場施設整備事業(事業完了) ・監視制御設備更新工事(竹尾、南浜、内島 見、内野) ・遠方監視制御設備機能増設工事(南浜) ・監視制御設備機能増設工事(内野) ・電気設備更新工事(南浜) ・配水ボンブ電気設備更新工事(内島見) ・ボンブ設備更新工事(南浜、内島見) ・ 緊急遮断手機能増設工事(内野) ◆経年劣化した設備の個別整備 ◆各施設整備に向けた設計業務	・受変電設備・電気計装設・配水ポンプ語◆経年劣化し	場施設整備事業 請更新工事(契約) 投備更新工事(契 投備更新工事(契 及 受備更新工事(契 した設備の個別整備 備に向けた設計業系	的) i i		・受変電/電気 続) ・薬品注入設・監視制御設 ・監視制御設・受変電電設領 ・自家発光ンプ・活性炭注入 ・経年劣化し	備更新工事(契約) 備機能増設工事(記 施設整備事業 更新工事(契約) 備更新工事(契約) 設備更新工事(契約 設備更新工事(契約 決設備の個別整備 値に向けた設計業務	契 利()			X⊕Yen				マやゾセn	
			予定を上 101%	回る 予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回 101%以_	る 予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~	5	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 90%オ			を上回る %以上	予定どおり 90%〜 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		青山浄水場施	設整備事業	1点		青山浄水場施	设整備事業	1点								
						巻取水場施設	设整備事業	1点								
														T		7
			(4)						平均(A	۵)		777 HZ	3 (A)			
		平均((A)	1点		平均(A)	1点	T-7 (A	٦)		7,	2 (A)			

									新・マスタープラン	事業評価管理シ	- ト							
目標設定項目(評価指標)	令和3年II		目標	令和6年度	:	令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度		
(F) Instruction	目標(B)		目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/E	3) 外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
青山浄水場	実施	実施	実施	実施	実施	実施	3点	加点	実施	実施 3	点加点			加点				加点
施設整備事業	目標累計(C) 目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点		-		点							
	目標(B)		目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度		外的要因	実績(D)	達成度(D/I	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
巻取水場 施設整備事業	- 目標累計 (C	実施) 目標累計 (C)	実施	実施	中纬用引 (5)		- (F (C)	加点	実施		点 加点	中纬用=1 /5))##库 (F (6)	加点	中纬田=1 /5)	\# \IF ##	(F. (C)	加点
加 政 登 棚 争 耒	目標系計(C) 目標系計 (C)) 目標系計 (C)	目標系計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C	点 0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-
	目標 (B)		目標 (B)	目標 (B)	実 績 (D)	達成度		外的要因	実 績 (D)	達成度(D/E	,,,,	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D / B)	外的要因
	LIK (5)	- III (B)	LIK (B)	Пи (b)	X 107	ÆIMIX	(5) 5)	加点	X 192 (D)	<i>E</i> /3/3	加点	X 192 (D)	是规度 (5) 5)	加点	X 107	Æ JANG		加点
	目標累計(C) 目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	۰	実績累計(E)	進捗度(E/C	2)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
								0点			-	-			-			
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/I	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点			加点				加点
	目標累計(C) 目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C	()	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
		D# (5)	D(# (p)	D (= (s)	p (# (p)	\± -4-~	(D (D)	h //	r (# (p))±++= (5 (5) H.	rh (# (p))±++c (c (c)	b) (b) The second	r (# (p)	\# -1\ r*r	(D (D)	h145-7750
	目標(B)	目標 (B)	目標(B)	目標 (B)	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/I	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
	口煙雷計 (C) Description) 目標累計 (C)	日標第計 (6)	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加点	実績累計(E)	進捗度(E/(加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加点
	日標来計 (C) 目標系計(C) 目標系計 (C)	日信系計 (C)	天根糸司 (C)	進抄反	(E/ C)	-	天祖糸司(口)	進抄及 (E/ (-)	天祖糸司(C)	進抄長 (E/C)	_	天根糸司(C)	進抄反	(E/C)	-
■評価結果																		
	所	f管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度		
					◆青山浄水場施設整	備事業			◆青山浄水場施設整備	事業								
					受変電設備更新工事													
					プ設備更新工事を計画		、工事に着	手しました。	の機器を製作しました。他		に着手しました。							
		率性評価】			◆経年劣化した設備の				◆巻取水場施設整備事		供事がて事ナニ							
事美	業・取組の事	€施効率を評	価する。		計画的に工事を進める ◆各施設整備に向けた				受変電/自家発電/取る 画通りに工事に着手しま		1佣史新工争を計							
					→ 台心設整備に同りた計画的に設計業務を				◆個別整備/各施設整		答							
					計画がに設計来がと	<u></u>			計画的に工事及び設調		2							
	哥	価結果			予算効率	4点	総	合評価	予算効率	4点	総合評価	予算効率	総	合評価	予算効率		総合	h評価
	= ₩/ #/	D観点・結果			作業効率	3点		В	作業効率	3点	В	作業効率			作業効率			
	計加以	が脱点・和未			外的要因加点	0点	7点	/10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点	0点	i/10点	外的要因加点		0点/	/10点
					・水需要の減少を踏まえ				・水需要の減少を踏まえ									
									浄配水場施設の信頼性									
					した設備を計画的かつ				した設備を計画的かつ効 ・青山浄水場及び巻取2									
## Ba40.170.13		効性評価】	W	Γ/π→->	・市和3年度から有子し				・再山浄水場及い管取る全確保を最優先として、									
事業・取組が目標	宗寺を進放り	するにめに有え	め ぐめつにか計	f1Щ9る。	管理を行います。	(ISE/DEO CV I		エンく・ひりじニ	す。	1. 山地 2000年天/6/	07976110.0							

4) 2	次評	価結果
--------------	----	-----

評価結果

評価の観点・結果

達成度

進捗度

外的要因加点

3点

3点 0点

総合評価

С

6点/10点

42次評価結果				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	予算規模が大きく, 浄配水施設は水道システムの根幹をなす			
	ものであることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管			
	理を実施し,計画に沿った事業推進に努めること.	理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること.		
【方向性】				

達成度

進捗度

外的要因加点

総合評価

С

6点/10点

達成度

進捗度

外的要因加点

総合評価

0点/10点

達成度

進捗度

外的要因加点

総合評価

0点/10点

3点

3点 0点

施 策 🎹	水道施設の計画的更新			事業·取組名	Ⅲ – 2	管路施設の	計画的更新								所管課	計画語	と備課	
①事業概要						Į.										Į.		
	【事業の目的】	漏水事故の	未然防止を図り、安	定給水を確保す	するため、アセ	ットマネジメン	ト手法を取り入れ、更	新周期を設定し、老朽 ^ん	化した管路	路施設(基幹管路·	·配水支管)	を中心に計画	画的に更新し	ます。				
			令和3年	度			令和4年	度			令和5年度				令和6年度			
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	路の更新 .8km 実施計画より) 新 32.3km 明実施計画より)	平成27年 令和4年 ○配水支管 ・年度別に 平成27年	更新事業 更新計画に基づく管 F度~令和6年度32 度 2,400m(後期 更新事業 更新路線を選定し更 F度~令和6年度 1 度 10,600m(後期	.8 k m 実施計画より) 新 32.3 k m	·基 公 公配 ·年	區幹管路更新事業 基幹管路更新計画(平成27年度~令和 令和5年度 2,700 配水支管更新事業 存度別に更新野路 平成27年度~令和 令和5年度 10,70	6年度32.8 m (後期実) 選定し更新 6年度 132	k m 施計画より)								
②過程																		
	年度		令和3年	度			令和4年	度			令和5年度				令和6年度			
【予算·決算額】	予算額 (a)			6,34	4,500,000									00				
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)			4,91	7,126,061			4,858,322,	<mark>,996</mark>									
/3.4/ /5/3.	執行率(%) (b) / (a)				77.5%			70.	0.1%				0%		#DIV/0!			
	年度	目標	令和3年度	対I	目標	目標	令和4年度	対目標	E	目標 令和	5年度	対	目標	目標	和6年度	対目	目標	
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) 担当者数	34.80人	34.68人			35.00人	35.76		35	5.19人								
時間 (人員) は どれくらいかけたか	期間 (d) 対応期間	1年	1年	99	.7%	1年	1年	102.2%	:	1年								
	単位あたり の作業量 (c/d)	34.80人/年	34.68人/年			35.00人/年	35.76人/年		35.1	19人/年	(1) (1/7)							
	対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(1)	/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	((ア) (イ)	(1)	⁄ア)	(ア)	(1)	(1)	⁄ア)	
③所管課分析評価 ■結果·効果																		
- MAX 707A	令和2年度実績		令和3年	度			令和4年	:度			令和5年度				令和6年度			
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,897m 4,600m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 12,884m 11,570m (予算時計画長) ※既設管路ルートでの更新が困難なため,別 ルートによる更新を行った結果,延長が増減して います。	基幹管路更新 配水支管更新 ◆工事竣工延 基幹管路更新 配水支管更新	基幹管路更新事業 更新延長 3,314m 2,155m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 13,767m 11,977m (予算時計画長) ◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 2,484m				令和4年度 ◆工事発注延長(注) 基幹管路更新事業 更新延長 3,130m 3,280m (予算時計画長) 配水支管更新事業 更新延長 12,995m 10,738m (予算時計画長) ◆工事竣工延長 (前年度からの繰越延長含む) 基幹管路更新事業 更新延長 4,448m 配水支管更新事業 更新延長 13,463m											
	◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含む) 起幹管路更新事業 更新延長 4,830m	しています。				して	います。	注延長により計画管理			704107	予定どおり	z <u>+</u>		704107	予定どおり	z-h	
	配水支管更新事業 更新延長 11,938m		7年41日3 90%~ 7年41日3				予定を上回 101%以	30 000 丁疋で「			予定を上回る 101%以上	90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	000/	予定を下回る 90%未満〜	
	(注): 事業の進捗は,工事の発注延長により計画管理しています。	基幹管路更新	101%以上 100%以下 90%未凋~				新事業	1点										
		配水支管更新	f事業 2点			配水支管更	新事業 2点											
		平均 (A) 2.0点					平均 (A) 1.5点				平均 (A)				平均 (A)			

新。ファタープラン真業製価等用シーL

					初・イスターノフ	ン事業評価管理シート									
目標設定項目	目標		令和3年度			令和4年度			令和5年度				令和6年度		
(評価指標)	令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年	度	中和3年辰	•		71444.皮			7111341反				7110年度		
	目標(B)目標(B)目標(B)目標(B) 実績(D)	達成度	(D/B) 外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
基幹管路更新延長 ※評価指標の延長は発注	1,300111 2,400111 2,700111 2,700	m 3,314m	220.9%	5点 加点	3,130m	130.4% 5点	加点				加点				加点
延長(計画値)を使用	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計	(C) 実績累計 (E)	進捗度	(E/C) 0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	1,500m 3,900m 6,600m 9,300		220.9%	5点	6,444m	165.2% 5点	O,M								
配水支管更新延長	目標(B)目標(B)目標(B)目標(3) 実績(D)	達成度	(D/B) 外的要因] 実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
	11,100m 10,600m 10,700m 10,20		124.0%		12,995m	122.6% 5点	加点				加点				加点
※評価指標の延長は発注 延長(計画値)を使用		JCIRANGII (E)	進捗度	0.5	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
延長 (計画値) を使用	11,100m 21,700m 32,400m 42,60	'	124.0%	5点	26,762m	123.3% 5点	-7								
	目標(B)目標(B)目標(B)目標(B) 実績(D)	達成度	,	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
				加点		14414 (-)	加点				加点			(- (-)	加点
	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計	(c) 実績累計 (E)	進捗度	(E/C) 0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	_
				(- (-)	(()	1 to the first (-)		(- (-)		(- (-)		+ (+ (-)	total trade	(- (-)	
	目標(B)目標(B)目標(B)目標(3) 実績(D)	達成度] 実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
			V/- 115 ===	加点)// lib == (= (=)	加点		M. Ishari	(= (=)	加点		V// 115 mtm	(= (=)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)目標累計	(C) 実績累計(E)	進捗度	(E/C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-
		c)	\±_\	(5 (5)	r (± (5)	*-*\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	hi / h =====	中 (= (5)	\± -\-	(5. (5)	+1.45-TT	中 (= (5)	\#\\ r\r	(0. (0)	b) the mean
	目標(B)目標(B)目標(B)目標(3) 実績(D)	建风度	(D/B) 外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
		(a) 字结用註 (F)	*###	加点	中纬田計 (5)	*## (F /C)	加点	安徳田弘 (5)	光井庄	(F (C)	加点	安结用計 (5)	*###	(F (C)	加点
	目標累計 (C) 目標累計 (C) 目標累計 (C) 目標累計	(c) 実績累計(E)	進捗度	(E/C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-
■氫価結里															
■評価結果	所管評価		令和3年度	:	1	令和4年度			令和5年度				令和6年度		
	所管評価 【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。		実施計画の見路や中心市街 と実施し、計画	記直しにより、事故発生は 対地の老朽配水支管の 面の実現性を高めたこと	を 響の大きい基幹管路や中しています。 ・ 基幹管路更新事業は近して進めており、作業量が	令和4年度 施計画の見直しにより、事活い市街地の老朽配水支管 が作業に時間を要するため 増加しています。また、関連 郷の工事発注ができなかった	の更新を強化 か、布設を前倒 する道路事業		令和5年度				令和6年度		
	【効率性評価】	に影響の大きい基幹管 新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を	実施計画の見路や中心市街 と実施し、計画	記直しにより、事故発生は 対地の老朽配水支管の 面の実現性を高めたこと	■の大きい基幹管路や中しています。・基幹管路更新事業は退しで進めており、作業量がと調整を図りましたが、一計が低下しました。	施計画の見直しにより、事で 心市街地の老朽配水支管 が作業に時間を要するため 増加しています。また、関連	の更新を強化 か、布設を前倒 する道路事業 ことにより効率		令和5年度				令和6年度		
	【効率性評価】 :業・取組の実施効率を評価する。	に影響の大きい基幹管 新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を で、目標の事業量を効け	実施計画の見路や中心市街 窓実施し、計画 変的に達成す	記直しにより、事故発生 対地の老朽配水支管の 頭の実現性を高めたこと ることができました。	■響の大きい基幹管路や中 しています。 ・基幹管路更新事業は述 して進めており、作業量が と調整を図りましたが、一 が低下しました。 ・今後も事前調査や関連 を効率的に達成できるよ	施計画の見直しにより、事い心市街地の老朽配水支管 述作業に時間を要するため 増加しています。また、関連 部の工事発注ができなかった 事業との調整に取り組み、日 進めていきます。	の更新を強化 の、布設を前倒 する道路事業 ことにより効率 目標の事業量		令和5年度				令和6年度		
	【効率性評価】	に影響の大きい基幹管 新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を で、目標の事業量を効け 予算効率	実施計画の見 路や中心市部 と実施し、計画 率的に達成す	記直しにより、事故発生 対地の老朽配水支管の 頭の実現性を高めたこと ることができました。 総合評価	■響の大きい基幹管路や中しています。 ・基幹管路更新事業は近して進めており、作業量が と調整を図りましたが、一が低下しました。 ・今後も事前調査や関連 を効率的に達成できるよう	施計画の見直しにより、事 心市街地の老朽配水支管 i水作業に時間を要するため 増加しています。また、関連 部の工事発注ができなかった 事業との調整に取り組み、 i進めていきます。 名は、 総合 総合 総合 総合 総合 総合 総合 総合 総合 総合 総合 総合 総合	の更新を強化 か、布設を前倒 する道路事業 ことにより効率 目標の事業量 合評価	予算効率	令和5年度	総合	評価	予算効率	令和6年度	総名	今評価
	【効率性評価】 :業・取組の実施効率を評価する。	に影響の大きい基幹管 新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を で、目標の事業量を効け 予算効率 作業効率	実施計画の見路や中心市街 を実施し、計画 変的に達成す 5点 4点	記直しにより、事故発生 対地の老朽配水支管の 頭の実現性を高めたこと ることができました。 総合評価 A	■響の大きい基幹管路や中 しています。 ・基幹管路更新事業は近して進めており、作業量が と調整を図りましたが、一 が低下しました。 ・今後も事前調査や関連 を効率的に達成できるよう 予算効率 作業効率	施計画の見直しにより、事い心市街地の老朽配水支管 が作業に時間を要するため増加しています。また、関連 部の工事発注ができなかった 事業との調整に取り組み、関連 進めていきます。 名名 名点 名名	の更新を強化 か、布設を前倒 する道路事業 ことにより効率 目標の事業量 合評価 C	作業効率	令和5年度		.,,	作業効率	令和6年度		.,,
	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。 評価結果	に影響の大きい基幹管 新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を で、目標の事業量を効果 予算効率 作業効率 外的要因加点	実施計画の見路や中心市符 と実施し、計画 率的に達成す 5点 4点 0点	記直しにより、事故発生 記画の実現性を高めたこと ることができました。 総合評価 A 9点/10点	世間の大きい基幹管路や中しています。 ・基幹管路更新事業は近して進めており、作業量が と調整を図りましたが、一が低下しました。 ・今後も事前調査や関連を効率的に達成できるよう 予算効率 作業効率 外的要因加点	施計画の見直しにより、事い心市街地の老朽配水支管が水作業に時間を要するため増加しています。また、関連部の工事発注ができなかった事業との調整に取り組み、関連的でいきます。 4点 総合 2点 0点 6点	の更新を強化 の、布設を前倒 する道路事業 ことにより効率 目標の事業量 合評価 C /10点		令和5年度		評価		令和6年度		合評価 /10点
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。 評価結果	に影響の大きい基幹管 新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を で、目標の事業量を効! ・ 予算効率 作業効率 外的要因加点 ・新・マスターブラン後期 に影響の大きい基幹管 新を強化することで、漏	実施計画の見路や中心市符 実施し、計画 率的に達成す 5点 4点 り点見 路や中心市符 水事故の未名 り組み、計画の	記直しにより、事故発生 話地の老朽配水支管の 面の実現性を高めたこと ることができました。 総合評価 A 9点/10点 記直しにより、事故発生 話せの老朽配水支管の	世の大きい基幹管路や中しています。 ・基幹管路更新事業は近して進めており、作業量がと調整を図りましたが、一づが低下しました。 ・今後も事前調査や関連を効率的に達成できるよう。 ・予算効率 ・作業効率 ・外部要因加点 ・引き続き、事故発生時は ・といきに対しています。 ・基幹管路更新事業は対策が残っており事業は対策が、令和6年度までは、まず、令和6年度までは、	施計画の見直しにより、事 心市街地の老朽配水支管 述水作業に時間を要するため 増加しています。また、関連 那の工事発注ができなかった 事業との調整に取り組み、「 進めていきます。 4点 総合 2点 0点 6点 影響の大きい基幹管路や 比に取り組んでおり、単年度	の更新を強化 た、布設を前倒 する道路事業 温標の事業 温標の事業 合評価 C /10点 中心び累積にお が、既設きのいています。 かっています。 いっています。 いっています。 いっています。 いっています。	作業効率	令和5年度		.,,	作業効率	令和6年度		.,,
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。 評価結果 評価の観点・結果 【有効性評価】	に影響の大きい基幹管 新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を で、目標の事業量を効! ・ 予算効率 作業効率 外的要因加点 ・新・マスターブラン後期 に影響の大きい基幹管 新を強化することで、漏 ・今後も事前調査に取!	実施計画の見路や中心市符 実施し、計画 率的に達成す 5点 4点 り点見 路や中心市符 水事故の未名 り組み、計画の	記直しにより、事故発生 記面しにより、事故発生 記の実現性を高めたこと ることができました。 総合評価 A 9点/10点 記直しにより、事故発生 にいの老朴配水支管の 然防止を図りました。 の実現性を高めることで	世の大きい基幹管路や中しています。 ・基幹管路更新事業は近しで進めており、作業量がと調整を図りましたが、一が低下しました。 ・今後も事前調査や関連を効率的に達成できるよう。 ・予算効率 ・作業効率 ・外的要別加点・引き続き、事が残っており事業によりで残っており事業により。 ・配水支管更新が残っており事業により。・一般も事前調査に取り続きますが、令和4年度末取り	施計画の見直しにより、事い心市街地の老朽配水支管 述水作業に時間を要するため 増加しています。また、関連 那の工事発注ができなかった 事業との調整に取り組み、「 進めていきます。 4点 2点 6点 6点 6点 8 響の大きい基幹管路や だに取り組んでおり、単年度 となりました。 説姿前倒して進めています。 では予定通りの見込みとなって いうサイジングなどの取り組みとなる では予定通りの見込みとなって いうサイジングなどの取り組みとなる は老朽管(CIP)が残る見しみ、計画の実現性を高め	の更新を強化 た、布設を前倒 する道路事業 温標の事業 温標の事業 合評価 C /10点 中心び累積にお が、既設きのいています。 かっています。 いっています。 いっています。 いっています。 いっています。	作業効率	令和5年度	0点/	.,,	作業効率	令和6年度	0点,	.,,
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。 評価結果 評価の観点・結果 【有効性評価】 標等を達成するために有効であったか評価する。 評価結果	に影響の大きい基幹管 新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を で、目標の事業量を効け 予算効率 作業効率 外的要因加点 ・新・マスタープラン後期 に影響の大きい基幹管 新を強化することで、漏・今後も事前調査に取 業を確実に進めていきま	実施計画の見路や中心市待 実施し、計画 薬的に達成す 5点 4点 0点 実施計画の市待 水事故の計画の市 水事故の計画のま のがます。	記直しにより、事故発生 話地の老朽配水支管の 通の実現性を高めたこと ることができました。 総合評価 A 9点/10点 記直しにより、事故発生 話地の老朽配水支管の 然防止を図りました。 の実現性を高めることでは 総合評価	世の大きい基幹管路や中しています。 ・基幹管路更新事業は近しで進めており、作業量がと調整を図りましたが、一部が低下しました。 ・今後も事前調査や関連を効率的に達成できるよう。 ・引き続き、事故の更新強いても目標を上回る実績が残っており事事業に対策が残っており事事業に対策が残っており事事業に対策が残っており事事業に対しても関係を上間を担いても目標を上面のである。 ・・一般をも事前調査に取り、確実に進めていきます。	施計画の見直しにより、事い心市街地の老朽配水支管 が水作業に時間を要するため 増加しています。また、関連 即の工事発注ができなかった 事業との調整に取り組み、「 進めていきます。 4点 2点 0点 6点 影響の大きい基幹管路や 比に取り組んでおり、単年度 となりました。 読を前倒して進めています。 では予定通りの見込みとなっ ウンサイジングなどの取り組 表名特管(CIP)が残る見 日み、計画の実現性を高め	の更新を強化 、	作業効率 外的要因加点	令和5年度	0点/	/10点	作業効率 外的要因加点	令和6年度	0点,	/10点
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。 評価結果 評価の観点・結果 【有効性評価】 標等を達成するために有効であったか評価する。	に影響の大きい基幹管 新を強化しています。 ・試掘などの事前調査を で、目標の事業量を効が 予算効率 作業効率 外的要因加点 ・新・マスタープラン後期 に影響の大きい基幹管 新を強化することで、漏・今後も事前調査に取業を確実に進めていきま	実施計画の見路や中心市待定実施し、計画率的に達成する	記直しにより、事故発生 記面しにより、事故発生 記面の実現性を高めたこと こることができました。 総合評価 A 9点/10点 記直しにより、事故発生 にいの老朽配水支管の 然防止を図りました。 の実現性を高めることで 総合評価 A	世の大きい基幹管路や中しています。 ・基幹管路更新事業は近しで進めており、作業量がと調整を図りましたが、一部が低下しました。 ・今後も事前調査や関連を効率的に達成できるよう ・予算効率 ・作業効率 ・外的要要は効率に対している。 ・引き続き、支管の更新強にできる実績があが残っており事業は対策が残っており事業は対策が残っており事業は対策が残っており事業は対策が残っており事業は対策が残っており事業は対策が表がであっており事業は対策が表がであっており事業は対策が表がであっており事業は対策が表がであっています。	施計画の見直しにより、事心市街地の老朽配水支管 述水作業に時間を要するため 増加しています。また、関連 の工事発注ができなかった 事業との調整に取り組み、に 進めていきます。 4点 名点 総合 2点 の点 6点 条合点 8 を	の更新を強化 、	作業効率 外的要因加点 建成度	令和5年度	0点/	/10点	作業効率 外的要因加点 建成度	令和6年度	0点/	/10点

④ 2 次評価結果				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	予算規模が大きく,管路施設は水道システムの根幹をなすも	· ·		
	のであることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理			
【方向性】	を実施し、計画に沿った事業推進に努めること.	を実施し,計画に沿った事業推進に努めること.		
וייונע)				

					का - ₹	人ダーノフン学来評	一個音楽ノート								
施 策 🎹	水道施設の計画的更新			事業・取組名 Ⅲ-3	鉛給水管の	計画的更新						所管課	管路	各課	
1事業概要															
	【事業の目的】	鉛給水管を	を更新し給水管の耐震化	とおよび漏水の未然防止を	を図ります。										
			令和3年度	Ē.		令和4年	丰度		令和5年度			令和6年度			
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	50mmのビニ 解消を図り	が分岐している配水支管 にル管、鋼管)の更新に。	管(小口径:主に口径 はり効果的に鉛給水管の 水管の更新は鉛管使用 す。	50mmのビニ 解消を図り	宮が分岐している配水 ニル管、鋼管)の更新	支管(小口径:主に口径 析により効果的に鉛給水管の 鉛給水管の更新は鉛管使用 きます。	50mmのビニ 解消を図り	の更新 が分岐している配水支管 ル管、鋼管)の更新に。 ます。また、戸別の鉛給、 地域から解消していきま	より効果的に鉛給水管の 水管の更新は鉛管使用					
2.過程											_				
	年度		令和3年度	E		令和4年	年度		令和5年度			令和6年度	Ē.		
【予算·決算額】	予算額 (a)			418,680,000)		397,748,182								
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)			388,418,380)	350,426,770 88 1%									
יניאלו	執行率(%) (b)/(a)			92.8%	b		88.1%		0%		б	#DIV/0!			
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目	目標	
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	8.3人	11.7人		8.5人	6.8人		7.9人							
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	1年	1年	141%	141% 1年		80%	1年							
	単位あたり の作業量(c/d)	8.3人/年	11.7人/年		8.5人/年	5人/年 6.8人/年									
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(1)	⁄ア)	
③所管課分析評価 ■結果·効果															
	令和 2 年度実績		令和3年度	Į.		令和4年	丰度		令和5年度			令和6年度			
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	施養 当初見込 更新数 実施率 (7.7 及参) (7.7 及参) (7.7 及参) (1.6 上 株) (7.7 及参) (7.6 上 株) (7.7 上 株) (7.6 上 株) (7.7 上 株) (7.7 上 株) (7.6 上 株) (7.7	(ガス 小口径 (局単連合給 他工事 給水鉛 2 メータ	管約給水更新 競合) 管約給水更新 统約管更新 小計 給水約管更新 管更新 (局単独) 一取替更新 該壓工事 小計	現法 更新数 実施率	施策 当初見込 更新数 実施率 (力の程管鉛給水更新 (力の程度) 小口径管鉛給水更新 (周単独) 一小日径管鉛給水更新 (周単独) 一小計 70 55 78.6% (3. 6% 1. 0%							
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~		予定を上 101%以	以上 100%以下 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回 90%未満~	
		① 4条予算			① 4条予算		0点								
		② 3条予算	事業 2点		② 3条予算	事業	0点								

平均(A)

2点

平均(A)

平均(A)

0点

					初「ヘハノーノフ」	7-7-11-11										
目標設定項目(評価指標)	目標 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度	:	令和3年度			令和4年度				令和5年度				令和6年度		
CPT (IMSM 154)	目標 (B) 目標 (B) 目標 (B)	実 績 (D)	達成度(B/D)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(B/D)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(B/D)	外的要因	実 績 (D)	達成度(B/D)	外的要因
鉛給水管率	4.3% 4.0% 3.6% 3.3%	4.5%	95.4% 3点	加点	4.3%	92.5%	3点	加点				加点			-	加点
如紀八官卒	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
		-	- 3点	り点	-	-	3点	UH								
	目標(B)目標(B)目標(B)目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
				加点				加点				加点				加点
	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
		- 4- (-)	12 12 (- (-)		- (- (-)		(- (-)		- (+ (-)		(- (-)				- 4-1	
	目標(B)目標(B)目標(B)目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
		中纬用=1 (5))##库 (F (6)	加点	安结用=1 (F)	\# ↓IF rd=	(F (C)	加点	中纬用=1 /5)	*#4に広	(5 (6)	加点	中纬田三1 (5)	`##F# /	T (C)	加点
	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	実績累計 (E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度(E/C)	-
		実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実績(D)	達成度(D (B)	外的要因
	目標(B)目標(B)目標(B)目標(B)	天 禎 (D)	建风浸 (D/ D)	加点	天 禎 (D)	连风反	(D/ B)	加点	天 禎 (D)	建风反	(D/ b)	加点	天 稹 (D)	建风浸 (D/ B)	加点
	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加州	 実績累計(E)	進捗度(E /C)	加州
	日际地面(C) 日际地面(C) 日际地面(C)	大順米司 (L)	進抄及 (L/ C)		大根米il(L)	進抄反	(L/ C)	-	大根米司 (L)	進沙反	(L/ C)	-	大根米il (L)	進沙反(.L/ C)	-
	目標 (B) 目標 (B) 目標 (B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D / B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
		∠ 192 (D)	EINIX (D) D)	加点	X 192 (D)	是小人	(5) 5)	加点	X 192 (D)	Æ JANG	(5) 5)	加点	X 19 (D)	Æ/3///2 (<i>D</i> / <i>D</i> /	加点
	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
				1												
■評価結果					•									,		
	所管評価		令和3年度			令和4年度				令和5年度				令和6年度		
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。	縮減や、鉛管密度の高 を図っていますが、労務費 加え、鉛管設置場所が 管密度低減のため、平成 併せ、鉛給水管の更新を	費や諸経費率等の工事費 見込以上に分散していた 成30年度から検定満期:	費用の高騰に ことに伴う鉛 メータの取替に	縮減や、鉛管密度の高を図っていますが、労務野加え、鉛管設置場所が、管密度低減のため、平新併せ、鉛給水管の更新、なお、他工事と併せた!	費や諸経費率 見込以上に分成30年度から を行う取り組み 更新が伸びな	等の工事費 対していたる 検定満期メ かを実施して かったことによ	用の高騰に ことに伴う鉛 ータの取替に います。								
	===/m++==	マケナカ	4/	Λ =π /π			1	S = 27 / 71°	マケルカ	1	40.0	\ =π /π·	マケシカ		40.7	S = 07 / 70°
	評価結果	予算効率 作業効率	4点 総1	合評価 B	予算効率 作業効率	3点		S評価 C	予算効率 作業効率		和公正	合評価	予算効率 作業効率		総合	計画
	評価の観点・結果	外的要因加点	-7111	ь /10点	外的要因加点	0点		C /10点	外的要因加点		0占	/10点	外的要因加点		0占	/10点
事業・取組が目札	【有効性評価】 漂等を達成するために有効であったか評価する。		k事故の未然防止や有り 必要があることから、引き (主に口径50mmのじ、 ともに、戸別の鉛給水管	又率向上の観 続き他工事 い管、鋼												
	評価結果	達成度	3点 総1	合評価	達成度	3点	総合	許価	達成度		総合	許価	達成度		総合	許価
	評価の観点・結果	進捗度	3点	С	進捗度	3点		С	進捗度				進捗度			
	₽〒 Щ▽╱世花点は、小口木	外的要因加点	0点 6点	/10点	外的要因加点	0点	6点/	/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点/	/10点
④ 2 次評価結果																
			維持			維持										
		紿	Z営審議会総評		紅	E営審議会総	評		経	Z 営審議会総	於評		ń	経営審議会総調	評	
		引き続き、計画に沿って			引き続き、計画に沿って				·							
I		J. Capace at Energy C.	, ,, c, E, E , occ.		J. C., D. E. C. D. E. C. D. C.	, A CILLE 7	JCC.									

【方向性】

					491 - V	~, , , , ,	予不可则 自	-E 1.								
施 策 IV	災害対策・体制の強化			事業・取組名 IV - 1	浄配水施訓	设の計画的耐	震化							所管課	計画語	整備課
事業概要																
	【事業の目的】	大規模地震力	発生した場合でも、影	影響を最小限にとどめ、	水道システムと	して機能を損な	 ようことのない。	よう、浄配水	施設整備に	併せ、効率的に	浄配水施設等の耐震	髪化を進めます。				
			令和3年度				令和4年度				令和5年度	Ē		令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	定)・長峰配水 [構内水管]・青 [設計業務]今 耐震実施予定 青山浄水場(配地、洗浄水槽、	易配水池(令和3年度 計山浄水場構内水管 後の耐震化に向けた記 8 施設 平成27~令 3水池、 <u>洗浄水槽</u>)、『	(令和6年度完了予定	定)・秋葉醇 沈砂池(令 【構內水管 【設計業務 】 耐震実施予 計量 上海水均池、洗净水均池、洗净水	物】·青山海 记水場配水池 和5年度完了 【·青山海水場 【今後の耐震 一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。 「一种である。」 「一种である。 「一种である。」 「一种である。 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一种である。」 「一本である。 「一本である。」 「一本である。 「一本でする。 「一本でる。 「一本でする。 「一本でする。 「一本です。 「一本でする。 「一本でする。 「一本です。 「一本です。 「一本です。 「一本でする。 「一本でする。 「一本	(令和5年度 予定) 場構内水管(化に向けた設 平成27~令程 <u>浄水槽</u>)、阿、 、巻取水場(完了予定)。 令和6年度等 計業務 和6年度※下 打賀野川浄水	巻取水場 完了予定) 下線は完了 ×場(<u>配水</u>	定)·秋葉配水 沈砂池(令和5 【構內水管】· [設計業務]今 耐震実施予定 青山浄水場(『 池、洗浄水槽	場配水池(令和5年度 5年度完了予定) 青山浄水場構内水管 後の耐震化に向けた記 8 施設 平成27~令 配水池、 <u>洗浄水槽</u>)、原	他(令和5年度完了予度完了予度完了予定)·巻取水場 (令和6年度完了予定) 設計業務 (本和6年度※下線は完了 阿賀野川浄水場(配水場 (沈砂池)、長峰配水場				
過程		•														
	年度		令和3年度		令和4年度 580,590,000					令和5年度	E		令和6年度			
【予算·決算額】	予算額 (a)			250,245,0	<u> </u>						825,081,000					
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)			207,089,0												
)3*V) IC/3*	執行率(%) (b)/(a)			82.8	% 67.4%					0%		#DIV/0!				
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4	l年度	対目	目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対	目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) 担当者数	2.50人			2.27人 1.97人	2.93人										
時間 (人員) は どれくらいかけたか	期間(d) 対応期間	1年	1年	100%	1年	14	ŧ	86.	8%	1年						
	単位あたり の作業量 (c/d)	2.50人/年	2.50人/年		2.27人/年	1.97	人/年			2.93人/年						
	対応期間あたり従事職員数	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1	()	(1)	⁄ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(1.	/ア)
所管課分析評価															•	
吉果·効果	A fin a ferritrist		A 100 F F				0.10.4 Fr				A 105 for for	-		A TREE TO		
	令和 2 年度実績	▲ 書山路 小押	令和3年度		▲主山海。		令和4年度				令和5年度	<u> </u>		令和6年度		
【実施結果・効果】 §業・取組の結果は	◆長峰配水場配水池の工事着手 ◆設計業務 ・各耐震化に向けた設計業務	・構内水管布設・配水池長寿命 ◆経年劣化した ・長峰配水場面	化工事(契約)	(R3年度完了)	·構內水管 ·構內水管 ·配水池長 ◆経年劣化 ·秋葉配水	以場施設整備 耐震化工事 布設工事(コ 寿命化工事 とした設備の個 場配水池長美 を備に向けた設	(工事継続) 工事継続) (工事継続) 国別整備 長命化工事									
			予定を上回る 101%以上	100%以下 90%未満	~		予定を上回る 101%以上	90%~	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下 90%未満
		青山浄水場施設		1点		施設整備事業		1点								
		個別整備による耐	震化工事	1点	個別整備によ	る耐震化工事		1点							1	-
															1	

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

平均(A)

1点

新。ファタープラン真業製価等用シーL

								新・マスタープラン	ン事業評価管理	シート								
目標設定項目 (評価指標)	令和3年度 令和4年	目標	度 令和6年度	-	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度	
	目標(B)目標(実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度([/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
【土木構造物】	1 0	3	0	1施設完了	100%	3点	加点	工事·設計継続	100%	3点	加点				加点			加点
(完了数/全計画数)				実績累計(E)		(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E		0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	5/8 5/		_	5/8施設完了	100%	3点	N 45 #F CD	5/8施設完了	100%	3点	61.46 TE CO	中 (4 (5)	本什在	(D (D)	h) 45 =====	中华(5)	(P (P)	61.45.TE
	目標(B)目標(B) 目標(B) 目標 (B)	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度(ロ	/ B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)目標累計	(C) 目標累計(C) 目標累計 (C)	実績累計(E)	准排度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E	(C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(F / C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E/C)	ルボ
	DISORDI (O) DISORDI	(C) DISCHI (C) HIJORDI (C)	大照末町 (亡)	進197文	(L/ C)	0点	大順末町 (亡)	進沙及 (L	<i>/</i> C/	-	大惊来的 (1)	建沙	(L) ()		大順末日(亡)	進沙及 (上/ 七/	
	目標(B)目標(B) 目標(B) 目標 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D	/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
							加点				加点				加点	-		加点
	目標累計(C)目標累計	(C) 目標累計(C) 目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E	/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
							-/											
	目標(B)目標(B) 目標(B) 目標 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度([∕B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
				÷(+====================================	W. Lib ale	(= (=)	加点		>// lib === / ==	(=)	加点	÷/+m=1 (=)	144 Lib etc.	(= (=)	加点		V(1)= (= (=)	加点
	目標累計(C)目標累計	(C) 目標累計(C) 目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E	/C)	-	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)目標(B)目標(B) 目標 (B)	実 績 (D)	海战府	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(ロ	/R)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
	口保(D) 口保(D) 日信 (C) 日保 (D)	大 (L)	建冰皮	(0/0)	加点	大 根 (D)	建以友 (L	/ b)	加点	大 惧 (D)	建以反	(0/6)	加点	大 (L)	连风及 (D/ B)	加点
	目標累計(C)目標累計	(C) 目標累計(C) 目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	лим	実績累計(E)	進捗度(E	/C)	<i>у</i> нли	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	Энл	実績累計(E)	進捗度(E/C)	<i>Д</i> нд
				2 (1) (1)	722752	(_, _,		2 (1) (2) (2)	~	, -,		2 (1)(1)(1)		(_, _,		2 (1)(1)(1)		
■評価結果							,	•										
	所管評価				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度	
事	【効率性評価) 業・取組の実施効率を	-		・青山浄水場施設整備 構内水管布設工事、面 注し、工事着手しました ・長峰配水場配水池長 た。	2水池長寿命 。	化工事を計	画通りに発	・青山浄水場施設整備 構内水管布設工事、配 を進めています。 ・秋葉配水場配水池長 事着手しました。	水池長寿命化	工事は計	画的に工事							
	評価結果			予算効率	4点	総合	今評価	予算効率	4点	総合	評価	予算効率		総合	今評価	予算効率	総	合評価
	2,1	Ħ		作業効率	3点		В	作業効率	4点		В	作業効率	1			作業効率		
	評価の観点・結	未		外的要因加点	0点	7点	/10点	外的要因加点	0点	-71117		外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点	0点	/10点
事業・取組が目相	【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。		外的要因加点 0点 7点/10点 ・大規模地震が発生した場合でも、水道システムとして機能を 損なうことのないように浄配水場施設の耐震化を進めていく必 要があります。令和3年度は長峰配水場配水池の耐震化工 事が完了しました。 ・来年度以降も継続して、浄配水施設の施設整備にあわせ、			THE SAME SAME SAME SAME												
	評価結果			達成度	3点	総合	今評価	達成度	3点	総合	評価	達成度		総合	今評価	達成度	総	合評価
	評価の観点・結	 果		進捗度	3点		C	進捗度	3点		C	進捗度				進捗度		
④ 2 次評価結果	p			外的要因加点	0点	6点	/10点	外的要因加点	0点	6点/	′10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点	0点	/10点

	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

施 策 IV	災害対策・体制の強化				事業·取組名	IV - 2	管路施設の	計画的耐震	化								所管課	計画	整備課
①事業概要						1													
	【事業の目的】	大規模地震	受が発生した場	易合でも、生	上活や都市沿	5動に必要な	♪水道水をでき	る限りお客さ	まに届けられ	るよう、老杯	化管路を地流	雲に強い耐震管	管へ入れ替え、管路施	設の耐震化を進めま	す。				
			ŕ	介和3年度					令和4年度				令和5年度	Ę			令和6年		
		○基幹管路						更新事業				○基幹管路更							
			更新計画に基 F度~令和6年						:基づく管路の 5年度32.81				更新計画に基づく管路 度~令和6年度32.8						
	【取組内容と計画】		F及~〒和01 度 1,500m						n(後期実別				度~〒和6年度32.6 夏 2,700m(後期実						
	「事業・取組み」の	〇配水支管					○配水支管更新事業・年度別に更新路線を選定し更新					○配水支管更		_					
	内容と計画(予定)		更新路線を選 F度~令和6억		.3 k m				選正し更新 5年度 132.	.3 k m			夏新路線を選定し更新 度〜令和6年度 133						
		令和3年	度 11,100n	n(後期実	(施計画より))			m(後期実)		夏 10,700m(後期)						
		(Ⅲ-2管	路施設の計画	画的更新に	併せ実施)														
②過程																			
	年度		f	令和3年度					令和4年度				令和5年度	Ę			令和6年	芰	
【予算·決算額】	予算額(a)				6,34	4,500,000										00			
費用はどれくらい	執行額 (b)				4,91	7,126,061	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·												
かけたか	執行率(%) (b) / (a)					77.5%					70.1%				0%		#DIV/0)!	
	年度	目標	令和3年	年度	対目	目標	目標	令和4	1年度	対	目標	目標	令和5年度	5年度 対目標		目標	令和6年度	対	目標
7 0土88 (十生)	総作業量 (c)	24 90 1	24.69	1.0			3E 00 I	25	76			35.19人							
【時間·体制 (人員)】	担当者数	34.80人	34.00	34.68人			35.00人	35.	.76			35.19							
時間(人員)は どれくらいかけたか	期間(d)	1/5	1/5		00		1年	1.	т	10	20/	1/5							
C11(20/07/07/20)	対応期間	1年	1年		99.7%	1#	1:	#	10.	2.2%	1年								
	単位あたり	34.80人/年	34.68 <i>)</i>	J. /午			35.00人/年	35.76	认/年			35.19人/年							
	の作業量(c/d)	54.00///4	34.007	V/+			33.00/(74	33.70)/(+			33.13//	/年						
	対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ))	(1)	/ア)	(ア)	(-	ሰ	(1	/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)		(ア)	(イ)	(1	/ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果																			
■和木・刈木	令和 2 年度実績		f	介和3年度					令和4年度				令和5年度	Ę			令和6年	 芰	
	◆工事発注延長(注)	◆工事発注延					◆工事発注												
	基幹管路更新事業 更新延長 3,897m 4,600m(予算時計画長)	基幹管路更新	所事業 更新延		4m im(予算時i	計画長)	基幹管路更新	新事業 更新	延長 3,1 3,28	.30m 0m(予算	詩計画長)								
【実施結果·効果】	配水支管更新事業 更新延長 12,884m	配水支管更新	折事業 更新延	長 13,76	57m		配水支管更新	新事業 更新	延長 12,9	95m									
事業・取組の結果は	11,570m(予算時計画長)	▲丁事竣工系	E長(前年度か		'7m(予算時 「長今む)	詩計画長)	▲丁事龄丁	近長 (前年度	10,73 ほからの繰越延	8m(予算) (集会か)	時計画長)								
	※既設管路ルートでの更新が困難なため,別ルートによる更新を行った結果,延長が増減して		f事業 更新延				基幹管路更新												
	います。	配水支管更新	新事業 更新延	長 13,7	'18m		配水支管更新	新事業 更新	延長 13,4	63m									
	◆工事竣工延長(前年度からの繰越延長含		美の進捗は, エ	事の発注延	延長により計画	管理してい		業の進捗は,	工事の発注延	E長により計画	画管理してい								
	む)	0.7 o					ます。												
	基幹管路更新事業 更新延長 4,830m 配水支管更新事業 更新延長 11,938m								予定を上回る	予定どおり	予定を下回る		予定を上回る	予定どおり 予定を 予定を	T@7		予定を上回	ァ 予定どおり	予定を下回る
	配小又官更新争集 更新延長 11,938m	予定を上回る 101%以上 100%以下 予定を下回る 90%~ 100%以下							7年を工画。	90%~ 100%以下	000/土港。		101%以上				101%以		000/土港。
	(注):事業の進捗は、工事の発注延長によ	基幹管路更	新事業	2点	100 /02/		基幹管路更	新事業		1点				100 /00/				100 /01/	
	り計画管理しています。	配水支管更	新事業	2点			配水支管更	新事業	2点										
												1							

平均(A)

1.5点

平均(A)

平均 (A)

2.0点

								新・マスタープラン	ン事業評価管理	里シート									
目標設定項目		標			令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度		
(評価指標)	令和3年度 令和4年度				1-14-17-	•	1						1-14-172	•					
管路耐震適合率		目標(B)		実 績 (D)	達成度		外的要因	実 績 (D)	達成度([外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
※評価指標の延長は	69.7% 70.1%	70.4%	70.8%	69.8%	100.1%		加点	70.2%	100.1%	4点	加点				加点				加点
発注延長(計画値)	目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E	E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
を使用	69.7% 70.1%	70.4%	70.8%	69.8%	100.1%	4点	Omi	70.2%	100.1%	4点	Omi								
基幹管路耐震適合率	目標(B)目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度([D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
※評価指標の延長は	67.4% 68.2%	69.1%	70.1%	67.9%	100.7%	4点	加点	69.0%	101.2%	4点	加点				加点				加点
発注延長(計画値)	目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0.=	実績累計(E)	進捗度(E	E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
を使用	67.4% 68.2%	69.1%	70.1%	67.9%	100.7%	4点	0点	69.0%	101.2%	4点	0点								
	目標(B)目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度([)/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
							加点				加点				加点				加点
	目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E	E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
							0点			,						,			-
	目標(B)目標(B)	日煙 (B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度([)/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
			1 (b)	X 13. (5)	2002	(5, 5,	加点) (IX (D)	22/2/2 (2	, , ,	加点)(1)x (5)	22/3/2	1	加点)	22/2/2		加点
	目標累計(C)目標累計(C)	日標要計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	准排度	(E/C)	ини.	実績累計(E)	進捗度(E	= /C)	лим	実績累計(E)	進捗度	(F /C)	лим	実績累計(E)	進捗度	(F /C)	лим
	口班来自(C) 口班来自(C)	шижен (с)	шжен (с)	大順末山 (L)	進沙皮	(L/ C)		大順末山 (L)	進沙皮 (L	_/ ()		大順系引(L)	進沙皮	(L/ C)	-	大順赤山 (L)	進沙皮	(L/ C)	-
	目標(B)目標(B)	目標(B)	口捶 (D)	実 績 (D)	海代府	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度([) /B)	имта	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
	日保(D)日保(D)	日信 (D)	日信 (D)	天 禎 (D)	连风反	(D/ B)	加点	天 根 (D)	建双反 (L	J/ D)	外的要因 加点	天 根 (D)	建风反	(D/ B)		天 禎 (D)	建风反	(D/ B)	
				安结用=1 (5)	\# \# \# \#	(F (C)	加只	安结用=1 (5))##F度 /F	- (6)	加只	中纬用=1 /5)	\# Alt c=	(F (C)	加点	中纬用引 (5)	\##F##	(F (C)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進抄及	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E	=/ ()		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	_
■評価結果					^				^				^				^		
	所管評価				令和3年度	•			令和4年度				令和5年度				令和6年度		
								・新・マスタープラン後期実											
				に影響の大きい基幹管路	各や中心市街	町地の老朽酢	は水支管の更	響の大きい基幹管路や中 しています。	心中街地の名代	加水文官())史和で独化								
				新を強化しています。			_	・基幹管路更新事業は通	水炉業に時間を	・亜オスため	布記を前例								
	【効率性評価】			・試掘などの事前調査を				しで進めており、作業量が											
事業	業・取組の実施効率を評(西する。		で、目標の事業量を効率	些的に達成す	ることかでき	ました。	と調整を図りましたが、一部											
								が低下しました。											
								・今後も事前調査や関連	事業との調整に耳	取り組み、目	標の事業量								
								を効率的に達成できるよう	進めていきます。										
	評価結果			予算効率	5点	総合	>評価	予算効率	4点	総合	評価	予算効率		総合	許価	予算効率		総	合評価
	==/T.o.48 + /+=			作業効率	4点		Α	作業効率	2点	C	2	作業効率				作業効率			
	評価の観点・結果			外的要因加点	0点	9点/	/10点	外的要因加点	0点	6点/	10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
				・管路施設の耐震化にこ	いては、生活	きや都市活動	加に必要な水	・管路施設の耐震化に	ついては、生活や	都市活動	に必要な水								
				道水をできるだけ届けられ	1るよう、 更新	新業にあわ [・]	せ計画的に	道水をできるだけ届けられ	1るよう、更新事	三業にあわせ	計画的に								
				進めていきます。				進めていきます。											
	【有効性評価】			・新・マスタープラン後期3	実施計画の見	見直しにより、	事故発生時	・引き続き、事故発生時	に影響の大きい	基幹管路	や中心市								
事業・取組が日晷	【特別注評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。			に影響の大きい基幹管路	各や中心市街	町地の老朽画	こ水支管の更	街地の老朽配水支管の	更新を強化して	ていきます。									
7× 4×10/10/10	争来・玖旭が日保守を建成するために有効でのカだが計画する。			新を強化しています。															
	評価結果				4点	442	5評価	達成度	4点	総合	1117/开	達成度		442A	計評価	達成度		442	今評価
	計画和本			達成度 進捗度			э ё∓1Ш В	進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進				進捗度		市心口	I PT I IIII	進		#ici	コロイブ叫
	評価の観点・結果				4点	-	_		4点	D D 占 /				0 ±	/10 - 5			0.1	/10±
	h i ima > movic annualis			外的要因加点	0点	8点/	/10点	外的要因加点	0点	8点/	IU炽	外的要因加点	1	U点/	/10点	外的要因加点		U点	/10点

④ 2 次評価結果				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	予算規模が大きく,管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから,引き続き,計画に沿った事業推進に努める			
【方向性】	cc.			

施 策 IV	災害対策・体制の強化			事業·取組名 IV - 3	重要施設向	け配水管の耐震化						所管課	計画整備課
1)事業概要												<u>'</u>	
	【事業の目的】	災害時に早	■急な対策・復旧計画	の策定が求められる行政	幾関や、被災し	た市民の生命に係る非	対急医療施設などの重要施設	没向け配水支	管の耐震化を優先的に近	進め、被災対応の充実を 国	凶ります。		
			令和3年	芰		令和4年	度		令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	・重要施設 機関への供 入れ替えま ・令和3年度 累計41施i ・耐震化予定	総ルートである配水支 す。 医療機関2施設 設(行政機関9施設 での重要施設(令和6		・重要施証 機関への付 入れ替え ・令和4年原 累計42施 ・耐震化予	共給ルートである配水3 ます。 その機関1施設 設(行政機関1の施設 定の重要施設(令和6	可放機関および救急医療 を管を優先的に耐震管に 段, 医療機関32施設)	・重要施設機関への供入れ替えま・令和5年度累計43施・耐震化予算	向け配水管の耐震化 に位置づけた市内の行政 総加ートである配水支管 す。 医療機関1施設 设(行政機関10施設, 空の重要施設(令和6年 設(行政機関12施設,	を優先的に耐震管に 医療機関33施設) E度まで)			
)過程													
	年度		令和3年	芰		令和4年	度		令和5年度			令和6年度	
【予算・決算額】	予算額 (a)			300,000,00	0		342,000,000			396,790,000			
費用はどれくらい	執行額 (b)			280,044,60	10		332,814,180						
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			93.3	%		97.3%			0%		#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間・体制	総作業量(c) 担当者数	1.17人	1.33人		1.83人	1.54人		1.03人					
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	期間 (d) 対応期間	1年	1年	113.7%	1年	1年	84.2%	1年					
	単位あたり の作業 量(c/d)	1.17人/年	1.33人/年		1.83人/年	1.54人/年		1.03人/年					
	対応期間あたり従事職員数	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果					•								
■和未・刈未	令和2年度実績		令和3年			令和4年		1	令和5年度			令和6年度	
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	◆耐震化完了重要施設数(実際に工事が完了 した施設数の累計) ・行政機関 9施設 ・医療機関 30施設 (令和2年度 みど)病院,とやの中央病院, 新潟万代病院 完了) ◆重要施設向け配水管更新工事発注施設数 ・行政機関 0施設[計9施設] ・医療機関 3施設[計31施設] みど)病院、新潟万代病院、 新津信愛病院 (R2年度発注:2)年継続)	(実際に ・行政機関 ・医療機関 (R3年 ◆重要施設向 ・行政機関	工事が完了した施設数 9施設 3 2 施設 度 新潟信愛病院,第 句计配水管更新工事を 0 施設(計 9 施設) 2 施設(計 3 3 施設 新潟信愛病院、	T津信愛病院 完了) 主施設数	(実際 ・行政機関 ・医療機関 (R44 ◆重要施設 ・行政機関		") 注施設数 建】		***				
	(代2年)及先注: 2刀牛弛机)		予定を上回 101%以			予定を上回 101%以			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を 90%オ
		重要施設向け配え	水管の耐震化	1点	重要施設向け	己水管の耐震化	1点						

平均(A)

1.0点

平均(A)

平均(A)

1.0点

								新・マスターブラ	ン事業評価管理シート									
目標設定項目]標			令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度	:	
(評価指標)	令和3年度 令和4年度					-												
TIT #	目標(B)目標(B)			実 績 (D)		(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
耐震化完了重要施設数 (マスタープラン前1施設及び計画	2/1602 1/1602	1施設	5施設	2施設	100%	3点	加点	1施設	100.0% 3点	加点	÷/+m=1 (-)	M. Liberto	(= (=)	加点	÷(+ m=1, (-)	V/- Lib ====	(= (=)	加点
以外2施設の完了を含む)	目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)		実績累計(E)		(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-
	41施設 42施設	43施設	48施設	41施設	100%	3点	h) 45 #F CD	42施設	100.0% 3点	b) 45 == C	中 纬 (5)	***	(D. (D.)	61.45 TE CO	虫 纬 (5)	****	(D (D)	b) 45 mm
	目標(B)目標(B)	目標(B)	日標(B)	実 績 (D)	達放贤	(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点	実 績(D)	達	(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)目標累計(C)	DAMEST (C)	DAMEST (C)	実績累計(E)	光华庄庄	(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(5 (6)	加州	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	加州
	日標系計 (C) 目標系計 (C)	日信系訂(C)	日信系訂 (C)	夫楨糸訓(E)	進抄及	(E/C)	0点	夫禎糸訓 (E)	進抄及(E/C)		夫楨糸訓(E)	進抄及	(E/C)		夫楨糸訓(E)	進抄及	(E/C)	-
		日煙 (B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	 実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
		口(示 (D)	口(示 (D)	天 順 (D)	连风反	(0/0)	加点	大 順 (D)	连成伎 (D/ D)	加点	大順(D)	连风反	(0/0)	加点	大 順 (D)	连风反	(0/0)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	日標累計 (C)	目標累計 (C)	実績累計(E)	谁挑度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	<i>Э</i> нліі	実績累計(E)	進捗度	(F/C)	Энли	実績累計(E)	進捗度	(F/C)	Зили
	DISTRIFT (C)	HIJORDI (C)	HIGHERT (C)	AND THE PROPERTY OF THE PROPER	XE17/X	(2) ()	0点	X492XB1 (L)	/EIJ/IQ (E/ C/		入/版/KBT (E)	AE17/Q	(2) ()		<u> </u>	X=127/Q	(L) ()	1
	目標(B)目標(B)	月標(B)	月標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
				,			加点			加点	,			加点	,			加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
																		1
	目標(B)目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
							加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果																		
	所管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
事多	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評値	価する。		・計画的に業務を進めた いては全て発注できましれ ・人員体制は更新ルート な発注ができました。	ž.			・計画的に業務を進めたいては全て発注できまし ・令和3年度から継続。 て、更新ルートを変更す 善できました。	た。	通病院につい								
	評価結果			予算効率	3点		合評価	予算効率	3点 総	合評価	予算効率		総合	>評価	予算効率		総合	>評価
	評価の観点・結果			作業効率	2点	į	С	作業効率	4点	В	作業効率				作業効率			
	計画の既然・心木			外的要因加点	0点	-	/10点	外的要因加点		/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
事業・取組が目様	【有効性評価】 票等を達成するために有効	一価する。	・医療 2 施設を計画通り発注しました。 ・当該事業は、災害時の対策として重要な取り組みであること から、今後も計画的に進めます。 ・行政 1 施設、医療 2 施設を計画通り発注しました。 ・当該事業は、災害時の対策として重要な取り組みであること から、今後も計画的に進めます。															
	評価結果			達成度	3点	総総	合評価	達成度	3点 総	合評価	達成度		総合	>評価	達成度		総合	>評価
	評価の観点・結果				3点		С	進捗度	3点	С	進捗度		1		進捗度			
					0点	6点	/10点	外的要因加点	0点 6点	/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
④ 2 次評価結果				1				1										
1					維持				維持						1			

受 2 人計 価 和 未				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.	引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

施 策 IV	災害対策・体制の強化			事業·取組名 IV - 4			所管課	管証	洛課							
事業概要	【事業の目的】	事故·災害	時の被害範囲の極/	小化や復旧の迅速化を図るた	め、配水幹線	泉の更新や関連事業との	整合を図りな	がら、小ブロッ	ク(135ブロッ	ック)の構築を行います。						
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)		令和34 関策 夏末(85.9% 116 夏末(90.4% 122	5/135)		令和4年度の構築 度末(85.9% 116/ 度末(90.4% 122/	´135)			令和5年度 D構築 度末(85.9% 116/ 度末(90.4% 122/	135)			令和6年度		
過程																
	年度		令和3年			令和4年原	ŧ			令和5年度				令和6年度		
【予算·決算額】	予算額 (a)			0				0				0				
費用はどれくらい	執行額 (b)			0				0								
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			_				_		#DIV/0!				#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対	∃標	目標	令和5年度	対目	目標	目標	令和6年度	対	目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	0人	0人		0人	0人			0人							
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	1年	1年	0%	1年	1年	0	%	1年							
	単位あたり の作業量 (c/d)	0人/年 0人/年		0人/年	0人/年			0人/年								
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(1.	⁄ア)	(ア)	(イ)	(1)	/ア)	(ア)	(1)	(1)	/ア)
所管課分析評価 結果·効果																
MA WA	令和2年度実績		令和3年			令和4年	£			令和5年度				令和6年度		
【実施結果・効果】 『業・取組の結果は	・小ブロック構築数 6ブロック ・小ブロック構築率 85.9% (116/135) 巻浄水場系〜戸頭浄水場系連絡管整備や中 之口川に係る水管橋整備の進展等に併せて、6 ブロックの構築に至りました。	・小ブロック構 ・老朽管の機 ブロックを構築 なお、今年 新たなブロック	しました。 度は、令和2年度構	主入点数への変更により、3 築済みの1ブロックを包含する 築済みブロック数が令和2年 動加となっています。	・小ブロック相 ・関連する他 定していた2 なお、今年	構築数 0ブロック 構築率 87.4% (118 中事業が未整備のため管 ブロックを構築することが 定度構築を予定していた。 予定を変更しています。	路整備事業。できませんでし できませんでし でうませんでし プロックについ アデ定どおり 90%~	た。		予定を上回る 101%以上	90%~	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~	予定を下回る 90%未満~
		小ブロック構築		100%以下 90%未淘~	小ブロック構		100%以下	0点		10170以上	100%以下	3070不凋~		10170以上	100%以下	9070不凋~

平均(A)

0点

平均(A)

1点

平均(A)

							新・マスタープラ	ン事業評価領	き理シート							
目標設定項目(評価指標)	A102/F		目標 令和5年度 令和6年度		令和3年度			令和4年度				令和5年度			令和6年度	
(計価担保)			目標(B)目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
小ブロック構築率	87.4%	88.9%	88.9% 90.4%	87.4%	100% 3点		87.4%	98.3%	3点	加点	大 (E)	建成设 (0/ 0)	加点	大 (E) (D)	建城设 (0/ 0)	加点
2 2 - 11 - 11 - 11	目標累計(C)			実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度		4 =	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	_	-		-	- 3点	i 0点	-	-	3点	1点						
	目標(B)	目標(B)	目標(B)目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度 (D/B)	外的要因
						加点				加点			加点			加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C) 目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	D# (b)	D# (b)		r (± (5))±-4-5 (5 (5)	N 45 #F C	r (# (5)	\#_ \	(5 (5)	51.45 TE CO	p (# (p))	h) 45 == C	rh (# (p))±-4-5 (5 (5)	51.45.TE
	日標(B)	日標(B)	目標(B)目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	DAMEST (C)		目標累計(C)目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	ル只
	日信来計 (C)	日標系計 (C)	日標系計(C) 日標系計(C)	天祖糸司 (C)	進抄長 (E/ C)		天祖糸司(C)	進抄反	(E/ C)	-	天祖糸司(C)	進抄及 (E/ C)		天祖糸司(C)	進抄及 (E/ C)	
	日煙 (B)	日煙 (B)	目標(B)目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D / B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
	口(示 (D)	口(示 (D)		关 慎 (b)	建成反 (0 / 0)	加点	天 / (D))上/从/文	(0) 0)	加点	大 (E)	建成及 (0/ 0)	加点	大 順 (D)	建城设 (0/ 0)	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	жи	実績累計(E)	進捗度(E/C)	ж	実績累計(E)	進捗度(E/C)	удну
				2019E2RB1 (2)	23/2 (2/ 0/		JOHN CE	~=:>/.	(2) 0))(1)(2)(1) (2)	237/2 (27 0)		JOHN CE	237/2 (27 0)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
						加点				加点			加点			加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計 (C) 目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
■評価結果																
	所'	管評価			令和3年度			令和4年度				令和5年度			令和6年度	
						格整備事業に併	・小ブロック構築のための		他の管路整	経備事業に併						
				せて効率的に実施してい ・予算の計上及び執行		F/+つブロックを堪	せて効率的に実施してい ・ 今年度は関連する他		のたみ等攻	救備車業が						
	₹ zh sz	2性評価】		築することができました。	80))	(1637 L) 7 C H	行えず、予定していた2									
事	*・取組の実		価する.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			た。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
7.2	* 40,000	1143 — CP11	ш У О													
	評	価結果		予算効率	3点	総合評価	予算効率	2点	総合	>評価	予算効率	総	合評価	予算効率	総	合評価
	歌海の	観点·結果		作業効率	3点	С	作業効率	2点		С	作業効率			作業効率		
	計加り	既从•和未		外的要因加点	0点 6	点/10点	外的要因加点	1点	5点/	/10点	外的要因加点	0点	/10点	外的要因加点	0点	/10点
				・配水管網のブロック化に			配水管網のブロック化(
				局所化や迅速な復旧を												
				の目標値を達成し、配え		「応面でのレベル										
		か性評価】		アップが着実に進んでいる	£9 。		調整し、引き続き配水管 プを着実に進めていきま		炎告 刈心田	どのレヘルアツ						
事業・取組が目標	票等を達成す	るために有效	かであったか評価する。				ノを有夫に進めているよ	9.								
	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	価結果		達成度	3点	総合評価	達成度	3点	\$44.4C	5評価	達成度	222	合評価	達成度	222	合評価
				進捗度	3点	С	進捗度	3点		С	進捗度	帯の日	⊔ р Г I Ш	進捗度	THE A	⊔ рТІШ
	評価の	観点·結果		外的要因加点		点/10点	外的要因加点	0点		て /10点	外的要因加点	0点	/10点	外的要因加点	0点	/10点
4) 2 次評価結果				71.72mm/m	O/M			3,111	-71107	-/		O/MC			5/11	
							1									

	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	

	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

施策IV	災害対策・体制の強化						所管課	管路課					
	<u> </u>				<u> </u>								
	【事業の目的】	事故·災害	時のバックアップを目的とし	、大ブロック(各浄配水均	易給水区域)	間に相互連絡管を整備	前し、安定給水の向上を図	ります。					
			令和3年度			令和4年度	Į.		令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	・国道460 期間: H ○信濃川浄 ・亀貝ルー 期間: R ○南浜配水 ・豊栄-太	系~戸頭浄水場系連絡 号線 φ500mm L=6, 127~R6年度 水場系~青山浄水場系 ト φ500mm L=2,340 3~R6年度 場系~内島見配水場系 夫浜線 φ500mm L=1 3~R4年度	880m 医連絡管整備 Im 医連絡管整備	・国道4605 期間:H: ○信濃川浄 ・亀貝ルート 期間:R ○南浜配水 ¹ ・豊栄-太	系〜戸頭浄水場系連 号線 φ500mm L=6, 27〜R6年度 水場系〜青山浄水場 、φ500mm L=2,34 3〜R6年度 場系〜内島見配水場 夫浜線 φ500mm L= 3〜R4年度	.880m K連絡管整備 Om K連絡管整備	・国道460 期間:H ○信濃川浄 ・亀貝ルート	系〜戸頭浄水場系連絡 号線 φ500m L=6,8 27〜R6年度 水場系〜青山浄水場系 、φ500m L=2,340 3〜R6年度	380m 連絡管整備			
②過程													
ı	年度		令和3年度			令和4年度	E		令和5年度			令和6年度	
【予算·決算額】	予算額 (a)			688,000,000			449,500,000			925,260,001			
費用はどれくらい	執行額 (b)			501,801,000			262,856,182						
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			72.9%			58.5%			0%		#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制(人 員)】	総作業量(c) (実働時間)	2.25人	2.25人		1.6人	1.3人		2.3人					
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	1年 1年		100%	1年	1年	81%	1年					
	単位あたり の作業量(c/d)	2.25人/年	2.25人/年		1.6人/年	1.3人/年	-	2.3人/年					
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果													
	令和2年度実績		令和3年度			令和4年度	Į.		令和5年度			令和6年度	
	巻浄水場系~戸頭浄水場系連絡管整備		系~戸頭浄水場系連絡	管整備	·巻浄水場系	一一一頭浄水場系連絡	管整備						
	・ φ500mm L=702.5m 前々年度から工程の組替えを行った影響で、	·	_=240.2m k場系~青山浄水場系	連絡管整備		=420.6m [※] のみ令和5年度に繰越し	したため、布設延長は計						
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	今年度は、所期目標値を上回る整備延長を施工しました。		_=610.9m		<u>・</u> ・信濃川浄水	〈場系~青山浄水場系	連絡管整備						
	青山浄水場系〜南山配水場系連絡管整備 ・ φ500mm L=782m	南浜配水場系~内島見配水場系連絡管整備φ500mm L=401.7m南				· 孫~内島見配水場系	連絡管整備						
	今年度予定していた工区の一部を前年度に前	が中皮の。	∠ルートで召の77年で <u>1</u> 16	4のルエルできまいた。	φ500mm L	=UM							

予定を上回る

101%以上

2点

予定を下回る

平均(A)

90%未満~ 100%以下 90%~

2点

予定を上回る

101%以上

予定を下回る

90%未満~

平均(A)

90%~

100%以下

予定を上回る

101%以上

予定を下回る

90%未満~

90%~

倒しで発注したこともあり、今年度発注延長は計 画を下回ったものの、今年度発注工事をもって、

当該整備事業は完了しました。

予定を上回る

101%以上

2点

連絡管整備延長

平均(A)

予定を下回る

連絡管整備延長

平均(A)

90%未満~ 100%以下 90%~

2点

									新・マスタープラン	・事業評価管理シート									
目標設定項目(評価指標)	令和3年度 令和4	日標		△和6年度	-	令和3年度	:			令和4年度			令和5年度	Į.			令和6年度		
(計1個7月1宗)	日標(B) 目標				実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
相互連絡管整備延長	230m 35)m	350m	330m	240.2m	104.4%	4点	加点	420.6m	120.2% 5点	加点				加点				加点
(巻浄水場系〜 戸頭浄水場系連絡管)	目標累計(C)目標累	† (C) 目相	標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0.5	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0 -	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
广頭伊小物木连相目)	5,850m 6,20	00m 6	5,550m	6,880m	6,090.2m	104.1%	4点	0点	6,510.8m	105.0% 4点	0点								
	目標(B)目標	(B) 目	標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
相互連絡管整備延長 (信濃川浄水場系~	590m 20)m	600m	950m	610.9m	103.5%	4点	加点	589.1m	294.6% 5点	加点				加点				加点
(信展川津水場系〜 青山浄水場系連絡管)	目標累計(C)目標累	† (C) 目相	標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
HEN TO WARE THE	590m 79)m 1	1,390m	2,340m	610.9m	103.5%	4点	U.M.	1,200.0m	151.9% 5点	UM.								
	目標(B)目標	(B) 目	標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
相互連絡管整備延長	400m 25)m	-	-	401.7m	100.4%	4点	加点	0m	0.0% 1点	加点				加点				加点
見配水場系連絡管)	目標累計 (C) 目標累計	† (C) 目相	標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0占	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0占	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
JULIUS V MISTRALINA ELS	400m 65)m	-	-	401.7m	100.4%	4点	U.M.	401.7m	61.8% 1点	U::K								
	目標(B)目標	(B) 目	標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)目標累	† (C) 目相	標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)目標	(B) 目	標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C) 目標累	† (C) 目相	標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果																			
	所管評価					令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
					· 巻浄水場系~戸頭浄					場系連絡管整備並びに信									
					水場系~青山浄水場系				系~青山浄水場系連絡管										
					調整から目標値以上の				標値以上の延長を整備す	ることかできました。なお、い ていることから、一定程度前									
	【効率性評価				・南浜配水場系~内島				進めています。	こいることから、 足柱反則	団して尹耒で								
事業	業・取組の実施効率	を評価す	る。		予定どおりの延長の整備	により日標値	を達成する	ことかできまし		配水場系連絡管整備につ	いては、河川								
					/c _o				管理者との協議に時間を要	要したことと、工事発注のや	り直しにより、								
									令和4年度中の竣工ができ	なくなりましたが、既に債務	負担行為に								
									より発注し、令和5年度に				T					т	
	評価結果				予算効率	5点		合評価	予算効率		>評価	予算効率		総合	評価	予算効率		総1	合評価
	評価の観点・絶	井			作業効率	4点		Α	作業効率		Α	作業効率				作業効率		_	
	p				外的要因加点	0点		/10点	外的要因加点	-7111	/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
					・3路線すべてで目標値					る工事のため、目標値を達									
					バックアップ機能向上を目	的とする連絡	俗官整備か	青実に進んで	んでしたが、他の2路線は										
					います。		K## L#U	7+4 A%	発生時のバックアップ機能	に同上を目的とする連絡で	営整備か看								
	【有効性評価】				・事故・災害発生時のバ			るにめ、ラ伎		いカマップ総約を合 トナサ	マたゅ △公								
事業・取組が目標	事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。			価する。	も計画に沿って事業を実	他していきま	9.		・事政・災害先生時のハ も計画に沿って事業を実	ックアップ機能を向上させ	るため、ラ伎								
									○□Ⅰ四に/□ノ〔尹未で夫	からしていてより。									
					** + + +		(4)	\ =π /π	*************************************	46.4	N=37/1F	*******	1	641 A	.=a./m	***	1	AA.	Λ=π/π
	評価結果				達成度	4点		合評価 B	達成度	4点 総合	合評価	達成度		総合	許価	達成度	1	総介	合評価

評価の観点・結果

④ 2 次評価結果				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

進捗度

外的要因加点

3点

0点

В

7点/10点

進捗度

外的要因加点

進捗度

外的要因加点

0点/10点

0点/10点

4点 0点

В

8点/10点

進捗度

外的要因加点

施 策 IV	災害対策・体制の強化			事業·取組名 IV - 6	事故·災害晦	寺における復旧体制の強	化					所管課	経営管理課	
1 事業概要				,										
	【事業の目的】	事故·災害	唇時などの非常時において	て,迅速かつ的確に応急	給水する体制	や,水道施設を早期に行	复旧する体制の強化を図	るとともに,応	急給水設備の整備, 約	合水・復旧に係る各種災害	害協定や関係区	団体・地域住民との連携の	D強化などをはかります	
			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)		○各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアルの見直し拡充。 ○マニュアルに基ンζ訓練の実施 ・局内及び他事業体との訓練。 ○応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車用常設注水設備の整備。 ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整。 ○災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業や地域住民との協力及び協働体制構築に向けた調整。 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整。		○各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアルの見直し拡充。 ○マニュアルに基づ、訓練の実施 ・局内及び他事業体との訓練。 ○応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車用常設注水設備の整備。 ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整。 ○災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業や地域住民との協力及び協働体制構築に向けた調整。 ・遊難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整。		○各種災害時マニュアルの作成・更新 ・各種災害時マニュアルの見直し拡充。 ○マニュアルに基づ、訓練の実施 ・局内及び他事業体との訓練。 ○応急給水設備の整備 ・浄水場における給水車用常設注水設備の整備。 ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整。 ○災害時の協力体制および連携体制の拡充 ・民間企業や地域往民との協力及び協働体制構築に向けた調整。 ・遊難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整。								
	年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【予算・決算額】	予算額 (a)			()		0			()			
費用はどれくらいかけたか	執行額 (b)			()		0							
	執行率(%) (b) / (a)	-			_		#DIV/0!			#DIV/0!				
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標	
	総作業量 (c) 時間(h)	28.3時間	28.3時間		28.3時間	31.4時間		31.6時間						
	期間 (d) 作業従事職員数	3人	3人	100%	3人	3人	112%	3人						
	単位あたり の作業量 (c/d)	9.4時間	9.4時間		9.4時間	10.5時間		10.5時間						
	h/人	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	
③所管課分析評価	•									,		<u>'</u>		
■結果·効果														
	令和2年度実績	令和3年度		令和4年度			令和5年度			令和6年度				
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	・マニュアル等を見直し内容の充実を図りました。 (危機事象対応マニュアルなど) マニュアルに基ゴく訓練の実施	・マニュアル等対応マニュアレにま・局内訓練・他事業体とWEB会議・民間企業と	マニュアルの作成・更新 を見直し内容の充実を ル、応急対策マニュアルを 基ン訓練の実施 (地震対応訓練)を予ず (名古屋市、仙台市、大 を用いた訓練、情報交換 力体制および連携体制の 災害時応援協定を締結 法人全国上下水道コック。	定通り実施しました。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・マニュアル等を ル、応急対策マ マニュアルに基立 ・局内訓練(は ・他事業体(さ 防災訓練、設備 ・巻浄水場にお れましたが、工具 災害時の協力・	 (訓練の実施) 也震対応訓練)を予定通り実いなます、神戸市、大阪市、大阪市、保伝達訓練、技術交流会を行の整備 りな給水車常設注水設備のりな経り、中本部をはたため、令和5年度に本制および連携体制の拡充 	能能しました。 仙台市、名古屋市)と合同 行いました。 整備について、予定通り発注さ							

予定を上回る

101%以上

各種災害時マニュアルの更新

マニュアルに基づく訓練の実施

災害時の協力体制および連携体制の充実

平均 (A)

90%~

100%以下

1点

1点

1点

1点

予定を下回る

90%未満~

平均(A)

予定を上回る

101%以上

予定を下回る

90%未満~

平均(A)

90%~

100%以下

予定を上回る

101%以上

予定を下回る

90%未満~

90%~

100%以下

予定どおり

90%~

100%以下

1点

1点

1点

1点

予定を下回る

90%未満~

予定を上回る

101%以上

各種災害時マニュアルの更新

マニュアルに基づく訓練の実施

災害時の協力体制および連携体制の充実

平均(A)

した。

(株))

いました。

災害時の協力体制および連携体制の拡充

・民間企業と災害時応援協定を締結しました。

(水島鉄工(株), 水ing他2社, フジテコム

・拠点給水所の使用可否について課題整理を行

拠点給水所の周知方法の検討

各種マニュアルの作成・見直し 作成・見直し でた。・見直と できる。 実施 目標末針(C) 日曜末針(C) 日曜末針(C) 日曜末針(C) 日曜末針(C) 実績累計(E) 進捗度(E/C) 一	度 (D/B) 外的要因 加点 度 (E/C) 中
目標(B) 目標(B) 目標(B) 目標(B)	加点 (E/C) 外的要因 加点 (E/C) 外の要因 が高く (E/C) 外の要因 加点
各種マニュアルの作成・見直し 作成・見直し 作成・見直し 月標末叶(C) 日標末叶(C) 日標末叶(C) 日標末叶(C) 日標末叶(C) 日標末叶(C) 上の 日標末叶(C) 日標末叶(C) 日末叶(C) 日標末叶(C) 日末叶(C) 日標末叶(C) 日標末叶(C) 日標末叶(C) 日標末叶(C) 日標末叶(C) 日標末叶(C) 日末叶(C) 日末叶(C) 日末叶(C) 日末叶(C) 日末叶(C) 日標末叶(C) 日末叶(C)	加点 (E/C) 外的要因 加点 (E/C) 外の要因 が高く (E/C) 外の要因 加点
作成・見直し 日曜末計 (C) 日曜末計 (C) 日曜末計 (C) 日曜末計 (C) 実績累計 (E) 進捗度 (E/C)	度 (E/C)
日標 (B) 日標 (B) 日標 (B) 日標 (B) 東施 実施	度 (D/B) 外的要因 加点 度 (E/C) 度 (D/B) 外的要因 加点
日標 (B) 日標 (B) 日標 (B) 東施 実施	加点 (E/C) (E/C) (D/B) 外的要因 加点
The second part The seco	加点 (E/C) (E/C) (D/B) 外的要因 加点
調査・検討 実施 3点 加点 調査・検討 素素 4位) 達成度 (D/B) 外の要因 実績(D) 達成	度 (E/C) 度 (D/B) 外的要因 加点
1	度 (D/B) 外的要因 加点
目標 (B) 目標 (B) 目標 (B) 目標 (B) 実 績 (D) 達成度 (D/B) 外的要因 (D/B) 外的 (D/B) (D/B) (D/B) (D/B) (D/B)	加点
給水車用常設注水 設備の整備 - 参浄水場 目標案計 (C) 目標案計 (C) 目標案計 (C) 具積累計 (E) 進捗度 (E/C) 	加点
設備の整備	
一 上 上	Z (L/ C)
巨標(B) 目標(B) 目標(B) 実績(D) 達成度(D/B) 外的要因 実績(D) 連続(D/B) 学績(D/B) 学績(D/B) <td></td>	
応急給水の機能強化 調査・検討 調査・検討 調査・検討 調査・検討 調査・検討 調査・検討 実施 3点 加点 日標深計 (C) 目標深計 (C) 日標深計 (C) 日標深計 (C) 日標深計 (C) 目標深計 (C) 目標深計 (C) 目標深計 (C) 実績累計 (E) 進捗度 (E/C)	度(D/B) 外的要因
Change	加点
- - - - - 3点 - - 3点 0点 目標 (B) 目標 (B) 目標 (B) 目標 (B) 実績 (D / B) 実績 (D / B) 外的要因 実績 (D / B)	度(E/C)
目標(B) 目標(B) 目標(B) 目標(B) 実績(D) 達成度(D/B) 外的要因 実績(D) 達成度(D/B) 外的要因 実績(D) 達成度(D/B) 外的要因 実績(D)	ξ (L/ C)
	度(D/B) 外的要因
	加点
	度 (E/C)
上海水山(C) 上海水山(C) 大海水山(C) 大海水山(C) 大海水山(C) 大海水山(C)	(L) ()
評価結果	
一 	度
・	*
た。新型コロナウイルス感染症の影響により、肌臓等について	
は、参会式の訓練は中止となり、WEB形式に変更となりまし ・他事業体との訓練等について、今年度から参会形式による開	
【効率性評価】 た。	
事業・取組の実施が率を評価する。	
SA TANAS CALIFORNIA DE LA CALIFORNIA DE	
評価結果 予算効率 3点 総合評価 予算効率 3点 総合評価 予算効率 総合評価 予算効率 総合評価	総合評価
作業効率 3占 C 作業効率 作業効率 作業効率	
評価の観点・結果	0点/10点
・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。 ・マニュアルの見直しを行い、災害対応力を向上させました。	5/M/2 = 5/M
・局内訓練の実施により、災害時の初動対応について、一連の・局内訓練の実施により、災害時の初動対応について、一連の	
流れを確認することができました。 流れを確認することができました。	
「有効性評価」・他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動・他事業体との訓練により、災害時の連携を確認し救援活動	
事業・取組が目標等を達成するために有効であったが評価する。 の実効性を高めました。 の実効性を高めました。	
事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。 の実効性を高めました。 の実効性を高めました。 ・	
于来	
・民間企業と災害時応援協定を締結し、災害時の協力及び・巻浄水場における給水車常設注水設備の整備について、予	
・民間企業と災害時応援協定を締結し、災害時の協力及び 連携体制を強化しました。 ・巻浄水場における給水車常設注水設備の整備について、予 定通り発注しました。	総合評価
・民間企業と災害時応援協定を締結し、災害時の協力及び・巻浄水場における給水車常設注水設備の整備について、予 連携体制を強化しました。	総合評価
・民間企業と災害時応援協定を締結し、災害時の協力及び 連携体制を強化しました。	総合評価

(4) 2	2次	評価	結果
-------	----	----	----

※ と次計 個和来				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること. なお、各種災			
	害時の対応や復旧体制については、マニュアル類の継続的な 点検・改善や訓練の定期実施等を通して、発生時に有効に			
		機能するように努めること。		

新。ファタープラン車参鞭係等用シー**ト**

					新・マス	、タープラン事業評価 領	曽理シート							
拖 策 V	経営基盤の強化			事業·取組名 V - 1	アセットマネジ	メントによる適正な資産	管理					所管課	計画整備課	
事業概要														
	【事業の目的】	人口減少は	こ伴い給水収益の大幅を	は減少が見込まれる中、オ	K道事業を安定	して持続していくために、	、中長期的な視点に立って	て、施設更新需	要の見通しについて検討	し、着実な更新投資を行	う必要がありま	ं इ.		
			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		・アセットマネジメントの基礎となる必要情報の効率的な整備と、蓄積した情報の効果的な利用を目的として、施設情報等を一元管理できる水道施設台帳の整備について検討します。			○水道施設台帳の整備 ・アセットマネジメントの基礎となる必要情報の効率的な整備 と、蓄積した情報の効果的な利用を目的として、施設情報等 を一元管理できる水道施設台帳の整備について検討します。 ○全局的なアセットマネジメントの推進 ・持続可能な水道事業の実現に向けて、「アセットマネジメント 推進委員会」を設立し、全局的なアセットマネジメントの実践・管理を図ります。									
過程														
	年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【予算・決算額】	予算額 (a)			0			0)		0				
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)			(0)						
	執行率(%) (b) / (a)				_			#DIV/0!			#DIV/0!			
【時間・体制 (人員)】 時間(人員)は どれくらいかけたか	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標	
	総作業量(c) 担当者数	0.40人	0.40人		0.40人	0.40人		0.40人						
	期間(d) 対応期間	1年	1年	100%	1年	1年	100%	1年						
	単位あたり の作業量 (c/d)	0.40人/年	0.40人/年		0.40人/年	0.40人/年	-	0.40人/年						
	対応期間あたり従事職員数	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	
所管課分析評価 結果·効果														
-	令和 2 年度実績		令和3年度	:		令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	マスタープラン後期実施計画では、本構想を踏ま	サルなど、様々なシステムペンダーが構築したシステムのデモン 「ストレーションを受け、有用性や特色などを確認しました。 ・浄配水施設の設備状況について、台帳の電子データ化が概			し、中長期的な視点での更新需要算出について検討しまし									
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下		予定を上回る 101%以上			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 90%オ	

水道施設台帳整備の検討

全局的なアセットマネジメントの推進

平均(A)

平均(A)

100%以下

1点

1点

1点

100%以下

1点

1点

水道施設台帳整備の検討

平均(A)

ョロ%~ 100%以下 90%未満~

90%~ 90%未満~

									新・マスタープラン	事業評価管:	埋シート									
目標設定項目			標			令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度		
(評価指標)			令和5年度				-													
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	1	実 績 (D)	達成度		外的要因	実績(D)	達成度(Ⅰ	· ·	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
施設整備計画の	-	-	-	策定	-	_	-	加点	-	-	_	加点			(- (-)	加点			(- (-)	加点
策定	目標累計(C)		目標累計(C)		実績累計(E)		(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	- (-)	- (-)	-	-	- t (5)	_ \±-\-	(D (D)	11.45-TE	- t (s)	- *-*\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	-	h1 / h	r (+ (c)	\± -4\ r*r	(5 (5)	61.46-TE	中 ((()	\# \	(5 (5)	hi 46-77-77
1.\\\+==n./\.+==h/#	目標(B)	目標(B)	目標(B)		実 績 (D)		(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(日		外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達放度	(D/B)	外的要因
水道施設台帳整備 の検討	実施	実施	実施	実施	水道施設台帳システムの検討	実施	3点	加点	水道施設台帳システムの検討	7 4,50	3点	加点	安徒用=L /c)	\# + I + rd=	(5 (6)	加点	中纬田三 (5)	、 ##F库	(F (C)	加点
の検討	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進抄度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進抄及	(E/C)	
	日無 (D)	日無 (D)	= 目標 (B)		実 績 (D)		(D/B)	外的要因	 実績(D)	達成度(Ⅰ	3点	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	海出帝	(D/B)	外的要因
	日信 (D)	日信(D)	日信 (D)	日伝 (D)	天 根 (D)	建风反	(D/ b)	加点	天 禎 (D)	建风反 (D/ D)	加点	天 禎 (D)	建风反	(D/ B)	加点	天 禎 (D)	建风反	(D/ B)	加点
		口標開計 (6)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	准排度	(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E /C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加州	実績累計(E)	准排序	(E/C)	加州
	日保来il (C)	日保来il (C)	日标来訂(C)	日保来訂 (C)	大根米司 (L)	進沙皮	(L/ C)	0点	大根米司 (L)	進沙皮(L/ C)	-	大根米司(L)	進沙反	(L/ C)	-	大根米司(L)	進抄反	(L/ C)	
	日煙 (B)	日煙 (B)	目標(B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(I	D / B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
	口伝 (D)	口伝 (D)	口(示 (D)	口伝(D)	大 / (D)	廷城及	(0/0)	加点	大 / (D)	连/从/文(1	D/ D)	加点	大 (D)	连风反	(0/0)	加点	大 順 (D)	连风反	(0/0)	加点
	日標累計 (C)	日標製計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	准排度	(E/C)	лит	実績累計(E)	進捗度(F / C)	лит	実績累計(E)	進捗度	(F / C)	лит	実績累計(E)	准排度	(E/C)	лит
	шжен (с)	DIRREI (C)	шижей (С)	<u> </u>	大根赤町 (L)	進沙皮	(L/ C)		大順赤山 (L)	進沙皮(L/ C)	-	大順未可 (L)	進19/反	(L/ C)		大根赤町 (L)	進沙皮	(L/ C)	_
	日煙 (B)	日煙 (B)	目標(B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(Ⅰ	D / B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
	口际 (0)	口派 (0)	口(水 (D)	口(床 (D)	天 //g (D)	(生)从(文	(0) 0)	加点	大 / (C)	<i>连队</i> (文 (1	D/ D/	加点	大 (Q (D)	(生)从(文	(0/ 0)	加点	X 19 (D))上/从/文	(0) 0)	加点
	日標累計 (C)	日標製計 (C)	目標累計(C)	日標要計 (C)	実績累計(E)	准批度	(E/C)	лит	実績累計(E)	進捗度(F/C)	лит	実績累計(E)	進捗度	(F/C)	лит	実績累計(E)	准批度	(E/C)	лит
	шжжи (с)	198 MB1 (C)	шижен (с)	<u> </u>	大阪木町 (1)	足沙汉	(L/ C)		大順末町 (1)	建沙汉 (L/ C/		大惊来的(1)	進19/文	(L/ C)	-	大阪木町 (1)	進197文	(L/ C)	
■評価結果					<u> </u>															
- 11 Imparis	所	管評価				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度		
					・当初予定通りの人員で	水道施設台	帳整備の	食討を進めるこ	アセットマネジメント推進	委員会を設立	ひ、当初	予定通りの人								
					とができました。				員でアセットマネジメントに	係る検討を進	めることが	できました。								
		怪評価]																		
事	業・取組の実	施効率を評	価する。																	
							T								T					
	評	価結果			予算効率	3点		合評価	予算効率	3点		評価	予算効率		総合	合評価	予算効率		総1	合評価
	評価の	観点·結果			作業効率	3点	-1	С	作業効率	3点		C	作業効率				作業効率			
					外的要因加点	0点		/10点	外的要因加点	0点		/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
					・アセットマネジメントの効				・アセットマネジメントによる											
							ンを受け、シ	ノテムの有用	を一元管理できる水道旅											
					性や各社の特色を確認し		ラフボ カ /	/北 川 10 中 7	・アセットマネジメント推進											
		か性評価】			・浄配水施設の設備状況	てに ンいて、1	包士ナータ1	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	直しや、更新需要の算出	はどの課題に	対し至向的	リに取り組み								
事業・取組が目標	票等を達成す	るために有効	かであったか評	価する。	したことを確認しました。				ました。											
	≅an	価結果			海出在	2 -	643	△ :π/π	海武府	2.⊢	441.2	×≡π/π	海出府	1	445.2	⋋≣ ∵ /≖	法代在	1	445.	△ ≣π/≖
	評				達成度	3点		合評価	達成度	3点		合評価	達成度		和於宣	合評価	達成度	-	統領	合評価
	評価の	観点·結果			進捗度 外的要因加点	3点	-1	C /10点	進捗度 外的要因加点	3点		C ⁄10点	進捗度 外的要因加点		^ <i>-</i>	/10点	進捗度 外的要因加点	-	0.=	/10点
					71的 安区 川	UE	いに	/ 10川	沙时安区加点	U点	/川0	10川	71的安内加点		U.A.	√ 10\ \ \	アツ安山川県	1	U只	∕ 10H
+ 2 以計1111和未						6H1+				6#+ +										
						維持				維持										
					幺又	学室 達	\$# ™		%×2	サマギ へ 公司	TV		43	2台家議会公	\$# 17		*	2学宝洋人《	Σ≡π/2	

	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

						新・マ	スタープラン事	栗評価管:	理シート											
施 策 V	経営基盤の強化			事業·取組名	√ V − 2	定員・給与の	適正化											所管課	総	务課
事業概要						Į.														
	【事業の目的】	独立採算	で運営する水道事業に	は、最小のコスト	で最大の効果	見を得るよう努	める必要があり	ます。健全	な運営のため	に求められ	る人的資源の	最適化を常に追求	しつつ、	事業運営	の効率化を持	隹進します。				
			令和3年	度				和4年度				令和5	年度				4	令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	するとともに 化を進めま ○給与の適 ・職員給与	ついては、再任用職員 こ、引き続き業務の見i す。	直しなどを図り、	定員の適正	するとともに 化を進めま ○給与の適 ・職員給与	ついては、再任 、引き続き業務 す。	多の見直した 長事務部局	などを図り、定	員の適正	するとともに 化を進めま [™] ○給与の適ī ・職員給与	ついては、再任用職 、引き続き業務の身 す。	見直しな 野務部局	どを図り、ほ	定員の適正					
過程																				
	年度		令和3年	度			令	和4年度				令和5	年度				<u></u>	令和6年度		
【予算·決算額】	予算額(a)				0					0					0					
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)				0					0										
ינט ולאינו	執行率(%) (b)/(a)				_					-		#DI\	//0!					#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対	目標	目標	令和4年	度	対目	標	目標	令和5年度		対目	目標	目標	令和6年	年度	対I	∃標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	480時間	480時間			480時間	480時	間			480時間									
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (作業従事職員数)	2人	2人	10	00%	2人	2人		1009	%	2人									
	単位あたり の作業量 (c/d)	240時間	240時間			240時間	240時	間			240時間									
	(1人あたりの年間作業時間)	(ア)	(1)	(1	/ア)	(ア)	(1)		(1/	ア)	(ア)	(1)		(1)	/ア)	(ア)	(1))	(1,	⁄ア)
所管課分析評価 結果·効果																				
	令和2年度実績		令和3年	:度			令	和4年度				令和5	年度					令和6年度		
【実施結果・効果】 『業・取組の結果は	定員の適正化 ・再任用職員を含めた定員管理により,適正な人員を配置しました。 ・年度末職員数 341名	ました。	化 員を含めた定員管理に 員数 337名	人員を配置し	した。	化 員を含めた定員: 員数 330名		,人員数確係	呆に努めま											
SK AVIII OUT NO	給与の適正化 ・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施しました。		化 女定を始め,給与全船 宜実施しました。	役について市長部	部局に準じた		化 Z定を始め,給 I実施しました。		のいて市長部原	司に準じた										
			予定を上[101%以		予定を下回る 90%未満~			定を上回る 01%以上		予定を下回る 90%未満~		予定を_ 101%	上凹る	予定どおり 90%〜 100%以下	予定を下回る 90%未満~			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下I 90%未満
		定員の適正	化 2点			定員の適正	化	2点												
		給与の適正	化	1点		給与の適正	化		1点											
															1			_	· ·	1

平均(A)

1.5点

平均(A)

平均(A)

1.5点

									初・マスターノフ										
目標設定項目 (評価指標)	会和3年度		目標 包令和5年度	令和6年度		令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度	
職員数(人)	目標(B)	目標(B)			実 績 (D)	達成度	(B/D)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(B/D)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(B/D)	外的要因	実 績 (D)	達成度(B/D)	外的要因
(再任用短時間職員等	351人以下	351人以	下 351人以7		337人	103.4%	4点	加点	330人	105.9%		加点	,			加点			加点
を含む)	目標累計(C)	目標累計(C) 目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	-	-	-	_		-	4点			-	4点								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
		Dammet (C) 目標累計 (C)	目標累計(C)	安结田計 (5)	*## 薛	(F (C)	加点	中纬田弘 (5)	光作库	(F (C)	加点	宇徳田弘 /広	光井庄庄	(F (C)	加点	中结用計 (こ)	*##· (F (C)	加点
	日標系計 (C)	日標系計(C) 目標系計(C)	目標系計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	日標 (B)	日標 (B)	目標(B)	日標 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	 実 績 (D)	達成度 (D/B)	外的要因
	ши (b)	LW (D)	DIX (B)	- IN (B)	X 192 (D)	ÆIMIQ	(5) 5)	加点	X 192 (D)	ÆIMIX	(5) 5)	加点	X 107	Æ JANG.	(5) 5)	加点	X 192 (D)	是13人(文 ()) ()	加点
	目標累計(C)	目標累計(C) 目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
								- 0点											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因
								加点				加点				加点			加点
	目標累計(C)	目標累計(C) 目標累計 (C)	目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
					(()		(- (-)		- 4- (-)		(- (-)		- (+ (-)		(- (-)		(()	1 to to (-)	
	目標(B)	目標 (B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
					安结用=1 (5)	\#\t+\t+\t+\t+\t+\t+\t+\t+\t+\t+\t+\t+\t+\	(5 (6)	加点	中纬用=1 (5)	\##F#	(F (C)	加点	字结用=↓ /c\	\# Alt rec	(F. (C)	加点	中纬用=1 (5)	*## (F (6)	加点
	目標累計(C)	目標累計(C) 目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進莎度	(E/C)	_	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	_
■評価結果																			
■計画相末	所	管評価				令和3年度	:			令和4年度				令和5年度				令和6年度	
	- ///				・職員定数については、			仟用職員数	職員定数については,			F用職員数		131110 175				13 III O T IX	
事業	【効率 ・取組の実	性評価】 施効率を評	価する。		く実施することができまし	た。 , 経費を伴う	5事業的側i	面を有しないこ	りました。 ・給与改定については、 く実施することができまし (職員定数,給与とも とから,予算執行率を「	た。 5, 経費を伴う	事業的側面	を有しないこ							
	重亚/	而結里			予算効率	3点		合評価	予算効率	3点	1	計平価	予算効率		総合	今評価	予算効率	総	合評価
					作業効率	3点		С	作業効率	3点		С	作業効率		7100	p	作業効率	170	шитш
	評価の	観点·結果			外的要因加点	0点		/10点	外的要因加点	0点	4	- /10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点	0点	/10点
事業・取組が目標	評価結果 評価の観点・結果 【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。			平価する。	・再任用職員を含めた近標職員数である351人うことが出来ました。・給与は市長部局の改直しを行いました。	以下を達成し	, 適正な気	定数管理を行	・再任用職員を含めた道標職員数である351人 標職員数である351人 ・給与は市長部局の改 直しを行いました。	以下を達成し	ました。	·							
	評	西結果			達成度	4点	総総	合評価	達成度	4点	総合	h評価	達成度		総合	今評価	達成度	総	合評価
	評価の	観点・結果			進捗度	4点	=	В	進捗度	4点		В	進捗度				進捗度		
	ртіш				外的要因加点	0点	[8点	/10点	外的要因加点	0点	8点/	/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点	点0	/10点
④ 2 次評価結果																			
						維持				維持									
					紿	Z 営審議会総	於評		糸	圣営審議会総	評		縚	Z営審議会総	評		ń	経営審議会総評	
					引き続き,計画に沿って	事業を推進	すること.		引き続き,計画に沿って	て事業を推進す	すること.								
	評価の観点・結果 2 次評価結果 【方向性】																		

					新・マ	スタープラン事業評価管	理シート						
策 V	経営基盤の強化			事業·取組名 V-3-①		に向けた民間委託の検診 ンビルド)方式の導入(所管課	計画整備課
業概要		市業の役員	A.丰.// + T하시기 - N. 보이스 - V	7 * 45 ± 5 ± 5 ± 5 ± 5 ± 5 ± 5 ± 5 ± 5 ± 5	+++ 137.0¢	#### L + FOOZ + 14 - 45 +	- トロ明 子ざの第3 <i>に</i> 力	u+ 10=1+ \# u	******	U-0.17年55カニチギル	- Haloka a. + -+		
	【事業の目的】	事業の経過	1. 負任を唯保しなから、前	全角的かり効率的にあ各の	きまりーレスのか	E 行印上で凶るにめ、 新ル	こな氏间安託の得入に回	けた快討を進め	、刈未か兄込める耒務	について積極的に委託化	これり組みまり。		
			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】	・経済性と 検討を行い	インビルド)方式の導入 効率化の観点や他都市います。 数去事業DB事業者選定	の状況も含めた調査・	・経済性と 検討を行	インビルド)方式の導入 効率化の観点や他都市の います。 数去事業DB事業者選定	の状況も含めた調査・	・経済性と効 検討を行い	ンビルド)方式の導入 率化の観点や他都市は ます。 去事業(DB方式)】	の状況も含めた調査・			
	「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	令和3~4	年度 放去事業(DB方式)】		令和3~4 【取水施設指	年度 数去事業(DB方式)】 年度(令和4年度:契				滑查·設計業務、工事着			
程													
	年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
予算·決算額】	予算額(a)			С)		45,200,000			199,000,000			
复用はどれくらい かけたか	執行額 (b)			С)		28,250,000						
	執行率(%) (b)/(a)			-			63%			0%		#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) 担当者数	0.60人	0.60人		0.60人	0.60人		0.60人					
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) 対応期間	1年	1年	100%	1年	1年	100%	1年					
	単位あたり の作業量 (c/d)	0.60人/年	0.60人/年		0.60人/年	0.60人/年		0.60人/年					
	対応期間あたり従事職員数	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
新管課分析評価											·		
吉果·効果	令和 2 年度実績		令和3年度	:		令和4年度			令和5年度			令和6年度	
実施結果・効果】 業・取組の結果は	取水施設撤去工事DB方式導入可能性調査業務委託を実施しました。 月潟浄水場、中之口・潟東浄水場、旧巻浄水場の3施設の取水施設撤去工事についてDB方式にて発注することを決定しました。		撤去事業DB事業者選 放去事業DB事業者選定	定支援業務委託	・取水施設排 ◆取水施設 ・月潟他取7 ・河川協議に	撤去事業DB事業者選別 数去事業DB事業者選定	定支援業務委託 定支援業務(履行)		かれる子及			DIECTO	

予定どおり 90%~

1点

0.5点

ョロ%~ 100%以下 90%未満~

予定を下回る

0点

平均(A)

予定を上回る

101%以上

n/kiiii/版去事業DB事業者道定支援業務委託

取水施設撤去事業(DB方式)

平均(A)

予定どおり 90%~

100%以下

1点

1.0点

予定を上回る

101%以上

x水施設撤去事業DB事業者選定支援業務委託

平均(A)

予定を下回る

90%未満~

予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~

予定を下回る

平均(A)

予定を上回る

101%以上

予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~

予定を上回る

101%以上

									新・マスターフラ	ノ争来評価官:	埋シート									
目標設定項目		目標				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度		
(評価指標)	令和3年度 令和4							T			1					1				1
DB方式実施に	目標(B)目標	. ,			実績(D)		(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(日		外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
向けた事業者選定	実施 実施 実施 実施 目標累計 (C) 目標累計		— 蒸計 (C)	- 目標累計 (C)	実施 実績累計(E)	実施	3点	加点	実施実施実績累計(E)	実施	3点	加点	実績累計(E)	進捗度	(5 (6)	加点	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	加点
支援業務	日標系計 (C) 目標系記		KET (C)	目標系計(C)	夫棋糸訓(E)	進抄及	(E/C)	0点	夫賴糸司(E)	進捗度(日	3点	0点	夫楨糸il(E)	進抄及	(E/C)	-	夫楨糸il(E)	進抄及	(E/C)	-
	目標(B)目標				実 績 (D)		(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(日	-7111	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
DB方式による	- 実	. ,	実施	実施	大順(0)	上	(0/0)	加点	実施	実施	3点	加点	大順(0)	连风反	(0/0)	加点	大 順 (D)	连风反	(0/0)	加点
取水施設撤去事業	7 (,	1,70	目標累計(C)	実績累計(E)		(E/C)		実績累計(E)	進捗度(日			実績累計(E)	進捗度	(F/C)	лим	実績累計(E)	進捗度	(F/C)	лим
3 214			_	_	-	_	(2) 0)	0点	-	-	3点	0点	201962NB1 (E)	X=17/X	(2) 0)		>(1942)(B) (E)	~=>/_		
	目標(B)目標	(B) 目標	€ (B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度([外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
					-			加点			-	加点	· ·			加点				加点
	目標累計(C)目標累記	十(C) 目標累	双計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0占	実績累計(E)	進捗度(I	E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
								ᄱ												
	目標(B)目標	(B) 目標	€ (B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度([D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点				加点				加点				加点
	目標累計(C)目標累記	ト(C) 目標累	梨計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(I	E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
		(-)	- (=\	(-)	÷ (+ (-)	\+ I\-	(= (=)		÷ (+ (-)) + D = (-	- (-)		÷ (+ (-)	\+ I\-	(= (=)		÷ (+ (-)	\	(= (=)	
	目標(B)目標	(B) 目標	€ (B)	目標 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(日	D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
		(a) Dimm	Bal (a)	DIESEL (0)	実績累計(E)	光华庄	(E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度()	F (C)	加点	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	加点	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	加点
	目標累計(C)目標累記	F(C) 目標系	Kat (C)	目標系計 (C)	夫賴糸訓(E)	進抄及	(E/C)		夫禎糸計(C)	進抄長 (E/ ()		夫楨糸訓(E)	進抄及	(E/C)	-	夫楨糸il(E)	進抄及	(E/C)	-
■評価結果																				
	所管評価					令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度		
事:	【効率性評値 業・取組の実施効率		'o		・取水施設撤去事業DE 発注し、着手Uました。 ・月潟浄水場、中之口・ の取水施設撤去工事に 実施方針や要求水準書	潟東浄水場 ついて、DB7	。 旧巻浄水 5式での発泡	、場の3施設 主に向けて、	・取水施設撤去事業D 進め、履行しました。 ・月潟浄水場、中之口の取水施設撤去工事を ました。	潟東浄水場、	旧巻浄水場	易の3施設								
	評価結果				予算効率	3点	総合	今評価	予算効率	3点	総合	評価	予算効率		総合	許価	予算効率		総合	許価
	F1,1				作業効率	3点		С	作業効率	2点		2	作業効率		.,,,,,,		作業効率		.,,,,,	
	評価の観点・輸	課			外的要因加点	0点	6点	/10点	外的要因加点	0点	5点/	′10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
評価の観点・結果 【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。				西する。	・事業を実施するため、さ 手法の検討を進めていく ・今年度契約した取水が 務について、来年度以降 ンビルド)方式による事業	必要がありま 可設撤去事業 も計画通り	す。	遥定支援業	し、計画通りにDB方式	で取水施設撤 施設撤去工事(了させ、同10月	去工事を発	注することが 和5年10								
	評価結果				達成度	3点	総合	今評価	達成度	3点	総合	評価	達成度		総合	計評価	達成度		総合	計評価
	評価の観点・総	±⊞			進捗度	3点		С	進捗度	3点	C	2	進捗度				進捗度			
	5千1叫い配品・**	□** 			外的要因加点	点0	6点	/10点	外的要因加点	0点	6点/	′10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点.	/10点
④ 2 次評価結果																				
						維持				維持										1

審議会総評
- 11

					新・マ	スタープラン事業評価管	理シート						
施 策 V	経営基盤の強化			事業·取組名 V-3-②		に向けた民間委託の検診 事検査業務の委託化に						所管課	管路課
少事耒悩安	【事業の目的】	事業の経	営責任を確保しながら、	経済的かつ効率的にお客	さまサービスの	維持向上を図るため、新	たな民間委託の導入に向	けた検討を進	め、効果が見込める業務	について積極的に委託化	に取り組みまる	<u>-</u> す。	
			令和3年度 工事検査業務の委託化	に係る調査・検討		令和4年度 工事検査業務の委託化	に係る調査・検討		令和5年度 工事検査業務の委託化			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	状況等のを 体制など、	江工事検査業務について、	技術の継承方法、執行 るなどし、委託化による	状況等の 体制など、	置工事検査業務について、 余証を実施するとともに、 非 他都市の事例を調査する 無について検討を行います	支術の継承方法、執行 らなどし、委託化による	状況等のを 体制など、	工事検査業務について、 能証を実施するとともに、対 也都市の事例を調査する 既について検討を行います。	ががの継承方法、執行 などし、委託化による			
過程	T												
	年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
【予算・決算額】	予算額 (a)			0			0			0			
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)			0			0						
יאייניי	執行率(%) (b)/(a)			_			-		#DIV/0!			#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	0.13人	0.026人		0.026人	0.023人/年		0.01人					
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	1年	1年	20%	1年	1	88.5%	1年					
	単位あたり の作業量 (c/d)	0.13人	0.026人/年		0.026人	0.023人/年		0.01人					
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(ব)	(イ/ア)
所管課分析評価結果・効果													
	令和2年度実績		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
【字板红用 林田】	なし(令和3年度からの新規事業)		13回開催したほか、他者 検討しました。	R市調査などそれ以外の		化に関する提案を行い、 見を聞いて検討を進めまし							
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は													

予定どおり 90%〜 100%以下

1点

1点

予定を下回る

90%未満~

平均 (A)

予定を上回る

101%以上

予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~

予定を下回る

平均(A)

予定を上回る 101%以上

予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~

予定を上回る 101%以上

予定どおり 90%〜 100%以下

1点

1点

予定を下回る

90%未満~

調査·検討

平均(A)

予定を上回る 101%以上

調査·検討

						新・マスタープラ	ン事業評価管理シー	1							
目標設定項目 (評価指標)	目標	- △和c/⊤亩		令和3年度			令和4年度		令	和5年度			令和6年度		
	日標(B) 目標(B) 目標(B)		実績(D)	達成度((D/B) 外的要	因 実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
給水装置工事検査 業務の委託化に係る	調査·検討 調査·検討 調査·検討		調査·検討	実施	3点 加点	調査·検討	実施 3点				加点				加点
調査·検討	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	() =	実績累計(E)	進捗度(E/C)	()占	実績累計(E)	進捗度(E/C		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
				達成度(3点 200		- 3点 達成度 (D/B)		宝 结 (5)	· 法出席 (D /D	NAMED	実績(D)	達成度	(D (D)	N Marie
	目標(B)目標(B)目標(B)	日標 (B)	夫 稹 (D)	建	(D/B) 外的要 加点	A	運成長 (D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B	外的要因 加点	夫 楨(D)	建	(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度((F/C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	лит
			20,000,000		0点	2 (3)(114)			24,201421 (2)) (DO)	723732		
	目標(B)目標(B)目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度((D/B) 外的要	因 実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
					加点			加点			加点				加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度((E/C) 0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)目標(B)目標(B)	口捶 (D)	実 績 (D)	達成度((D/B) 外的要	因実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B	外的要因	実績(D)	達成度	(D /B)	外的要因
	日倧 (D) 日倧 (D) 日倧 (D)	日伝 (D)	大 (D)	建以反	加点	A 大 (((())	建成反 (0/ 6)	加点	大 (L)	建/队员 (D/ D	加点	大 (L)	建冰皮	(0/6)	加点
	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	24711
			-												
	目標(B)目標(B)目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度((D/B) 外的要	因 実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度 (D/B	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
					加点			加点			加点				加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度((E/C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
 ■評価結果															
	所管評価			令和3年度			令和4年度		令	和5年度		<u> </u>	令和6年度		
	所管評価 【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。		・他都市の状況把握等 ・作業人員について 調査・検討に取り組む 当を割り振りして責任を 可能となり、結果的に作	により検討を進 段階でWGを 持たせることで	立ち上げ、項目毎に 少ない時間での検討			こ検討を進めるこ	令	和5年度			令和6年度		
	【効率性評価】		・作業人員について 調査・検討に取り組む 当を割り振りして責任を	により検討を進 段階でWGを 持たせることで	立ち上げ、項目毎に 少ない時間での検討	とができました。 旦	ることにより、効率的	こ検討を進めるこ	予算効率		総合評価	予算効率	令和6年度		合評価
	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。 評価結果		・作業人員について 調査・検討に取り組む 当を割り振りして責任を 可能となり、結果的に作 予算効率 作業効率	により検討を進 段階でWGを 持たせることで 業効率は目標 3点 4点	立ち上げ、項目毎に 少ない時間での検討 票を上回りました。 総合評価 B	とができました。	ることにより、効率的 3点 4点	総合評価 B	予算効率 作業効率			作業効率	令和6年度	総名	.,,
	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。		・作業人員について 調査・検討に取り組む 当を割り振りして責任を 可能となり、結果的に作 予算効率 作業効率 外的要因加点	Cより検討を進 段階でWGを 持たせることで 業効率は目標 3点 4点 0点	立ち上げ、項目毎に 少ない時間での検討 薬を上回りました。 総合評価 B 7点/10点	とができました。 予算効率 作業効率 外的要因加点	3点 4点 0点 7	総合評価 B 点/10点	予算効率		総合評価		令和6年度	総名	合評価 /10点
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。 評価結果	価する。	・作業人員について 調査・検討に取り組む 当を割り振りして責任を 可能となり、結果的に作 予算効率 作業効率	により検討を進 段階でWGを 持たせることで 業効率は目標 3点 4点 0点 5における業務 で調査・検討	立ち上げ、項目毎に 少ない時間での検討 票を上回りました。 総合評価 B 7点/10点 執行体制」「委託化 しました。	とができました。 予算効率 作業効率 外的要因加点	3点 4点 0点 7	総合評価 B 点/10点	予算効率 作業効率			作業効率	令和6年度	総名	.,,
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。 評価結果 評価の観点・結果 【有効性評価】	価する。	・作業人員について 調査・検討に取り組む 当を割り振りして責任を 可能となり、結果的に作 予算効率 作業効率 外的要因加点 ・「業務の現況」「取令市 係る比較評価」等につい ・今後も調査を重ね、検	により検討を進 段階でWGを 持たせることで 業効率は目根 3点 4点 0点 5における業務 で調査・検討 対をより深化な	立ち上げ、項目毎に 少ない時間での検討 悪を上回りました。 総合評価 B 7点/10点 執行体制「委託化 しました。	とができました。 予算効率 作業効率 作業効率 外的要因加点 ・実施時期の検討を進み 策の整理を進めました。	3点 4点 0点 7 かたほか、実現のための 3点	総合評価 B 点/10点 課題及び解決 総合評価	予算効率 作業効率 外的要因加点 達成度			作業効率 外的要因加点	令和6年度	総合 0点.	.,,
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。 評価結果 評価の観点・結果 【有効性評価】 票等を達成するために有効であったか評	価する。	・作業人員について 調査・検討に取り組む 当を割り振りして責任を 可能となり、結果的に作 予算効率 作業効率 外的要因加点 ・「業務の現況」「取令市 係る比較評価」等につい ・今後も調査を重ね、検	により検討を進 段階でWGを 持たせることで 業効率は目標 3点 4点 0点 5における・検討 で、調査・検討 で、調査・検討	立ち上げ、項目毎に 少ない時間での検討 悪を上回りました。 総合評価 B 7点/10点 執行体制「委託化 しました。	とができました。 予算効率 作業効率 作業効率 外的要因加点 ・実施時期の検討を進る 策の整理を進めました。	3点 4点 0点 7 かたほか、実現のための 3点 3点 3点 3点	総合評価 B 点/10点 課題及び解決	予算効率 作業効率 外的要因加点		点/10点	作業効率 外的要因加点	令和6年度	総合 0点。	/10点

4) 2	次評	価結	果
--------------	----	----	---

維持	維持		
経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評 経営審議会総評

施 策 V	経営基盤の強化			事業·取組名 V-3-3		に向けた民間委託の								所管課	~	業課
事業概要	に口を囲ったし			7× 4/1111 V 3 (料金関連業	務の委託化に係る調	査・検討	t						//I Б Б	-	***
事 耒做安		事業の経営責任を	確保しながら、糸	経済的かつ効率的におる と済めかつ効率的におる	₹様サービスの絈	持向上を図るため、乳	新たな民	間委託の導入に向け	た検討を進め	効果が見込める業務に	こついて積極	的に委託化に	取り組みます。			
	【事業の目的】															
			令和3年度			令和4年	F度			令和5年度				令和6年度		
				再検針対象外の認定		業務(名義変更処		針対象外の認定、	なし							
		更正処理)の委託でいるで		検討 の見直し・整理を行うと		の委託化に係る調査 Eによって複雑化した第		直し・整理を行うと								
	【取組内容と計画】			委託化による効果の有意		市事例を調査するな										
	「事業・取組み」の	について検討。			について検	討。										
	内容と計画 (予定)															
過程																
	年度		令和3年度			令和4年	F度			令和5年度				令和6年度		
【予算·決算額】	予算額 (a)				0			0				0				
費用はどれくらい	執行額 (b)				0			0								
かけたか	執行率(%) (b) / (a)				_			_		#DIV/0!				#DIV/0!		
	年度	目標	和3年度	対目標	目標	令和4年度		対目標	目標	令和5年度	対	目標	目標	令和6年度	対	 目標
•	総作業量(c)															
【時間·体制 (人員)】	(実働時間)	146時間 1	46時間		88時間	88時間										
時間(人員)は	期間 (d)															
どれくらいかけたか	(従事期間)	6月	6月	100%	6月	6月		100%								
-	単位あたり															
	の作業量 (c / d)	24.3時間 2	4.3時間		14.6時間	14.6時間										
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)		(イ/ア)	(ア)	(1)	(1.	/ア)	(ア)	(1)	(1.	/ア)
所管課分析評価																
結果·効果					_		_									
	令和2年度実績	エデルルーケフを中本	令和3年度		エマルルケ	令和4年	F度			令和5年度				令和6年度		
		委託化に係る調査・オ ・現行業務フローを確		点を洗い出し、委託化		る調査・検討 度に洗い出した課題を	検討し、	委託化の効果を整								
		係るメリット、デメリット		こ、今後解決すべき課題		また、委託の発注体										
実施結果・効果】		を洗い出した。			た。											
葉・取組の結果は																
			予定を上回る			予定を上	ല െ	定どおり 予定を下回る		予定を上回る	予定どおり 90%~	予定を下回る		予定を上回る	予定どおり 90%~	予定を下回
			101%以上	100%以下 90%未満	~	101%以		0%~ 0%以下 90%未満~		101%以上	100%以下	90%未満~		101%以上	100%以下	90%未満
		委託化に係る調査・検	討	1点	委託化に係る	5調査·検討		1点								
				1							1	1			1	1

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

1点

									初「マハメーノフェ	/ 争未計価官理ン	1.								
目標設定項目			標	ı		令和3年度	:			令和4年度			令和5年度	:			令和6年度	Ē.	
(評価指標)		令和4年度						,							,				
料金関連業務(名義変		目標 (B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度		外的要因	実 績 (D)	達成度(D/I	,	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
更処理、再検針対象外 の認定、更正処理) の委		調査·検討	-	-	調査・検討	実施	3点	加点	調査・検討		点加点	D4: H-1 (F)	\44.11E ct	(5 (0)	加点	D4: H=1 (F)	\44.11E.07	(5 (0)	加点
い 記述、 史正処理) い 妥 武化に係る調査・検討。	目標案計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E) _	進捗度		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C	点 0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進莎度	(E/C)	
	— 目標 (B)	- 目標 (B)	- 目標 (B)			- 连凸度	3点 (D/B)	外的要因		- 3 達成度 (D/I	,,,,	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実績(D)	海出舟	(D/B)	外的要因
	日信(B)	日信 (B)	日信 (B)	日信(B)	天 禎 (D)	建风反	(D/ b)	加点	天 禎 (D)	建成反 (D/ I	加点	天 禎 (D)	连风反	(D/ B)		天 禎 (D)	建风反	(D/ b)	
	目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(F / C)		実績累計(E)	進捗度(E/C		実績累計(E)	進捗度	(F / C)	лит	実績累計(E)	准批度	(E/C)	жим
	HIJORDI (O)	LINGS (C)	Endoren (e)	LIBORDI (O)	大順末日 (L)	足沙汉	(L/ C)	0点	大順系計 (1)	進沙及 (上/ (-/	大惊来的(1)	延沙汉	(L/ C)		大順末町 (E)	進191文	(L) ()	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/I	3) 外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
				,	,			加点	,		加点				加点	,			加点
	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C	C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
								0点											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/I	3) 外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C	C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/I		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
					実績累計(E)	進捗度	(5 (6)	加点	実績累計(E)	Y# JE / / / / /	加点	実績累計(E)	*# 非庆庆	(5 (6)	加点	実績累計(E)	*# 非時	(5 (6)	加点
	目標系計(C)	目標累計(C)	目標系計 (C)	目標系計 (C)	夫賴糸訓(E)	進抄及	(E/C)	-	夫賴糸訓(E)	進捗度(E/0	-)	夫禎糸訓(E)	進捗度	(E/C)	-	夫楨糸訓(E)	進抄及	(E/C)	_
■評価結果																			
一叶顺州木	所	管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度	:			令和6年度		
事	【効率 業・取組の実	単性評価】 施効率を評値	西する。		と解決方法の検討を行っ				解決方法の検討を行い										
	#W	価結果			予算効率	3点	44X-C)評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率		943	今評価	予算効率		842	今評価
					作業効率	3点		С	作業効率	3点	TO DETIM	作業効率		市の日	⊐ ē†1Щ	作業効率		TiCA I	⊐ ē†1W
	評価の	観点·結果			外的要因加点	0点	4	~ /10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点	/10点	外的要因加点		0点	/10点
事業・取組が目権		か性評価】 「るために有効	であったか評	価する。	・委託化に向けた問題点に向けて引き続き検討し		たったことから、	今後は解決	・委託化に向けた問題点	(について、解決方)	まを整理しました。								
	評	価結果			達成度	3点	総合	合評価	達成度	3点	総合評価	達成度		総合	合評価	達成度		総	合評価
	証価の	観点·結果			進捗度	3点	4	С	進捗度	3点	С	進捗度				進捗度			
	ат іш О	心杰 和木			外的要因加点	0点	6点/	/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点.	/10点	外的要因加点		0点	/10点
④ 2 次評価結果						6H1+				6#± +		1							
						維持				維持									
						営審議会総				E営審議会総評		糸	Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y	空		¥	Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y	於評	
	<mark>引き続き,計</mark> 证					事業を推進	すること.		引き続き,計画に沿って	事業を推進すること									

【方向性】

施策V	経営基盤の強化			事業・取組名 V - 4	遊休資産の	有効活用						所管課	経営管理課
①事業概要													
	【事業の目的】	施設統廃	合計画により廃止となった	こ浄配水場等の遊休資産	を有効活用で	することにより、財政基盤の	D強化を図ります。						
			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)		活用に向けた情報収集) の有効活用について、情 う。			活用に向けた情報収集》 の有効活用について、情 う。			活用に向けた情報収集) の有効活用について、情 う。				
②過程													
S ALTE	年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
【予算・決算額】	予算額(a)			0			0			0			
費用はどれくらい	執行額 (b)			0			0						
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			_			_		#DIV/0!			#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	18.1時間	18.1時間		18時間	18時間		18時間					
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事職員数)	1人	1人	100%	1人	1人	100%	1人					
	単位あたり の作業量 (c/d)	18.1時間	18.1時間		18時間	18時間		18時間					
	(1人あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)
③所管課分析評価													

■結果·効果

	令和2年度実績		令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度	
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	せんでしたが、活用に向け調査を行いました。	・市環境部と協力し、旧 所有地を活用したオフサイ 実施検討に着手しました。 ・亀田浄水場用地の一部 一部を、冬期間、道路除	イトPPAモ: 。 『及び新たに	デルによる太 旧長戸呂浄	陽光発電の 水場用地の	電の実施に向けた検討を 及び旧西川浄水場を選 ・亀田浄水場用地の一部	進め、候補地 定しました。 『及び旧長戸	として旧長 三とかる。 「日本のでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	戸呂浄水場 月地の一部							
		施設有効活用に向けた情報 収集活動や調査・研究	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 1点		施設有効活用に向けた情報 収集活動や調査・研究 平均 (A)	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 1点	予定を下回る 90%未満~	平均 (A)	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る90%未満~	平均 (A)	予定を上回る 101%以上	を下回る ※未満~

								新・マスタープラン	/事業評価管理シ									
目標設定項目		標			令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度	Ē.	
(評価指標)	令和3年度 令和4年度								1-14 - 1 2-4					T				1
	目標(B)目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	,	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/I	,	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
有効活用の	調査·研究調査·研究			調査·研究	実施	3点	加点	調査·研究		点加点				加点				加点
調査·研究	目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度		0点	実績累計(E)	進捗度(E/C	()占	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
		-	-	-	-	3点	-7.11		- 3	点			<u> </u>					
	目標(B)目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B) 5	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/E		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
							加点			加点				加点			1	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度(E/C	()	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)目標(B)	口抽 (D)	口抽 (D)	実績(D)	**	(D/B) 5	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/E	3) 外的要因	実績(D)	達成度	(D (D)	外的要因	実績(D)	'去什许	(D/B)	外的要因
	日信(B)日信(B)	日信(B)	日信(B)	夫 楨(D)	建	(D/B) 9	加点	夫 禎 (D)	運成及 (D/I	加点	夫 禎(D)	連成局	(D/B)	加点	夫 楨(D)	连风层	(D/B)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	日極衛計(C)	日煙男計(C)	実績累計(E)	進捗度	(F /C)	加無	実績累計(E)	進捗度(E/C		実績累計(E)	准排度	(E/C)	加無	実績累計(E)	准排度	(E/C)	жик
	District (C) District (C)	Distriction (C)	Distriction (C)	大根赤町 (L)	進沙皮	(L/ C)	-	大順系可 (L)	進沙及 (L/ (.,	大順系引(L)	進沙皮	(L/ C)		大順未可 (L)	進19/支	(L/ C)	
	目標(B)目標(B)	日標 (B)	月標 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B) 5	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/E	3) 外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
		LIN (5)	LIK (5)	24 424 127	72.74.2	,	加点	24 .52 (-)	72.77.2	加点	24 32 (2)	72.7772	(= / = /	加点	24 124 127	72.770.2	(= / = /	加点
	目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C	2)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
										-								
	目標(B)目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度	(D/B) 5	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/I	3) 外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
							加点			加点				加点				加点
	目標累計 (C) 目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C	2)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果																		
	所管評価			・予算効率は事業の性質	令和3年度			予算効率は事業の性質	令和4年度			令和5年度				令和6年度	ŧ	
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評(西する。		でした。				でした。										
	評価結果			予算効率	3点	総合評	科冊	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合	今評価	予算効率		総	合評価
				作業効率	3点			作業効率	3点	С	作業効率		1101	p	作業効率		1701	P
	評価の観点・結果			外的要因加点	0点	4	.0点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点,	/10点	外的要因加点		0点	/10点
事業・取組が目札	【有効性評価】 標等を達成するために有効	かであったか評	価する。	・市環境部と協力し,旧 所有地を活用したオフサ・ 実施検討に着手しました	1 P P A Ŧ		光発電の	・市環境部と協力し,オ電の実施に向けた検討を 電の実施に向けた検討を 及び旧西川浄水場を選	進め、候補地として									
	評価結果		達成度	3点	総合評	区価	達成度	3点	総合評価	達成度		\$43.4	今評価	達成度		877-	今評価	
				進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進	3点			進捗度	3点	C	進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進		布心口	コロブ川川	進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進 進		形态	
	評価の観点・結果			外的要因加点	0点	4				6点/10点	外的要因加点		0点	/10点	外的要因加点		0点	/10点
④ 2 次評価結果					- OAR	-,			3/11			-	- ////			1	-200	
					維持				維持									
				<u> </u>	営審議会総	: []		\$5	営審議会総評		£	経営審議会総	·····································		<u> </u>	圣営審議会総	絵 評	
				71	. 山田成本州	*B I					71	エロ田成石や	υρ I		4	ェロ田成石小	I que	

④ 2 次評価档果	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

					新・マス	スタープラン事業評価領	き理シート						
	経営基盤の強化			事業·取組名 V - 5	時代に即した	料金制度等の検討・実	施					所管課	経営管理課
事業概要	【事業の目的】	水需要や原	財政収支の状況を踏まえ	え、将来にわたり安全な水	の安定供給の	持続が可能となるよう、	維持管理・更新の時代に関	Pした料金制度	きの検討を行います。				
			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	必要性、時 ・中長期的 時期、水準 ・(公社) 料金シミュレ	の調査・研究, 見直しま	料金改定の必要性や 這し案の検討を行う。 料金算定要領」に基づく	必要性、時 ・中長期的 時期、水準 ・(公社) 料金シミュレ	の調査・研究, 見直しま ・期、水準の検討 な収支見直しを立て、料 ・等について検討し、見正 日本水道協会の「水道 ハーションの実施。 金制度の見直し案の検討	斗金改定の必要性や 這し案の検討を行う。 料金算定要領」に基づく	必要性、時・中長期的は時期、水準・(公社) 料金シミュレ	の調査・研究, 見直し案 期、水準の検討 な収支見直しを立て、料 等について検討し、見直 日本、道協会の「水道料 ーションの実施。 会制度の見直し案の検討	金改定の必要性や し案の検討を行う。 斗金算定要領」に基づく			
程													
	年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
予算·決算額】	予算額 (a)			0			0			0			
費用はどれくらい	執行額 (b)			0			0						
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			-			-		#DIV/0!			#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	80.6時間	80時間		80時間	80時間		80時間					
時間(人員)は どれくらいかけたか	期間 (d) (従事職員数)	2人	2人	100%	2人	2人	100%	2人					
	単位あたり の作業量 (c/d)	40.3時間	40時間		40時間	40時間		40時間					
	(1人あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
听管課分析評価 結果·効果													
	令和2年度実績		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
	・政令市と県内市町村の料金改定状況を調査 し、口径別料金比較供給単価比較(政令市) を行いました。 ・後期実施計画策定にあたり、令和6年度までの 資金確保を確認しました。	金比較供給 ・現状の水道	単価比較(政令市)を 料金の課題に関して「親		金比較供給	単価比較(政令市)を							

予定どおり 90%~

100%以下

1点

1点

1点

予定を上回る

101%以上

予定を下回る

90%未満~

平均(A)

予定を上回る

101%以上

予定を下回る

平均(A)

ョロ%~ 100%以下 90%未満~ 90%~

予定を下回る

90%未満~

料金体系の調査・研究、

見直し案の検討 料金改定の必要性、時期、 水準の検討

平均(A)

90%~

100%以下

1点

1点

1点

予定を上回る

101%以上

料金体系の調査・研究、

水準の検討

見直し案の検討 料金改定の必要性、時期、

平均(A)

予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回る 90%未満~

予定を上回る

101%以上

目標設定項目		E	標			令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度		
(評価指標)		令和4年度						T						Taran				
		目標(B)			実績(D)	達成度		外的要因	実績(D)	達成度(D/E		実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
料金制度見直し案の 調査・研究		調査・研究 ^{目標累計(C)}			調査・研究 実績累計(E)	実施進捗度	3点	加点	調査·研究 実績累計(E)	実施 3. 進捗度 (E/C		実績累計(E)	進捗度(E/C)	加点	実績累計(E)	進捗度(E (C)	加点
响且"训儿	日保来訂(C)	日信来訂(C)	日标来ii (C)	日標来計(C)	天積糸訂(C)	進抄反	3点	0点	天祖糸司(口)	<u> </u>	() 🗀	天祖糸司(口)	進抄及 (E/ C)	_	天祖糸司 (こ)	進抄反(.E/ C)	-
	日煙 (B)	目標(B)	日煙 (B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度		外的要因	実 績 (D)	達成度(D/E		実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因
	LIV (D)	DIX (D)	LIN (D)	LIK (D)) (IX (D)	200	(5) 5)	加点)(1)x (D)	22,30,2 (2)	加点) (IX (D)	X1301X (3) 3)	加点) (A) (B)	22/3/2	<i>D, D,</i>	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C	2)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/E	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因
								加点			加点			加点				加点
	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C	2)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
					(()		(- (-)		- (+ (-)			(- (-)	1 to 1 to 1 to 1		()	1 to 11 to 1		
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/E	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因
		Cimmal (a)	Dimmel (e)	Dimmel (a)	中纬用引 (5)	光井中	(5 (6)	加点	中纬用引 (5))##F度 /E / (加点	中4: 田=1 (F)	/##F座 (E (G)	加点	中纬用=1 (5)	`##E## /	T (C)	加点
	目標系計(C)	目標累計(C)	目標系計 (C)	目標系計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C	.)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/ C)	
	日煙 (B)	目標(B)	日煙 (B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/E	3) 外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D /B)	外的要因
	口(示 (D)	口伝(D)	口(示 (D)	口(示 (D)	大 (E)	建成皮	(0/0)	加点	大 /ig (D)	连成皮 (D/ L	加点	天 順 (D)	建风及 (D/ D)	加点	大 順 (D)	连规技(D/ D)	加点
	目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(F/C)	<i>Д</i> нл.к	実績累計(E)	進捗度(E/C		実績累計(E)	進捗度(E/C)	Энли	実績累計(E)	進捗度(E/C)	Энли
					JUNEAU (E)	~=>/*	(2) 0)		20122NBT (2)		.,	201962NB1 (2)	237/2 (27 0)		JOHN (E)	Z. Z. Z. Z.	, 0,	
■評価結果						1		1					1					
	所'	管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度		
					・他政令市と県内市町村	付の料金改定	状況等を調	査し、比較	・他政令市と県内市町村	付の料金改定状況	等を調査し、比較							
					検証を行いました。				検証を行いました。									
					予算効率は事業の性質	質上、予算計	上及び執行	はありません		質上、予算計上及び	ダ熱行はありません							
	【効率	図性評価】			でした。				でした。									
事	業・取組の実	施効率を評値	西する。															
	100	価結果			予算効率	3点	\$42.4	許価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	844	 合評価			₩	許価
	pT1				作業効率	3点		С	作業効率	3点	ホルロ 計刊 M	作業効率	市心	□ iT1W	作業効率		帯心□	16十1Щ
	評価の	観点·結果			外的要因加点	0点	-	~ 10点	外的要因加点		6点/10点	外的要因加点	0占	/10点	外的要因加点		0占。	/10点
					・時代に即した料金制度							71切安因加黑	UM	/ 10無	アルリ安区加州		U.M./	10:::
					し、レポートを作成しまし		のため、全場	· PATCAX	いました。		この日・大のでリ							
							売可能な経営	営を構築する	・重要な事業取組である	ことから、持続可能	な経営を構築する							
	「右☆	か生評価】			ことを目的に、社会情勢													
事業・取組が目標			であったか評	価する.	続き調査研究を行います				続き調査研究を行います									
F-X 40/11/101	ATT CALIN)	DICONC 1379	1 (0) 5/6/3 []	шубо														
	評	価結果			達成度	3点	総合	評価	達成度	3点	総合評価	達成度	総	合評価	達成度		総合	評価
	ず価の	観点·結果			進捗度	3点		С	進捗度	3点	С	進捗度			進捗度			
	iTIЩU	此無:和末			外的要因加点	0点	6点/	/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点	0点	/10点	外的要因加点		0点/	/10点
④2次評価結果																		
						維持				維持								
					\$3	E営審議会総	建平		25	営審議会総評		£	Y		ź	経営審議会総	亚	
											++++ = 	平	10 田娥女心计		л	11中俄云祁;	11	
					引き続き, 計画に沿って	. 事業を推進	9 ること.		物価上昇など昨今の社会			I						
									沿って事業を推進するこ 間の公平性や本市水道									
	ſ <i>†</i>	5向性】									尹耒継続に刈し(
	D.	1-311-1							十分配慮することが望ま	JU1.		I						
												I						
												I						
												I						

					- Ayı - \	ヘノ ノフンデ末町皿	B-2-2 1							
施策V	経営基盤の強化			事業・取組名 V-6	水道事業紹	経営審議会の効果的運用	#					所管課	経営領	管理課
事業概要				<u> </u>								"		
	【事業の目的】	水道事業	経営審議会を継続し、	与識者や水道利用者な。	どの第三者の意	意見や助言を事業運営に	ご効果的に反映させます。							
			令和3年度			令和4年原	ŧ		令和5年度			令和6年度		
		·水道事業	経営審議会の継続運営 決算及び次年度予算、 の意見、提言、助言を	事業の進捗状況や評価	・水道事業	経営審議会の継続運営 美決算及び次年度予算 ての意見、提言、助言を	、事業の進捗状況や評価	•水道事業	経営審議会の継続運営 送決算及び次年度予算、 ての意見、提言、助言を事	事業の進捗状況や評価				
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)		道料金制度等の検討・音			道料金制度等の検討・			道料金制度等の検討・藿					
過程														
	年度		令和3年度			令和4年	ŧ		令和5年度			令和6年度		
【予算・決算額】	予算額 (a)			436,00	0		390,000							
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)			420,20	0		366,954							
יניבולייני	執行率(%) (b)/(a)			96.49	6		94.1%		#DIV/0!			#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対F	目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	60.5時間	60.5時間		60時間	60時間		60時間						
時間 (人員) は どれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	2人	2人	100%	2人	2人	100%	2人						
	単位あたり の作業量 (c/d)	30.2時間	30.2時間		30時間	30時間		30時間						
	(1人あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(1,	⁄ア)
所管課分析評価				l										
結果·効果					_									
	令和 2 年度実績	1.)**=**/	令和3年度		1.\ \\ = \\	令和4年月			令和5年度			令和6年度		
【実施結果・効果】	・水道事業経営審議会を3回開催しました。 ・会議の議事録は資料と合わせ、局ホームページ に掲載しました。	言・助言をいせ、局ホーム ・令和3年1	経営審議会を (3 回/ 4 かんだきました。審議会の記 ページに掲載しました。 0月に委員及び公募委員、公募委員 2 名の方に	義事録は会議資料と合わ 員の改選があり、再任5	言・助言をしせ、局ホーム	経営審議会を(3回/ いただきました。審議会の ムページに掲載しました。 3月に委員1名の改選力	議事録は会議資料と合わ							
事業・取組の結果は			いただいた委員向けに事											
			予定を上回る 101%以上	90%~		予定を上回: 101%以上	90%~		予定を上回る 101%以上	90%~		予定を上回る 101%以上	90%~	予定を下 90%未
		水道事業経営審 継続運営		100%以下 90%未凋~	水道事業経営報 継続運営		100%以下 90%未満~		101%以上	100%以下		101%以上	100%以下	3070本)

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

平均(A)

1点

目標設定項目		E	 目標													
(評価指標)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度		令和6年度	Ę	
予算·決算、新·MP	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B) 外的要	因 実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
事業実施状況に対	実施	実施	実施	実施	実施	実施 3点	加点	実施	実施 3点	加点		加点				加点
する意見・提言の聴取 と反映	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
乙又以	-	-	-	-	- (+ (-)	- 3点			- 3点		÷ (+ (-))		Sales IS and	(= (=)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B) 外的要		達成度	(D/B)	外的要因
	目標累計(C)	Demont (c)	目標累計(C)		実績累計(E)	**** (E (C)	加点	字体用計 /こ)	*## (F / C)	加点	字结用⇒↓ / r \	進捗度(E/C)	実績累計(E)	\#+EFF	(E/C)	加点
	日標系計 (C)	日標系計 (C)	日標系計 (C)	日信系訂 (C)	夫損糸訓(E)	進捗度(E/C)	+	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進抄及(E/C)	夫楨糸司(E)	進抄段	(E/C)	-
	日煙 (B)	日煙 (B)	目標(B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B) 外的要	因 実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
	口味 (D)	口味 (0)	口味 (D)	口际 (0)	天 (B) (D)	建成及 (0 / 0)	加点	天 /g (D)	建成设 (0/ 0)	加点	大 /ig (D)	加点		(生)从(文	(0) 0)	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	жи	実績累計(E)	進捗度(E/C)	ДИМ	実績累計(E)	進捗度(E/C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	жи
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B) 外的要	因 実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
							加点			加点		加点	į			加点
	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B) 外的要		達成度	(D/B)	外的要因
							加点			加点		加点	•			加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果	50	管評価			I	令和3年度		ı	令和4年度		ı	令和5年度		令和6年度		
	РЛ	官計価			. 水道車 學 級 營 棄 議 今	で 13年度 を (3回/年)開催し、委	1日1575小草	·水道事業経営審議会		未日の小選士		市和5年及		市和6年度	Ł	
事美		図性評価】 施効率を評	価する。		・予算効率・作業効率もいます。	予定枠内となり、目標ど	おり達成して	・予算効率・作業効率もいます。	予定枠内となり、目標	どおり達成して						
	11	価結果			予算効率	3点 総合	>評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率	総合評価	予算効率		総合	>評価
		,			作業効率		С	作業効率	3点	С	作業効率	1101 H 1 HM	作業効率		1101	p
	評価の	観点·結果			外的要因加点		/10点	外的要因加点		点/10点	外的要因加点	0点/10点	外的要因加点		0点.	/10点
事業・取組が目標		か性評価】 「るために有交	かであったか評	価する。	び、新・マスタープラン事	を3回開催し、予算・決 弥事業について、中期期 部分2次評価をいただきま	間実施分評	・水道事業経営審議会 び、新・マスタープラン事利 2次評価をいただきまし	8事業について、令和							
	評	価結果			達成度	3点 総合	>評価	達成度	3点	総合評価	達成度	総合評価	達成度		総合	>評価
	=π/π <i>σ</i>	±8 ⊢ 4+m			進捗度		С	進捗度	3点	С	進捗度		進捗度			
	≣ 半 1回0.	観点·結果			外的要因加点	0点 6点	/10点	外的要因加点	0点 6	点/10点	外的要因加点	0点/10点	外的要因加点		0点.	/10点
④ 2 次評価結果																
						維持			維持							
					紅	営審議会総評		紀	営審議会総評		紅	営審議会総評		経営審議会総		
					引き続き,計画に沿って			引き続き,計画に沿って			"-			1222		
	(z	方向性】														

						新・マスタ-	ープラン事業評価管	理シート							
施策V	経営基盤の強化			事業·取組名	V-7 機	能的・効率的	な組織体制の構築						所管課	総矛	務課
事業概要															
	【事業の目的】	水道事業が	値面している多くの課題	題に的確に対応	し、事務事業	を効果的・効率	区的に推進するため、	持続可能な水道システム	を支える組織の	の構築を進める。					
			令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	・業務量の地組織の見直を向上させるするため、経	率的な組織体制の構 曽減及び目標達成度等 にを適宜実施し、意思 なともに、中長期経営 経営資源(人材)を最 調査・検討を行います	等を考慮した小夫 決定から実行ま 計画に掲げた目 大限に活用でき	規模な・ までの速度	・業務量の増減 組織の見直しを を向上させるとと するため、経営	を適宜実施し、意思》 ともに、中長期経営記	を考慮した小規模な や定から実行までの速度 計画に掲げた目標を達成 大限に活用できる最適な	・業務量の ^は 組織の見直 を向上させる するため、紹	対象的な組織体制の構築 曽減及び目標達成度等 『しを適宜実施し、意思》 るとともに、中長期経営記 を営資源(人材)を最力 調査・検討を行います。	を考慮した小規模な 央定から実行までの速度 十画に掲げた目標を達成 大限に活用できる最適な				
過程															
	年度		令和3年度	Ę			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【予算·決算額】	予算額 (a)				0			0			0				
費用はどれくらい	執行額 (b)				0			0							
かけたか	執行率(%) (b) / (a)				-			_		#DIV/0!			#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対目	標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目	目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	640時間	640時間		6	540時間	640時間		640時間						
時間(人員)は どれくらいかけたか	期間 (d) (作業従事職員数)	4人	4人	1009	%	4人	4人	100%	4人						
	単位あたり の作業量(c/d)	160時間	160時間		1	160時間	160時間		160時間						
	(1人あたりの年間作業時間)	(ア)	(1)	(1/:	ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(1)	/ア)
所管課分析評価															
結果·効果	令和 2 年度実績		令和3年度	F			令和4年度			令和5年度			 令和6年度		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	中長期経営計画に掲げた目標を達成するため、 一部の所属において新たにグルーブ制を導入し、 経営資源(人材)を最大限に活用できる最適 な組織形態となるよう組織改正を行いました。	となるよう検討	17413年8 (人材) を最大限に活けし、令和4年度におけ 3ごとができました。	用できる最適な	効率的再とな	なるよう検討し,	材)を最大限に活用	できる最適な組織形態 8組織のスリム化・組織改		12年3年15			риоч-х		
		里海 小妇娇丽	予定を上回行 101%以上	100%以下 9	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 ラ定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下[90%未清
		最適な組織形	285の快討	1点	最	適な組織形態	の使割	1点							
															
			I	1 1			1	1			1 1				1

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

1点

						新・マスターノフ.	ノ争某評価官埋シート									
目標設定項目	目標			A102左左			令和4年度			令和5年度				令和6年度		
(評価指標)	令和3年度 令和4年度 令和5年度	令和6年度		令和3年度			令和4年度			行和5年度				行和6年度		
	目標 (B) 目標 (B) 目標 (B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
継続的な組織の	調査·検討 調査·検討 調査·検討	調査·検討	調査·検討	実施 3点	加点	調査·検討	実施 3点	加点				加点				加点
見直し	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
		-	-	- 3点	UH	_	- 3点	- 0点								
	目標(B)目標(B)目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
					加点			加点				加点				加点
	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)目標(B)目標(B)	日捶 (p)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度	(D /B)	外的要因	 実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
	日保(B)日保(B)日保(B)	口(示 (D)	大 (L)	建/成皮 (D/ B)	加点	大 (L)	连/队(支 (D/ b)	加点	大 恨 (D))是/以/文	(0/0)	加点	大 恨 (D)	连以反	(0/0)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)	日極常計(C)	実績累計(E)	進捗度 (E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E/C)	ліж	実績累計(E)	進捗度	(F /C)	加無	実績累計(E)	進捗度	(F /C)	加無
	District Control Control Control	□ (C)	大阪末町 (亡)	進沙及 (E/ C)	0点	大順末町 (亡)	延197支(L7 C7		大順末町 (C)	進沙皮	(L) ()		大根末町 (亡)	進191及	(L) ()	1
	目標(B)目標(B)目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
					加点			加点				加点				加点
	目標累計(C) 目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)目標(B)目標(B)	日捶 (b)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実績(D)	達成度	(D /B)	外的要因	 実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
	日保(D)日保(D)日保(D)	日信(D)	天 楨 (D)	建成技 (D/ D)	加点	天 禎 (D)	建观技 (D/ B)		天 根 (D)	建风反	(D/ B)	加点	天 禎 (D)	建风反	(D/ B)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	уни.	実績累計(E)	進捗度(E/C)	Энис	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	Энис	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	жи
						-										
■評価結果						•									•	· ·
	所管評価			令和3年度			令和4年度			令和5年度				令和6年度		
			・令和4年度における最 率的に行うことができまし	適な組織形態の検討を, た。	適切かつ効	・令和5年度における組織がつ効率的に行うこと		の検討を,適								
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。		(経費を伴う事業的側 「予定どおり」とみなして賃	面を有しないことから,予? 算出します)	算執行率を	(経費を伴う事業的側 「予定どおり」とみなして算	面を有しないことから,予 算出します)	5算執行率を								
	評価結果		予算効率	3点 総合	評価	予算効率	3点 総	合評価	予算効率		総合	∵重平価	予算効率		総合	
	h i landani d		作業効率	-7.11	С	作業効率	3点	С	作業効率		W I	ртри	作業効率		11/0/1	4 p 1 jun
	評価の観点・結果		外的要因加点		/10点	外的要因加点		/10点	外的要因加点		0点/	′10点	外的要因加点		0点/	/10点
			・令和4年度において,	経営資源(人材)を最大	ト限に活用	・令和5年度において,	経営資源(人材)を最	大限に活用								
			できる最適な組織形態	とすることができました。		できる最適な組織形態と	さすることができました。									
	【有効性評価】															
事業・取組が目標	標等を達成するために有効であったか評値	曲する。														
	評価結果		達成度	3点 総合	評価	達成度	3点 総	合評価	達成度		総合	評価	達成度		総台	計評価
	評価の観点・結果		進捗度	-7111	С	進捗度	3点	С	進捗度				進捗度			
	可圖少既然,他本		外的要因加点	0点 6点/	/10点	外的要因加点	0点 6点	/10点	外的要因加点		0点/	′10点	外的要因加点		0点/	/10点
④ 2 次評価結果						1										
				維持			維持									

④ 2 次評価結果				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

					#91 ⁻ ₹	人ダーノフン争系評価!	日埋ノート							
施 策 V	経営基盤の強化			事業·取組名 V-8-①		た業務効率化 oticProcessAutomat	ion)の導入					所管課	営業	美課
事業概要												<u>'</u>		
	【事業の目的】	ICTを活用	した業務効率化を図り	ます。										
			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	·定型的	RoboticProcessAuto な入力業務等について し、導入する。	omation)の導入 ソフトウエアによる自動			omation)の導入 ライセンス取得し、試行			ation)の導入 スで試行運用を行い、導				
)過程					1									
	年度		令和3年度	Ē.		令和4年度			令和5年度			令和6年度		
【予算・決算額】	予算額 (a)			0)		726,400			726,400				
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)			0)		650,000							
	執行率(%) (b) / (a)			_			89.5%			0%		#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目	標
【時間·体制 (人員)】	総作業量 (c) (実働時間)	192時間	192時間		432時間	216時間		288時間						
時間(人員)はどれくらいかけたか	(実働時間)期間(d)	2人	2人	100%	3人	1人	150%	2人						
	単位あたり の作業量 (c/d)	96時間	96時間		144時間	216時間		144時間						
	(1人あたりの実働時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(1/	⁄ア)
所管課分析評価 結果・効果														
	令和2年度実績		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		·RPA導入0)ためソフトウェアおよび対	象業務の選定を行った。	・RPAを導 <i>入</i>	し、試行運用を開始し	ました。							
【実施結果・効果】 言業・取組の結果は		RPAの導入	予定を上回る 101%以上	100%以下 90%未満~	試行運用の	予定を上回2 101%以上 開始	予定どおり 90%~ 100%以下 1点 予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 90%未満~		予定を上回る 101%以上		予定を下 90%未満
								min (-			TT-10 (A)			

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

1点

							新・マスタープラン	・事業評価管理シ	- ト								
目標設定項目 (評価指標)	目標	令和6年度		令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
RPAの導入	目標(B)目標(B)目標(B) 調査・検討 試行運用 試行運用	目標(B)	実績(D) 調査・検討	達成度(実施	. ,	り要因 「点	実績(D) 試行運用	達成度 (D/E 実施 3.	,	実 績 (D)	達成度(D/	′B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点
KPAの得入	目標案計 (C) 目標案計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E) -	進捗度(3点)点	実績累計(E) -	進捗度(E/C - 3	点	実績累計(E)	進捗度(E/	C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)目標(B)目標(B)		実績(D)	達成度(b	的要因 「点	実績(D)	達成度(D/E	加点	実 績 (D)	達成度(D/	,	外的要因 加点	実 績(D)	達成度	,	外的要因 加点
	目標累計(C) 目標累計(C)		実績累計(E)	進捗度((点 —	実績累計 (E)	進捗度(E/C	·	実績累計 (E)	進捗度(E/		-	実績累計(E)	進捗度		-
	目標 (B) 目標 (B) 目標 (B)		実績(D)	達成度(b	的要因 「点	実績(D)	達成度(D/E	加点	実績(D)	達成度(D/	Í	外的要因 加点	実績(D)	達成度		外的要因 加点
	目標 (B) 目標 (B)		実績累計(E) 実績(D)	進捗度(()点 要因	実績累計(E) 実績(D)	進捗度(E/C 達成度(D/E	·	実績累計(E) 実績(D)	進捗度(E/ 達成度(D/		外的要因	実績累計(E) 実績(D)	進捗度		外的要因
	目標(B) 目標(B) 目標(B)		実績累計(E)	進捗度(b	点	実績累計(E)	進捗度(E/C	加点	実績累計(E)	進捗度(E/		加点	実績累計(E)	進捗度		加点
	目標 (B) 目標 (B) 目標 (B)		実績(D)	達成度(-	中野田	実績(D)	達成度(D/E		実績(D)	達成度(D/		外的要因	実 績 (D)	達成度		外的要因
	目標案計(C) 目標案計(C) 目標案計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(点	実績累計(E)	進捗度(E/C	加点	実績累計(E)	進捗度(E/	C)	加点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	加点
■評価結果																	
	所管評価			令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。		・令和4年度からの試行: および対象業務の選定で 1 RPAソフトウェアは、付 かての稼働実績、市長部 などを勘察し、市長部局 2 対象業務は、営業調 象とし、統計資料作成業 た。	以下の通り行 他都市への照 の場での導入ま と同様の製品。 果内で定期的(った。 会などから庁内ネッ に績およびサポート を選定した。 こ繰り返し行う業	・ ツトワー 対 ・体制 務を対	・営業課内の統計業務な	。支払伝票の作成(こついて試行を開								
	評価結果		予算効率	3点	総合評価		予算効率	4点	総合評価	予算効率		総合	評価	予算効率		総合	許価
	評価の観点・結果		作業効率 外的要因加点	3点	C 6点/10点		作業効率 外的要因加点	-7/11	C 6点/10点	作業効率 外的要因加点		0点/	10点	作業効率 外的要因加点		0点/	⁄10点
事業・取組が目札	【有効性評価】 票等を達成するために有効であったか評	価する。	・令和4年度からの試行: および対象業務の選定を い、目標を達成できた。			り行対	上記効率性評価のとお対し、導入効果の検証を あることを確認しました。										
	評価結果		達成度	3点	総合評価		達成度	3点	総合評価	達成度		総合	評価	達成度		総合	許価

介 2 次証価結果

評価の観点・結果

④ 2 次評価結果				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

進捗度

外的要因加点

3点

0点

С

6点/10点

進捗度

外的要因加点

進捗度

外的要因加点

0点/10点

0点/10点

3点

С

6点/10点

進捗度

外的要因加点

				1																
施策V	経営基盤の強化			事業		ICTを活用し スマートメータ											所管	言課	営業	美課
						X 1 / 2	, 0/47/1X	(8)												
	【事業の目的】	ICTを活用し	した業務効率(化を図ります。																
			令	和3年度				令和4年度				令和5	年度				令和6	年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	・スマートメー	- 夕の導入検討 - ター導入による どについて調査	る省力化の効果	果や、得られるデータ る。		ータの導入様 度からの実!	R計 証実験に向け	、詳細計画		·令和5年	タの導入検討 6 月から実証実験 集を行います。	を開始し、キ	好来のオ	*格導入に					
2 過程																				=
	年度		令	和3年度				令和4年度				令和5	年度				令和6	年度		
【予算・決算額】	予算額(a)				100,000					1,065,000				1	,436,700					
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)				0					532,000										
ייייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	執行率(%) (b)/(a)				0%					50%					0%		#DI	V/0!		
	年度	目標	令和3年	度	対目標	目標	令和-	4年度	対目	目標	目標	令和5年度		対目	標	目標	令和6年度		対目]標
【時間·体制 (人員)】	総作業量 (c) (実働時間)	192時間	192時間	間		384時間	384	時間			480時間									
時間(人員)は どれくらいかけたか	期間 (d) (従事職員数)	4人	4人		100%	4人	4	Д	10	0%	5人									
	単位あたり の作業量 (c/d)	48時間	48時間			96時間	96	時間			96時間									
	(1人あたりの実働時間)	(ア)	(イ)		(イ/ア)	(ア)	(-	1)	(1)	/ア)	(ア)	(イ)		(1/	ア)	(ア)	(イ)		(1/	′ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果																				
	令和2年度実績		令	和3年度				令和4年度				令和5	年度				令和6	年度		
	・メーターのメーカーから講師を招き、スマートメーター説明研修を実施した。また、電力会社と実証実験(共同検針)についての協議を開始した。	・予定通りスマ	アートメーター実	証実験の基本	本計画を策定した。	・予定通りス た。	マートメーター	-実証実験の	詳細計画を	策定しまし										
			10	でを上凹る 9 01%以上 10	テ定どおり 90%~ 90%末満~	スマートメータ		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を_ 101%	N F 904	٠a. '	予定を下回る 90%未満〜		予定を 101%	上川の		予定を下回る 90%未満〜
		スマートメータの	り導人検討		1点	討			1点											

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

1点

							新・マスタープラン	・事業評価管理シー	٢								
目標設定項目 (評価指標)	目標 令和3年度 令和4年度 令和5年度	令和6年度		令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
スマートメーターの	目標(B)目標(B)目標(B)	,	実 績 (D)	達成度(勺要因	実 績 (D)	達成度(D/B)		実 績 (D)	達成度((D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
利活用についての	調査・検討 調査・検討 調査・検討 目標累計 (C) 目標累計 (C)		調査・検討 実績累計(E)	実施 進捗度 (- ////	点	調査・検討 実績累計(E)	実施 3点 進捗度 (E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加点	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加点
調査·検討		— (C)	大根系引(L)	上沙区(3点	D点	大根系司(L)		八占	大順系ii (L)	進沙反	(L/ C)	-	大順米il (L)	進抄反	(L/ C)	
	目標(B)目標(B)目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B) 外的	勺要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度((D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
					-	点			加点				加点			(= (-)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	D点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-
	目標(B)目標(B)目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B) 外的	勺要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度((D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
						点			加点				加点				加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-
	目標(B)目標(B)目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B) 外的	勺要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度((D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
						点			加点				加点				加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-
	目標(B)目標(B)目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B) 外的	勺要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度((D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
			24,74,42,7	723772	. , , , , , ,	点	20 100 (-)	23302 (27.27	加点	24 124 127	72.712	, _,	加点	24 32 (2)	22	, _,	加点
	目標累計(C)目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
 ■評価結果																	
	所管評価			令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
事美	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評価する。		どを予定していたが、新型 実施できず未執行となっ 電力会社との協議を重ね 画を策定することができた	コロナウイルス こため予算効 1、スマートメー	感染症の影響に 軽は3点とした。し ター実証実験の	より、 かし、 基本計	1,065,000円(業者月 2月に見積合わせを行っ ました。その結果、執行等	を策定しました。 マ式水道メーターを購算要求時のメーター 現する。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でいまる。 でいまる。	入しました。 入費用 したが、令和5年 2,000円となり す。								
	評価結果		予算効率	3点	総合評価	i	予算効率	-7111	総合評価	予算効率		総合	评価	予算効率		総合	ì評価
	評価の観点・結果		作業効率 外的要因加点	3点	C 6点/10s	5	作業効率 外的要因加点	3点	B 点/10点	作業効率 外的要因加点		0点/	/10点	作業効率 		0点/	′10点
事業・取組が目標	【有効性評価】 票等を達成するために有効であったか評・	価する。	・予定通りスマートメータ・ ・実証実験基本計画の相 1 目的:将来的な導 2 実験の方法:東北 を使った自動検針(共同 3 実験の規模:市営 4 実験の期間:令和: 5 費用:約250万円	- 実証実験の記 現要は、以下の 入に向けた情報 電力ネットワーク 記検針) 主宅1棟(40	基本計画を策定 の通り 吸収集 ク(株)のネット 戸)その他10戸	ワーク	・上記効率性評価のとお購入を行い、令和5年6)ができました。	り、詳細計画の策定	水道メーターの			2.40					
	評価結果		達成度	3点	総合評価		達成度	3点	総合評価	達成度		総合	評価	達成度		総合	ì評価

④ 2 次評価結果

評価の観点・結果

4.2人开调和未				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

進捗度

外的要因加点

3点

0点

С

6点/10点

進捗度

外的要因加点

進捗度

外的要因加点

0点/10点

0点/10点

3点

С

6点/10点

進捗度

外的要因加点

施策V	経営基盤の強化			事業·取組名 V-8-③		た業務効率化 た給水装置審査業務の)集約化に係る調査・検討					所管課	管路課
①事業概要					10. 6/11/110		Sens to the broading 1903						
	【事業の目的】	ICTの活月	用による業務の再構築とる	それに伴う執行体制の効率	☑化について、▮	調査・検討を進めます。							
			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	検討 ・GISデータ 受付など、	用した給水装置審査業務 9のネット閲覧や電子申請 ICTの活用を前提とした終 の効果の有無について、	情による給水申請書の 合水審査業務集約化の	検討 ・GISデータ 受付など、I	IUた給水装置審査業務 のネット閲覧や電子申請 CTの活用を前提とした終 の効果の有無について、	情による給水申請書の 合水審査業務集約化の	検討 ・GISデータ 受付など、	用した給水装置審査業務 9のネット閲覧や電子申請 ICTの活用を前提とした給 の効果の有無について、診	による給水申請書の 水審査業務集約化の			
<u> </u>	年度		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
【予算·決算額】	予算額 (a)			0			0			0		-	
費用はどれくらい	執行額 (b)			0			0						
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			-			-		#DIV/0!			#DIV/0!	-
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	0.13人	0.026人		0.026人	0.005人		0.01人					
時間 (人員) は どれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	1年	1年	20%	1年	1年	19.2%	1年					
	単位あたり の作業量 (c/d)	0.13人	0.026人/年		0.026人	0.005人/年		0.01人					
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
③所管課分析評価 ■結果·効果													1
	令和2年度実績		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	なし(令和3年度からの新規事業)		13回開催したほか、他者 検討しました。			化に関する提案を行い、 て検討を進めました。	当該提案について実務						

予定どおり 90%〜 100%以下

1点

1点

予定を下回る

90%未満~

平均(A)

予定を上回る

101%以上

予定どおり

90%~

100%以下

1点

1点

予定を下回る

90%未満~

調査·検討

平均(A)

予定を上回る 101%以上

調査·検討

平均(A)

予定どおり 90%〜 100%以下

予定を下回る

90%未満~

予定を上回る 101%以上

予定どおり

90%~ 100%以下 予定を下回る

90%未満~

平均(A)

予定を上回る

101%以上

									新・マスターフラン	ノ争来評価管理ン	ノート								
目標設定項目		目相	P3.			令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度	±	
(評価指標)	令和3年度 令和	4年度	令和5年度	令和6年度		אודיכווינו	•			137HT-T-IX			ארד-כחוינו	1			ארדייטווינו	-	
給水装置工事審査	目標(B)目標				実 績 (D)	達成度		外的要因	実 績 (D)	達成度(D/		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
業務の集約化に係る	調貨·模訶 調貨		調査·検討	調査·検討	調査·検討	実施	3点	加点	調査·検討		3点 加点				加点				加点
調査・検討	目標累計(C)目標累	計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/	(C) 0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	-	-	-	_	-	-	3点	- 7	-		3点								
	目標(B)目標	(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/	´B) 外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)目標累	計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/	C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
								- 7										\bot	
	目標(B)目標	(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/	, , , , , , , , , , , , ,	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)目標累	計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/	C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
								-7											
	目標(B)目標	(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)目標累	計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/	C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)目標	(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/	´B) 外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)目標累	計 (C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/	C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果					_							_							
	所管評価	<u> </u>				令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度	Ę	
事	【効率性評 業・取組の実施効率		i する。		・作業人員について 調査・検討に取り組む 当を割り振りして責任をす 可能となり、結果的に作	寺たせることで	少ない時間	間での検討が	・WGの提案をベースにす とができました。	ることにより、別挙	的に快割を進める。								
	評価結果	3			予算効率	3点	松	合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率		% ₩∠	>評価	予算効率		\$\tau_{\text{.}}	今評価
	p., ,				作業効率	4点		В	作業効率	4点	В	作業効率	1	中心口	- p	作業効率	+	4ACV E	—1 1 1 Imi
	評価の観点・	結果			外的要因加点	0点		/ 10点	外的要因加点	0点	7点/10点	外的要因加点		0占.	/10点	外的要因加点	+	一	/10点
事業・取組が目札	【有効性評 漂等を達成するため	 に有効で	であったか評	価する。	・「業務の現況」「効率化応状況」「現状におけるi ICT活用については、『 今後は検討メンバーをi させていきます。	に係る比較 果題」等につい 配子申請等に 実務担当にま	評価」「他者 いて調査・材 こついて検討 まで広げ、検	がある	・実施時期の検討を進む ル類の見直しを実施しま	たほか、各拠点の した。	状況調査とマニュア								
	評価結果	1			達成度	3点		合評価	達成度	3点	総合評価	達成度		総合	>評価	達成度		総	合評価
	評価の観点・	結果			進捗度	3点	4	С	進捗度	3点	С	進捗度				進捗度		_	
	中・一直へ下に光・				外的要因加点	0点	6点	/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点	\perp	0点	/10点
④ 2 次評価結果																			
						維持				維持									
					\$2	学審議会終	☆ 重亚		<u> </u>	Y 堂審議会総証		4	Z 堂審議会約	於 重亚		\$	径堂審議会約	公 証	

	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.	引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

					新・マス	スタープラン事業評価領	音理シート						
施 策 VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握			事業・取組名 VI - 1	戦略的な広	報の実施						所管課	総務課
事業概要	【事業の目的】	「新潟市水	道局広報戦略」~広報	活動の考え方〜に基づき	、継続的に広	報計画を策定し、効果の	的な広報活動を展開します	t .					
			令和3年度に沿った広報活動の実施			令和4年度に沿った広報活動の実施	t		令和5年度	<u>t</u>		令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	・お客さまに 授業、各種・デジタルメ・紙媒体に	ルトによる広報(水道週) 直接働きかける広報(ジ ルベントへの出店) ディアを活用する広報(よ よる広報(広報紙、検金 用する広報(小学生向) (7)	災害パネル展示、出張 インターネット) 十票裏面、パンフレット)	・お客さまに 授業、各種・デジタルメ・・紙媒体に。	ルトによる広報(水道週 直接働きかける広報(近イベントへの出店) ディアを活用する広報(よる広報(広報紙、検鎖 用する広報(小学生向 で)	災害パネル展示、出張 インターネット) 計票裏面、パンフレット)	・お客さまに 授業、各種・デジタルメラ ・紙媒体によ	トによる広報(水道週 直接働きかける広報(ジ イベントへの出店) ディアを活用する広報(よ る広報(広報紙、検金 目する広報(小学生向))	災害パネル展示、出張 インターネット) †票裏面、パンフレット)			
過程													
	年度		令和3年度			令和4年度	Ī		令和5年度			令和6年度	
【予算·決算額】	予算額 (a)			37,870,000			31,935,200			33,695,900			
費用はどれくらい	執行額 (b)			34,365,473			29,070,500						
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			90.7%			91%			0%		#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	2160時間	2160時間		2160時間	2160時間		2160時間					
時間(人員)は どれくらいかけたか	期間 (d) (従事期間)	12カ月	12カ月	100%	12カ月	12カ月	100%	12カ月					
	単位あたり の作業量 (c/d)	180時間	180時間		180時間	180時間		180時間					
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)
所管課分析評価 結果·効果													
	令和2年度実績		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度	
実施結果・効果】	・新型コロナウイルス感染症の影響から、水道週間 (信濃川浄水場一般開放)を始め各種イベントが中止となりましたが、水道週間では「水太郎の手洗いカード」を市内小学校に配布するなどの代替広報を実施、他ではSNS (フェイスブッ	止となりましたか し、YouTube s 的な活用を行い	が、代替広報として「水太郎の チャンネルに公開したほか、SN		は中止となりま アー動画」を作	したが、代替広報として「イ 『成し、局HPやYouTube	、信濃川浄水場一般開放 言濃川浄水場バーチャルツ チャンネルに公開したほか、 Y401とイオンモール新潟南						
『業・取組の結果は	ク) の積極的な活用を行いました。		イルス感染症の影響により、ま	ミ地での出張授業は中止とな	でのイベント実 ○広報紙「水	施など、積極的に水道週 先案内」	間をPRしました。						

	令和2年度実績		令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度		
事業・取組の結果は	・新型コロナウイルス感染症の影響から、水道週間(信濃川浄水場一般開放)を始め各種イベントが中止となりましたが、水道週間では「水太郎の手洗いカード」を市内小学校に配布するなどの代替広報を実施、他ではSNS(フェイスブック)の積極的な活用を行いました。 ・広報紙「水先案内」では漫画の活用に加え、集中連載「ご存知ですか?水道事業のこと」を連載するなど分かりやすい広報に努めました。 これらの施策を通し、コロナ禍ではありましたが、幅広い層へ水道局の魅力を発信できていると考えています。	はとなりましたが、代替広報とし、YouTubeチャンネルに公計的な活用を行いました。 〇出張授業・新型コロナウイルス感染症のりましたが、代替策として「水ス作し、市内小学校に貸し出し ○広報紙「水先案内」・コミックエッセイ風なデザインをか、連載企画「スイスイNews	して「水太郎の 開したほか、SN 影響により、、 影響と学ぶ水。 を行いました。 を採用し、気軽 にて水道事等 はありましたが、	手洗い体操動 IS(フェイスプッ は地での出張授 が業DVD(I に読めそうな広 く でことを分かり これらの施策を	画」を作成 かりの積極 業は中止とな 動画)」を製 報紙としたほ やすい広報に を通し、幅広い	は中止となりましたが、代替 アー動画」を作成し、局HP SNSやアウトメディアによるが でのイベント実施など、積極	広報として「信やYouTubeチム報、DEKKY: 広報、DEKKY: 的に水道週間 がいさがし」を表 てるような広報 道事業を様々 したが、これらの	濃川浄水場でよりです。 ボール できる できます できます できます できます ままま できます はいまい できます なっこう いっこう できます いっこう できます かいます いっこう できます かいしん はいい いっこう かい	易バーチャルツ 公開したほか、 モール新潟南 た。 さきが楽しみ か、集中連載 分析し、分かり								
			予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%〜 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~
		独自イベント			0点	独自イベント		1点									
		防災パネルの展示、出張授業			0点	各種イベントへの出店		1点									
		H P		1点		H P		1点									
		広報紙、検針票裏面広告		1点		広報紙、検針票裏面広 告		1点									
		小学生向けパンフレット		1点		パンフレット		1点									
		平均 (A)		0.6点		平均(A)		1点		平均(A)				平均(A)			

									新・マスターフラン	ノ争東評価管理シート									
目標設定項目			標			令和3年度	:			令和4年度			令和5年度	:			令和6年度	:	
(評価指標)		专令和4年度					-							-				-	
お客さまアンケートに	目標(B)	目標(B)	,	,	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
おける広報紙「水先	/5%以上		75%以上		73.6%	98.1%	3点	加点	-		加点				加点				加点
案内」の認知度	目標累計(C)) 目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
X(133-2004)X	-	-	-	-	-	-	3点	-7.11	-		- 7.11								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)) 目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	()	()			- (+ (-)		(- (-)		(()	1 to the total (-)		(()		(- (-)		- (- (-)		(- (-)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
					D/4 PS1 /5)	\4.1E==	(5 (0)	加点	D/4 H = 1 / (F))#### (F (O)	加点	D/4 H21 /6)	\44.11F.cc	(5 (0)	加点	D/4 H = 1 / (5)	\44.11F.m	(5 (0)	加点
	目標累計(C)) 目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	D (E (S)	D# (5)	D/= (p)	D# (5)	虫 结 (5)	\ * -+ -=	(D (D)	h) 45 #F CD	虫 纬 (5)	- 本本 (D (D)	N 45 TEC	中 (4 (5)	₩	(D (D)	h) 45 =====	中 体 (5)	** ++ 在	(D (D)	h) 45 == ==
	日標 (B)	目標(B)	目標 (B)	目標 (B)	実績(D)	達	(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成長	(D/B)	外的要因 加点
	D#### (c)) 目標累計 (C)	DAMEST (C)	DARREL (C)	実績累計(E)	`#+止床	(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	加州	実績累計(E)	光井中	(E/C)	加州
	日信系訂(C)) 目標系計(C)	日標系計 (C)	目標系計 (C)	夫禎糸訓(E)	進抄及	(E/C)		夫禎糸訓(L)	進抄及(E/C)	-	夫禎糸訓(E)	進抄及	(E/C)		夫組糸訓(C)	進抄及	(E/C)	
	日極 (b)	目標(B)	日極 (D)	日極 (D)	実 績 (D)	海战府	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
	日保(D)	日伝 (D)	日保 (D)	日保 (D)	大 ((D)	建以反	(0/6)		大 恨 (D)	连风及 (D/ B)	加点	大 ((1))上/以/文	(0/ 6)	加点	大 惧 (D)	建拟皮	(0/ 6)	加点
	日標累計 (C)) 目標累計 (C)	日標要計 (C)	日標累計 (C)	実績累計(E)	准批度	(E/C)	инт	実績累計(E)	進捗度(E/C)	лит	実績累計(E)	進捗度	(F / C)	лит	実績累計(E)	准批度	(E/C)	лиж
	шжен (С	/ ENRAGE (C)	шижей (С)	ш ихже н (С)	大順末町 (亡)	JE19/Q	(L/ C)		大根末町 (1)	延19/及(L7 C7		大順末日 (1)	JE19/JQ	(L/ C)		大順末日 (上)	進沙汉	(L/ C)	-
■評価結果					<u> </u>														
	所	f管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
					・新型コロナウイルス感染			ていたイベント	新型コロナウイルス感染		別はあったも		1-14-1124				1-14-172		
									のの、予定していた広報										
					なしで実施可能な動画化	作成等に予算	草を費やしま	した。そのた											
	【効率	率性評価】			め、コストに見合った結果	は出ません	でしたが、事	業としての目											
事	業・取組の実	『施効率を評	価する。		的は概ね達成できました	0													
	評	価結果			予算効率	2点	総総	合評価	予算効率	3点 総行	合評価	予算効率		総合		予算効率		総	合評価
	■亚/無/	D観点・結果			作業効率	2点	į	D	作業効率	3点	С	作業効率				作業効率			
	a十1叫V.	が脱点・和未			外的要因加点	0点	(4点	/10点	外的要因加点	0点 6点	/10点	外的要因加点		0点,	/10点	外的要因加点		点0	/10点
					・新型コロナウイルス感染					は、昨年度に続き集中連									
					なりましたが、代替策とし					するなど、戦略的な広報	舌動を実施す								
					「水先案内」では連載企			載するなど、	ることができたと評価して										
		効性評価】			戦略的な広報が実施で					道週間イベントを再開した									
事業・取組が目標	標等を達成す	するために有効	かであったか評	呼価する。	しかしながら、「お客さまア	_			まつり」や「古町どんどん」										
					は73.6%にとどまり、目標	景恒の/5%	以上は進放	(さませんぐし	参加しました。これまでの										
					/C ₀				(親子を対象とした) 水。 をアピールすることができる	つくり実験」を実施するなど Eurte	、小坦争耒								
										たいた。 案内の認知度は、事業所	た かんしん おっと								
									さまアンケート項目にはな										
	=:1	:/m+m			克	٥.	- 661					法士安		665.2	\=π/π	法企在		66)	Λ =π /π·
	řā	価結果			達成度	3点		合評価	達成度 進捗度	— 総行	合評価	達成度 進捗度		希 公正	合評価	達成度 進捗度		称公	合評価
	評価の	D観点·結果			進捗度 外的要因加点	0点		C /10点	進抄及 外的要因加点	_ 	/10点	外的要因加点		O.占	/10点	外的要因加点		O-E	/10点
4 2 次評価結果					アロ安山川川	UE		/ 10川	アロ安山川川	- 0点	/ 10点	アウ女仏川県		U.A.	∕ TO™(71の女にいい		UA	./ TO\;;
マとの町側和木						維持				拡充									
							N.E.TE							A=#:				\= 	
1					経	営審議会総	が高半		組	E営審議会総評		ň	圣営審議会総	部半		វាំ	圣営審議会総	部半	

	业压1.4	ПАЛЬ		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること、ただし、社会の			
	デジタル化・オンライン化が進む現状においては, 多様な手段			
	で戦略的・効果的な広報活動の検討・実施を継続することが	水道事業の理解が深まる機会となることが望ましい.		
【方向性】	望ましい.			

施 策 VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握			事業·取組名	VI – 2	お客さまの意見・	要望の把握							所管課	総務課
事業概要														'	
	【事業の目的】	本市水道事	事業における基本理念で	·ある「すべてのお	お客さまに信	「頼される水道」を	実現するためには、る	ら客さまが水道	[事業に求め	るものを的確に	こ把握して施策に反映さ	せるなど、お客さまの視	点に立った事業	(運営に努める必要があります)	す。
			令和3年度				令和4年度				令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	・お客さまア、水道事業に基礎資料と ・水道モニタ・水道モニタ・モニターのは運営の参考・いただいた。	ー制度運用 7-制度を継続実施しま 皆さんから水道事業への	確にとらえ、事美 す。 り提言をいただき 公表します。	業運営のき、事業	水道事業に対す 基礎資料としま ○水道モニター制 ・水道モニター制 ・モニターの皆さ 運営の参考とし	ートを継続的に実施 いる意見・要望を的す。 度運用 度を継続実施しま いから水道事業への	確にとらえ、事: す。 !提言をいただる	業運営の	・お客さまア 水道事業に 基礎資料と ○水道モニター・水道モニター・ ・モニターの 運営の参考	ー制度運用 7-制度を継続実施しま 皆さんから水道事業への	確にとらえ、事業運営の す。 提言をいただき、事業			
過程		 											1		
	年度		令和3年度				令和4年度				令和5年度			令和6年度	
【予算・決算額】 費用はどれくらい	予算額 (a)				2,658,300			1	,440,300			3,836,0	00		
対けたか	執行額 (b)			1,	,480,250				570,000						
	執行率(%) (b) / (a)			I	56%			I	39.6%				%	#DIV/0!	
【時間・体制	年度 総作業量(c)	180時間	令和3年度 80時間	対目	i標 	180時間	令和4年度	対目	i 標	180時間	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
(人員)】	(実働時間)														
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間(d)	12ヵ月	8ヵ月	66.7	7%	12ヵ月	8ヵ月	66.7	7%	12ヵ月					
	単位あたり の作業量 (c/d)	15時間	10時間			15時間	10時間			15時間					
	(月あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(1/	′ア)	(ア)	(1)	(1/	′ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)
所管課分析評価 結果·効果															
和未* 刈未	令和 2 年度実績	T	一 令和3年度				令和4年度	:			 令和5年度			令和6年度	
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	新型コロナウイルス感染症の影響から、水道モニ ター事業は中止しました。	ま満足度や 結果からの	書時における飲料価や意見およびご満足度や平成29 化の分析を行いる ○水道モニター制・新型コロナウイル	ンケートを実施し、 ジート・ジャンケートを実施し、 対当原 一ズを把握するととは年度に実施した同じた。 度運用 ス感染症の影響が 日 5 年度の再開に「	iの広報・PRに bに、水道事業 調査結果から ら、水道モニタ	対する評 美に対する の経年変 一事業は中									
			予定を上回る 101%以上	90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満〜		予定を上回る 101%以上	90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満〜		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下[90%未済		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下 予定を下回 90%未満
		お客さまアンケー		1点		お客さまアンケート		1点							
		水道モニター制	度運用		点0	水道モニター制度は	E 用		点0						

平均(A)

0.5点

平均(A)

平均(A)

0.5点

									初・マスターノフ。	/ 学术計画官座》	/ _F								
目標設定項目			標			令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度	Ŧ	
(評価指標)		令和4年度				\ - 1\-	(= (=)	hi //	d= (+ (=)	\ \tau \\ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \ \tau \ \tau \ \tau \ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \ \tau \\ \tau \ \tau \ \ta	(=) h) th ====	÷ (+ (-)	\+ 1\-	·-	- LI / L	÷ (+ (-)	3 to 15 to 15	(= (=)	h
**************************************	,	目標(B)	,	,	実績(D)	達成度		外的要因	実績(D) 実施	達成度(D/	,	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
お客さまアンケートの 実施	実施 目標累計(C	実施 目標累計(C)	実施 目標累計 (C)	ー 目標累計 (C)	実施 実績累計(E)	実施進捗度	3点	加点	実績累計(E)	実施 進捗度(E/	- ///	実績累計(E)	進捗度	(F (C)	ル只	実績累計(E)	光华	(E/C)	加点
天心	日信系訂(C.) 目標系計(C)	日信系訂 (C)	日信系計 (C)	夫禎糸訓(E)	進抄及	3点	0点	夫禎糸訓(E)		0点	夫楨糸訓(E)	進抄及	(E/C)		夫賴糸訓(E)	進抄及	(E/C)	
	日捶 (D)	目標(B)	- 目標 (B)	日極 (2)	実 績 (D)	達成度		外的要因	実 績 (D)	達成度(D/		実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
水道モニター活動回数 (モニター会議、施設見	,	4回	4回	4回	中止	上	(D/ D)	加点	中止		- 加点	大 順 (D)	建冰皮	(0/0)	加点	大 (ig (D)	连风反	(0/0)	加点
マ会、提言発表会等	目標累計(C				実績累計(E)	進捗度			実績累計(E)	進捗度(E/	(C)	実績累計(E)	進捗度	(F/C)	лит	実績累計(E)	進北度	(E/C)	лит
開催数)	_	_	_	_		_	_	0点			- 0点	<u> </u>	AE177X	(L) ()		<u> </u>	AE17/Q	T	-
	目標 (B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/	(B) 外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
		H 121 (1-)	1,12,1 (2)		24 37 (2)	721-7412	(= , = ,	加点	24 124 (=)	72.702 (2)	加点	24 124 127	72.7772	(= / - /	加点	24 124 127		T -	加点
	目標累計(C	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0 -	実績累計(E)	進捗度(E/	(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
								0点										T	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/	B) 外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/	(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/	(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果	=-	f fr/r = Tr /TT				^ 100 F F				A 10 4 Fr			^ 10 c /c /c				A 10.6 F.F.		
	Pr	f管評価			お客さまアンケートを計画	令和3年度		A + 1 +	・お客さまアンケートを計	令和4年度	55+\=\+\+\+		令和5年度				令和6年度	<u>i</u>	
事		率性評価】 ミ施効率を評	価する。		・水道モニター事業につし 響から中止となりました。 (評価は「お客さまアンク			R感染症の影	・水道モニター事業につい ウイルス感染症の影響力 (評価は「お客さまアンク	ら中止となりました	•								
	# <u>u</u>	価結果			予算効率	3点	\$ 公	今評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率		松子	>評価	予算効率	T	松	今評価
	-				作業効率	3点		С	作業効率	3点	С	作業効率		WCV I	- I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	作業効率	+	1/1/1/1	
	評価の)観点·結果			外的要因加点	0点		/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点	+	0点	/10点
評価の観点・結果 【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。					・お客さまアンケートについ 評価や意見の把握を行って各所属へ情報提供しま 水道モニター事業は、新止となりました。 (評価は「お客さまアンケ	いては、お客さい、今後の事 もした。 型コロナウイバ	まの水道事業運営の基	業に対する 基礎資料とし	・お客さまアンケートについ 水の節水状況や災害時 価や意見の把握を行い、 各所属へ情報提供しま 水道モニター事業は、新 止となりました。 (評価は「お客さまアング	いては、市内事業所における飲料水の 今後の事業運営 した。 型コロナウイルス感	所を対象とした水道 確保などに対する評 の基礎資料として 染症の影響から中		•					-300	
	評価結果				達成度	3点	総	合評価	達成度	3点	総合評価	達成度		総合	>評価	達成度	\top	総	今評価
					進捗度	3点		С	進捗度	3点	С	進捗度		.,101,		進捗度	+	1101	, , , , , ,
	評価の)観点・結果			外的要因加点	0点	4	/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点	1	0点	/10点
④ 2 次評価結果					•				•										
						維持				拡充									
																_			

	維持	拡充		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進し、お客様の意見・要望の			
		活用しつつ、多様な利用者の意見・要望を効果的に把握する		
		ことが望ましい.		
【方向性】				

料金の仕組み及びコスト情報の提供 1点 料金の仕組み及びコスト情報の提供 1点 2分析を化し、開きまま取り終し 2分析を化し、関すまま取り終し 2分析を化し、関すまま取り終し	
「関係の内容 日本の	! 経営管理課
特別の理解	
情報の提供	度
特性 特性 特性 特性 特別 120時間 1	
野川江 (160) 野川	
新行程 (5) (b) (a) 日原 今和3年度 夕田潭 日原 今和3年度 日原 日原 今和3年度 日原 日原 今和3年度 日原 今和3年度 日原 日原 今和3年度 日原 日原 今和3年度 日原 日原 日原 今和3年度 日原 日原 日原 日原 今和3年度 日原 日原 日原 日原 日原 日原 日原 日	度
新行車 10 10 10 10 10 10 10 1	
特別	
「新聞・体制 (人用) (実機時間) 120.9時間)!
(人用) は (実施時間) 120時間 100% 6人 6人 6人 100% 6人 6人 6人 100% 6人 10	対目標
(注 事職員数)	
の作業量(c/d) (1人あたりの実働時間) (ア) (イ) (イ/ア) (ア) (イ/ア) (
所管課分析評価	
令和2年度実績 令和3年度 令和3年度 令和3年度 令和3年度 令和6年度 令和6年度 小広報紙「水先案内」に予算及を掲載しました。また。水道 字業について集中連載(夏・秋・冬号)をしました。 小広報紙「水先案内」に予算規度を掲載しました。また。水道 字業について集中連載(夏・秋・冬号)をしました。 小広部業が1570 美務指標及び令和2年度事務事業 字標の結果、新・マスタープラン中期実施計画の結果をホームページで公表しました。 小道事業が1570 美務指標及び令和2年度事務事業 字標の結果、新・マスタープラン中期実施計画の結果をホームページで公表しました。 小道事業が1570 美務指慮及び会表について」 「記録を通知16室性を対析表」の策定及び公表について」 「記録を通知16室性を対析表」の策定及び公表について」 「記録を通知16室性を対析表」の策定及び公表について」 「記録を通知16室性を対析表」の策定及び公表について」 「記録を通知16室性を対析表を 「記録の26世を対析表を 「記述を対析表を 「記述を対析表を 「記述を対析表を 「記述を対析表を 「記述を対析表を 「記述を対析表を 「記述を対析表を 「記述を対析表を 「記述を対析表を 「字定と即 「の%以上 「の%以上 「の%以上 「の%以上 「の%以上 「の%以上 「の%以上 「記述を対析 」」 「字定と即 「記述を対析 」」 「記述を対析 「記述を対析 「記述を対析 」 「記述を対析 「記述を対析 」 「記述を対析 」 「記述を対析 「記述を対析 」 「記述を対析 、	(イ/ア)
令和2 年度実績 ・広報紙「水先案内」に予算及を掲載しました。また、水道事業について集中連載(夏・秋・冬号)をしました。 ・水道事業について集中連載(夏・秋・冬号)をしました。 ・水道事業が1ドライン業務指標及び令和元年 算業・取組の結果は 事業・取組の結果は 事業・アンクープランの結果をホームページで公表しました。 ・総務・適・趣が公養に伝いて」に基づき、令和元年 年度水道会計決算の経営比較分析表しの策定及び公表について」に基づき、令和2 年度・地会計決算の経営比較分析表を ホームページで公表しました。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
・広報紙「水先案内」に予算及を掲載しました。また、水道 事業について集中連載(夏・秋・冬号)をしました。 ・水道事業がイドライン業務指標及び令和元年 度事務事業 評価の結果、新・マスターブランの結 果をホームページで公表しました。 ・・総務省通知「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」 に基づき、令和2年度水道会計決算の経営比較分析表しの策定及び公表について」 に基づき、令和2年度水道会計決算の経営比較分析表をホームページで公表しました。 ・新・マスターブラン後期実施計画を策定し、ホームページで公表しました。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
予定を上回る 101%以上 予定を上回る 90%~ 100%以下 予定を上回る 90%~ 100%以下 予定を上回る 90%~ 100%以下 予定を上回る 90%~ 100%以下 予定を上回る 90%~ 100%以下 予定を上回る 90%~ 100%以下 予定を上回る 90%~ 100%以下 予定を上回る 90%~ 100%以下 予定を上回る 90%未満~ 100%以下 90%未満~ 100%以下 90% 100%以下 90% 100%以下 90% 100%以下 90% 100%以下 90% 100%以下 90% 100%以下 90% 100%以下 90% 100%以下 90% 100%以下 <td></td>	
本に高が平10に同する取が担 1点 本に高が平10に同する取が担 1点 大清報の提供 1点 日点 日点 日点 日点 日点 日本 日本 日	

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

1点

目標設定項目			標	I		令和3年度			令和4年度			令和5年度				令和6年度	Ŧ	
(評価指標)			令和5年度															1
料金の仕組みやコスト		目標(B)		目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
情報の提供	,	,	2回/年以上	2回/年以上	実施(3回)	実施 3点	加点	実施(3回)	実施 3点	加点			(- (-)	加点			(= (=)	加点
(HP,水先案内に掲載)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	- -	-	- (p)	_ 	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- 3点	h) 45 === C	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- 3点	N 45 TO	中 (4 (5)	****	(D (D)	61.46 PECO	虫 纬 (5)	法	(D (D)	h) 45 === ==
経営効率化に関する		目標(B)		目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達放度	(D/B)	外的要因
取組情報の提供	2四/年以上 目標累計(C)	2回/年以上 目標累計(C)	. ,	2回/年以上	実施(2回)	実施 3点	加点	実施(2回)	実施 3点	加点	中纬用=1 (5)	\# 415 mm	(F (C)	加点	安结用=1 (c)	\# \t c	(5 (6)	加点
(HP,水先案内に掲載)	日信来計 (C)	日標系計 (C)	日信系訂 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度 (E/C) - 3点	0点	実績累計(E)	進捗度 (E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進抄及	(E/C)	
	ー 目標(B)	— 目標 (B)	日極 (B)	ー 目標(B)			外的要因	実 績 (D)		外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	法式府	(D/B)	外的要因
	日信(D)	日信(D)	日信(D)	日伝 (D)	天 禎 (D)	建风泛 (D/ D)	加点	天 禎 (D)	建成反 (D/ D)	加点	天 禎 (D)	建风反	(D/ B)	加点	天 禎 (D)	建风反	(D/ B)	加点
	口標電計(の)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加州	実績累計(E)	准性度	(E/C)	加黑
	日標来計 (C)	日信系計(C)	日信系訂 (C)	日信系訂 (C)	天祖糸司 (こ)	進抄及 (E/C)	0点	天祖糸司(口)	進抄及 (E/ C)		天祖糸司(C <i>)</i>	進抄反	(E/ C)	-	天根糸司(C <i>)</i>	進抄反	(E/C)	
	日捶 (D)	目標(B)	日 恒 (D)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
	日信(D)	日信(D)	日信(D)	日伝 (D)	大 (L)	连/成反 (D/ B)		大 ((D)	建城皮 (D/ B)		大 恨 (D)	建拟反	(0/6)	加点	大 恨 (D)	建规反	(0/ 6)	加点
	日標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	ліж	実績累計(E)	進捗度(E/C)	加州	 実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加州	実績累計(E)	准排序	(E/C)	加無
	District (C)	口标和(C)	District (C)	Distriction (C)	大根米il(L)	進抄及 (L/ C)		大根米il(L)	進沙技 (L/ C)	-	大根米司(L)	進抄反	(L/ C)	 	大根米司(口)	進抄反	(L/ C)	-
	日煙 (B)	目標(B)	日煙 (B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度 (D/B)	外的要因	 実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	凌战度	(D/B)	外的要因
	口(示 (D)	口(示 (D)	口(示 (D)	口(示 (D)	大順(0)	建成皮 (D/ D)	加点	大 (L)	连成技 (0/ 0)	加点	大 順 (D)	连风反	(0/0)	加点	大 慎 (D)	连风反	(0/0)	加点
	日標要計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	лит	実績累計(E)	進捗度(E/C)	тинт	実績累計(E)	進捗度	(F / C)	жим	実績累計(E)	准批度	(E/C)	лит
	шжжа (С)	<u>ы</u> жжа (с)	шъжен (С)	шжжа (С)	大根末町 (亡)	進沙及 (亡/ 亡/		大順末日 (亡)	延沙及 (L/ C/		大阪末町 (こ)	JE19/JQ	(L/ C)		大阪末町 (1)	足沙汉	(L/ C)	
■評価結果																		
	所	管評価				令和3年度			令和4年度			令和5年度				令和6年度	Ŧ,	
						いての情報、経営効率	化に関する取	・水道事業の仕組みにこれ	いての情報 経営効束	/レ/BB-ナフ Ep								
事業	【効率 業・取組の実	性評価】 施効率を評値	面する。		組み情報の提供を予定・事業の性質上、予算記	通り行いました。 †上及び執行はありませ。	んでした。	組み情報の提供を予定										
事美	業・取組の実		面する。			ナ上及び執行はありませ <i>。</i>	んでした。	組み情報の提供を予定	通り行いました。 †上及び執行はありませ、		予算効率		総合	☆評価	予算効率		総合	合評価
事業	業・取組の実	施効率を評値	面する。		・事業の性質上、予算語	↑上及び執行はありませ <i>。</i>		組み情報の提供を予定・事業の性質上、予算語	通り行いました。 †上及び執行はありませ	んでした。	予算効率 作業効率		総合	許価	予算効率 作業効率		総官	合評価
事美	業・取組の実	施効率を評値	面する。		· 事業の性質上、予算語 予算効率	+上及び執行はありませ, 3点 3点 3点	合評価	組み情報の提供を予定 ・事業の性質上、予算語 ・事業の性質上、予算語 予算効率	通り行いました。 †上及び執行はありませ 3点 3点 3点	んでした。				·評価 /10点				合評価 / 10点
事業・取組が目標	業・取組の実 評価の 「有効	施効率を評価 西結果 観点・結果		価する。	・事業の性質上、予算語 予算効率 作業効率 外的要因加点 ・水道事業の仕組みについて、 り組み情報等について、 「水先案内」及びホーム・	+ 上及び執行はありませ、 3点 3点 0点 6点 いての情報、経営効率 イラストや図表で分かりた	合評価 C /10点 化に関する取 すく広報紙	組み情報の提供を予定 ・事業の性質上、予算 ・事業の性質上、予算 ・予算効率 作業効率 外的要因加点 ・水道事業の仕組みに が組み情報等について、 「水先案内」及びホーム	通り行いました。 +上及び執行はありませ、 3点 3点 0点 6点 0にての情報、経営効率 イラストや図表で分かりた	合評価 C i/10点 化に関する取 pすく広報紙	作業効率				作業効率			.,,,,
	業・取組の実 評価の に有効 で達成す	施効率を評価 西結果 観点・結果		価する。	・事業の性質上、予算語 予算効率 作業効率 外的要因加点 ・水道事業の仕組みにごり組み情報等について、 「水先案内」及びホーム・・引き続き分かりやすいが	また。 3点 総 3点 の点 6点 いての情報、経営効率 イラストや図表で分かが、 ページで提供しました。 3容での情報提供となる	合評価 C /10点 化に関する取 すく広報紙	組み情報の提供を予定 ・事業の性質上、予算 ・事業の性質上、予算 ・予算効率 作業効率 外的要因加点 ・水道事業の仕組みに が組み情報等について、 「水先案内」及びホーム	通り行いました。 + 上及び執行はありませ、 1 上及び執行はありませ、 3 点 3 点 6 点 0 いての情報、経営効かり、 ベージで提供しました。 り容での情報提供となる	合評価 C i/10点 化に関する取 pすく広報紙	作業効率		0点/		作業効率		0点.	.,,,,
	業・取組の実 評価の 【有效 票等を達成す	施効率を評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		価する。	・事業の性質上、予算語 予算効率 作業効率 外的要因加点 ・水道事業の仕組みについて、 「水先案内」及びホーム ・引き続き分かりやすいです。	3点 総 3点 の点 6点 の点 6点 でいての情報、経営効かいてったや図表で分かかて、一ジで提供しました。 1 2 での情報提供となる 3点 総 3点 総 3点 総	合評価 C /10点 (化に関する取 かすく広報紙 ように努めま	組み情報の提供を予定 ・事業の性質上、予算語 ・事業の性質上、予算語 ・予算効率 作業効率 ・外的要因加点 ・水道事業の仕組みについて、「水先案内」及びホーム・・引き続き分かりやすいです。	通り行いました。 + 上及び執行はありませ *** ** ** ** ** ** ** ** **	合評価 C i/10点 化に関する取 oすく広報紙 ように努めま	作業効率 外的要因加点		0点/	/10点	作業効率 外的要因加点		0点	/10点

	維持	拡充		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】		計画に沿った事業の推進に際しては、開示される経営情報の わかりやすさに対して十分に配慮したうえで、利用者である市 民にとって本市水道事業の経営状況・環境に対する理解が深 まるような工夫を講じることが望ましい。		

				1	1											
施 策 VI	積極的な情報提供とお客さまニーズの把握			事業·取組名 VI – 4	放射性物質					所管課	経営管	管理課				
事業概要														<u> </u>		
	【事業の目的】	放射性物	質を含む浄水汚泥につい	て、厳重な保管・管理を	徹底するととも	らに、水道水・氵	河川水・浄水汚》	尼の放射性物質濃	度の検査結果	2、浄水場等における放	射線量などに	ついて、お客さ	まに対し情報	提供を行います。		
			令和3年度			ŕ	令和4年度			令和5年度	Ę			令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画 (予定)	・放射性物 ・通常発生 の有効利用 ・水道水・河の放射線量 ・ホームペー ・8,000bq	管:管理・処分、有効利用、 質を含む浄水汚泥の厳重が する200bg/kg以下の放射 方を継続。 可川水・浄水汚泥の放射性 はどの検査の継続。 ジ等による検査結果の情報 が関を超える放射性物質を よへの積極的な要望を継続。	は保管・管理・処分。 対性物質を含む浄水汚泥 物質濃度、浄水場周辺 な提供を継続。 含む浄水汚泥の処分に	・放射性物質・通常発生すの有効利用を・水道水・河川の放射線量な・ホームページ・8,000bq/kフいて、国・県・満願寺浄水	を含む浄水汚泥 る200bq/kg以 連継続。 川水・浄水汚泥の などの検査の継続 等による検査結! kgを超える放射性 への積極的な要 な場で保管している	果の情報提供を継続 性物質を含む浄水汚	・処分。 記む浄水汚泥 浄水場周辺 。 。 。 。 。 。 記の処分に える放射性物質	・放射性物質・通常発生すの有効利用を水道水・河川の放射線量な・ホームページ・8,000は円ので、国・県・阿賀野川浄倉む	・管理・処分、有効利用、検 を含む浄水汚泥の厳重な存 (3200bg/kg以下の放射性 組織続。 III水・浄水汚泥の放射性物 どの検査の継続。 等による検査も無収所報提 kgを超える放射性物質を含 よへの積極的な要望を継続。 か水場で保管している8,0001 DUT、国に協力し放射性物	管・管理・処分物質を含む浄水 質濃度、浄水場 供を継続。 の資水汚泥の処 のq/kgを超えるが	。 水汚泥 調辺 分に 女射性物質を				
過程	_	1			1											
	年度		令和3年度			f	令和4年度			令和5年原	Ę			令和6年度		
【予算·決算額】	予算額(a)			0 (182,837,250)			0	(212,336,000)			0 (140,	201,000)				
費用はどれくらい	執行額 (b)			0 (133,988,191)			0	(174,989,745)								
かけたか	執行率(%) (b) / (a)			-				_		#VALUE	!			#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対目標	目標	令和4	年度	対目標	目標	令和5年度	対	目標	目標	令和6年度	対	標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	444.6時間	219時間		219時間	196時	寺間		196時間							
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事職員数)	60人	40人	74.0%	40人	48)	٨.	74.5%	48人							
	単位あたり の作業 量(c/d)	7.4時間	5.5時間		5.5時間	4.1時	持間		4.1時間							
	(1人あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1))	(イ/ア)	(ア)	(1)	(1.	/ア)	(ア)	(1)	(1)	⁄ア)
③所管課分析評価	i															
■結果·効果																
	令和2年度実績		令和3年度			ŕ	令和4年度			令和5年度	E			令和6年度		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	厳重な保管・管理・処分、有効利用、検査、情報提供等の実施 ・放射性物質を含む浄水汚泥を厳重に保管・管理しました。 ・2000年/kg以下の放射性物質を含む浄水汚泥を有効活用しました。 ・水道水、河川水及び浄水汚泥の放射性物質濃度並びに浄水場周辺の放射線量を検査しました。 ・放射性物質濃度及び放射線量の検査結果をホームページ等で情報提供しました。	・放射性物質。 ・200bq/kg以・水道水、河川 放射線量を検・放射性物質。 しました。 ・8,000bq/k 省及び新潟県 ・満願寺浄水 浄水汚泥につい 法に規定する。	管理・処分、有効利用、検査 会合立浄水汚泥を厳重に保管 以下の放射性物質を含む浄水 前しました。 農度及び放射線量の検査結果 のを超える放射性物質を含む浄 に対して、日水協新潟県支部 場で保管している各,000bg/k いて、国が放射性物質濃度の 高を保管している各,000bg/k いて、国が放射性物質濃度の 高準値を下回ることが確認でき、 高を可くました。	管理しました。 汚泥を有効活用しました。 質濃度並びに浄水場周辺の 見をホームページ等で情報提供 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ は で は に で に で に で に で に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	・放射性物質を ・200bq/kg以 ・水道水、河川 放射線量を検査 ・放射性物質温 しました。 ・8,000bq/kg 省及び新潟県に ・満願寺浄水場	を含む浄水汚泥を は下の放射性物質 は及び浄水汚派 ではした。 豊度及び放射線 はながしました。 ではながないないないです。 はながして、日水協 場で保管しているが	量の検査結果をホー	ました。 有効活用しました。 並びに浄水場周辺の ムページ等で情報提供 この処分について、環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
	・8,000bq/kgを超える放射性物質を含む浄水 汚泥の処分について、環境省及び新潟県に対し て、日水協新潟県支部として要望書を提出しまし		予定を上回る 101%以上			アルを上凹る 90	どおり %~ %以下 予定を下回る 90%未満~		予定を上回 101%以上	90%~	予定を下回る 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%〜 100%以下	予定を下回る 90%未満〜	
	た。	厳重な保管・管理・気 検査、情報提供等の		1点	厳重な保管・管理・処: 検査、情報提供等の実	分、有効利用、 更施	1	点								
	1	1			1				1		1					

平均(A)

1点

平均(A)

平均(A)

1点

									新・マスターフラン	/ 争来評価官	埋シート									
目標設定項目			標			令和3年度	:			令和4年度				令和5年度	:			令和6年度	:	
(評価指標)	令和3年度						-								-				-	
汚泥保管施設に	目標(B)				実 績 (D)		(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
おける放射線量	開示	開示	開示	開示	開示	実施	3点	加点	開示	実施	3点	加点				加点				加点
測定結果の	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
情報開示の継続	-	-	-	-	-	-	3点	-7	-	-	3点									
放射性物質濃度の	目標(B)		目標(B)	-	実 績 (D)		(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
分析調査結果の	開示	開示	開示	開示	開示	実施	3点	加点	開示	実施	3点	加点				加点				加点
情報開示の継続	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	-	-	-	-	-	-	3点	-7	-	-	3点									
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点				加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度((E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点				加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度((E/C)	-	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	-	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)	月標(B)	月標(B)	月標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
					24 124 127	72.7412	(= / = /	加点	24 124 127	72.702	, _,	加点	24 124 127	72172	, .,	加点	27 .52 (= /	72.77.2	, .,	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
					2 (1)(1)(2)	72.5	(_, _,		20001121	~	, _,		20,000,000	122.52	(_, _,		2 (1)((1)(1)			
■評価結果																			ll.	
	所管	評価				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度		
					・今年度予定されていた	取組内容に	ついては, 言	十画通り実施	・今年度予定されていた	取組内容につ	いては, 計	画通り実施								
					しました。				しました。											
	【効率性	性評価】																		
事	業・取組の実施	一効率を評価	西する。																	
	評価	結果			予算効率	3点	総	合評価	予算効率	3点	総合	許価	予算効率		総合	評価	予算効率		総	合評価
	前(本小年	見点・結果			作業効率	3点	į	С	作業効率	3点		С	作業効率				作業効率			
	a十1叫り街	元只•和禾			外的要因加点	0点	(6点	/10点	外的要因加点	0点	6点/	/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
					・「汚泥保管施設における				・「汚泥保管施設におけ		_									
					濃度の分析調査」の結果	見について、お	含さまに対	して適切に情	濃度の分析調査」の結果	見について、お?	客さまに対し	て適切に情								
					報を開示しました。				報を開示しました。											
	【有効性	性評価】			・国による満願寺浄水場				・満願寺浄水場で保管											
事業・取組が目標	標等を達成する	るために有効	かであったか評	価する。	定について、その結果をお	客さまに適け	切に情報を	開示しました。	を、特措法に基づく指定	解除に伴い、	堇業廃棄物	かとして処分								
									しました。											
										,				1						
	評価結果				達成度	3点		合評価	達成度	3点		許価	達成度		総合	許価	達成度		総合	合評価
	評価の観	見点・結果			進捗度	3点		C	進捗度	3点		C	進捗度				進捗度		1	
	p.,				外的要因加点	0点	[6点	/10点	外的要因加点	0点	6点/	/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
④ 2 次評価結果																-				
						維持				維持										
					40	中京洋へり	λ=π		7.0	7. 当 京 辛 へ W i	ent.		67	7世帝学人4	\=:T		70	7. 当 京 辛 人 4	\=m	

	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

						新・マン	スタープラン事業評価	画管理シート						
·	技術・知識を有する人材の確保と育成			事業·耳	双組名 VII − 1	人材育成と	専門性の強化						所管課	総務課
1)事業概要	【事業の目的】		は専門性が高いため 重要となります。	かに継承すべき	技術が多く、施設	殳整備計画の 第	策定、設計施工管理	、危機管理および現場対応	力など、これら	はいずれも高度な知識と終	経験が求められます。事業	の持続のためには	、専門知識と実務経	験を併せ持つ職員の確
		PRC13/3//3 I	令和3	3年度			令和4年			令和5年度			令和6年度	
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	・技術系新 ・新規採用 配転を行い ○各種研修 ・新潟市水 実施し、研 ○水道研修		自採用方式を ーションの指針 本計画に基づ は直しながら充 重用	継続します。 けに従って教育 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	・技術系新 ・新規採用 配転を行い 〇各種研修 ・新潟市水 実施し、研 〇水道研修	規採用職員の独自哲 職員のジョブローテージ ます。 の実施 道局職員研修基本記		・技術系新 ・新規採用 配転を行い ○各種研修 ・新潟市水 実施し、研 ○水道研修		方式を継続します。 の指針に従って教育 に基づく研修を確実に がら充実を図ります。			
2過程														
	年度		令和3	3年度			令和4年	度		令和5年度			令和6年度	
【予算·決算額】	予算額(a)				4,114,000)		5,932,000			6,470,000			
費用はどれくらい	執行額 (b)				4,034,682	2		3,044,625						
かけたか	執行率(%) (b) / (a)				98.1%	o .		51.3%			0%		#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度		対目標	目標	令和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	1900時間	1900時間			1900時間	1900時間		1900時間					
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (作業従事職員数)	1人	1人		100%	1人	1人	100%	1人					
	単位あたり の作業量 (c/d)	1900時間	1900時間			1900時間	1900時間		1900時間					
	(1人年あたりの年間作業時間)	(ア)	(1)		(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
③所管課分析評価								<u>'</u>		"		<u>'</u>		
■結果·効果	令和 2 年度実績	Ι	令和3) 左座		1	∆ 1∏4/⊤	· 庄	I	令和5年度			令和6年度	
	・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続	○技術系新規	アイル3 現採用職員の独自扱		の実施	○技術系新	令和4年 現採用職員の独自採用			71和3年度			7110年度	
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	・1交帆未射が成米川戦員の独自採用/フ式を整約 するとともに、既卒者及び民間企業等経験者など を対象とした追加募集採用試験を実施し、人材 の確保に努めました。 ・新規採用職員(技術職)のジョブローテーション の指針に従った教育配転を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、職 員研修基本計画に基づき可能と判断した研修を 行いました。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、水 道研修センターについては、計画的な研修に活用 したほか、積極的な実施を推奨している職場内O FFJ Tの会場としても活用しました。	・技術系新規 者及び民間企 実施するなど、・新規採用職 育配転を行い 〇各種研修の ・新型コロナウ・ に基づき、可能 〇水道研修セ ・新型コロナウ・	採用職員の独自採業等経験者などを対し、人材の確保に努めまました。 りました。 り実施 イルス感染症対策を もと判断した研修を行 こンターの効果の連邦 イルス感染症対策を も関係が ものが ものが ものが ものが ものが ものが ものが もの	用方式を継続 対象とした追加 ました。 aブローテーショ: 講じながら、職 テいました。 <u>目</u> :講じながら、計	するとともに、既卒 募集採用試験を ンの指針に従った教 議員研修基本計画 画的な研修に活 内OFF-JTの会場と	・技術系新規 者及び民間介 実施するなど (* 新規採用職 育配転を行い ・新型コロナウ に基づき研修 ・新型コロナウ 用したほか、利 しても活用しま	採用職員の独自採用: 企業等経験者などを対象 人材の確保に努めまし 良(技術職)のショブ ました。 シ実施 イルス感染症対策を講 多を行いました。 2・2・ターの効果的運用 イルス感染症対策を講 も極めな実施を推奨して	方式を継続するとともに、既卒 及とした追加募集採用試験を た。 コーテーションの指針に従った教 じながら、職員研修基本計画 じながら、計画的な研修に活 にいる職場内OFF-JTの会場と		予定を上回る	予定どおり		予定を上回る	予定どおり
			101%		00%丰港へ		101%以			101%以上	90%~ 100%以下 90%未満~		101%以上	90%~ 100%以下 90%未満~
		技術系新規採用	職員の独自採	- 1		技術系新規採用	職員の独自採	1.=						

技術系新規採用職員の独自採 用、教育配転

水道研修センターの運用

平均 (A)

各種研修の実施

1点

1点 1点

1点

平均(A)

平均(A)

1点

1点

0.7点

0点

技術系新規採用職員の独自採 用、教育配転

水道研修センターの運用

平均 (A)

各種研修の実施

									新・マスタープラン	/事業評価管理シート	•								
目標設定項目		E	標			令和3年度	:			令和4年度			令和5年度	:			令和6年度	:	
(評価指標)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		中和3牛皮				77和44-1支			71113年度	1			71104点	1	
		目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
年間内部研修実施時間 (延べ年間研修時間/	18.6時間/人		、20.2時間/人	、21.0時間/人	、 7.9時間	42.5%	1点	加点	12.4時間	63.9% 1点	加点				加点				加点
年度末職員数)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度 (E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	-	_	_	_	-	_	1点	O,AX	-	- 1点	O,M.								
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	_
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
			,	,				加点	,		加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
								- 0点							1				
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
		,	,					加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
■評価結果																			
	所管	評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
					・新型コロナウイルス感染				・新型コロナウイルス感染		予算の範囲内								
					で、必要な研修を実施し				で、必要な研修を実施し	<i>、</i> ました。									
					修を中止したため、費用	や作業量に	付する実施	効率は悪化し											
	2775 1 1	生評価】			ました。														
事	業・取組の実施	一一一一一一一	曲する。																
	=	結果			予算効率	2点	643	合評価	予算効率	4点 総	· 合評価	予算効率		442.4	計評価	予算効率		443	今評価
	計山山	加木			作業効率	2点		D D	作業効率	3点	В	作業効率		市の口	16十1四			#VCA	口計1Щ
	評価の観	見点・結果			外的要因加点	0点	-	し i/10点	外的要因加点		D 5/10点	外的要因加点		0点	/10点	外的要因加点		0年	/10点
					・新型コロナウイルス感染				・新型コロナウイルス感染	- 7.111		万可安因加黑		U.H./	710無	71可安因加点		UH	/ 10無
					研修を実施しましたが、名				専門別研修などを計画										
					ト参加型研修などが中山				を推奨し報告漏れのない										
	【 左 六 h h	生評価】			保はできませんでした。		(1)5,00)		時間を達成することはで		K LIKOMID								
事業・取組が目標			hでちったかぎ	/ボオス	PRIO CC 0 C70 C07C0				- 110 CXE/30 7 & CC10 C	20,270 20720									
尹耒、以祖川口位	宗寺で建成する)/co/IC/HX/	リしのソルコ	-лш Э О∘															
	評価	結果			達成度	1点	総	合評価	達成度	1点 総		達成度		総合	計評価	達成度		総	合評価
	前(本小年	点·結果			進捗度	1点		Е	進捗度	1点	Е	進捗度				進捗度			
	a十1叫り街	点, 和未			外的要因加点	0点	2点	i/10点	外的要因加点	0点 2点	5/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
④2次評価結果																			
						維持				維持									
					<u> </u>	営審議会総	⋛ 重亚		#	Y 営審議会総評		#	Y 学審議会総	€重 亚		4	子宮審議会総	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、コロナ禍が 長期化していることもあり、必要に応じて、多様な方法・手段に より職員の資質向上のための各種取り組みの実施を検討する			
[方向性]	こと	り組みの実施を検討するだけでなく、研修等人材育成に関する各種取り組みの体系化を図ることが望ましい.		

	技術・知識を有する人材の確保と育成			事業·取組名	VII – 2	諸外国との水	道技術研究交流							所管課	総	务課
①事業概要	【事業の目的】		道事業は高度な技術の 現野と見識を持った人			、世界のトップラ	シナーとして国際に	的にも高い評値	面を得ていることか	ら、その技術・	経験を国際貢献・国際	協力に生かすことが期待さ	れています。本市におい	ても、水道技術	の国際交流	を通した中
			令和3年度				令和4	l年度			令和5年度			令和6年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	・日米台水道・自治体水道〇インターンシッ	学生のインターンシップラ	ームへの参加		•水道技術	等への積極的な参 国際シンボジウムへ 直国際展開プラッ	の参加	è⊅O	•水道技術	等への積極的な参加 国際シンボジウムへの参 道国際展開ブラットフォ					
②過程										1						
	年度		令和3年度	Ę			令和4	l年度 			令和5年度	Ę		令和6年度		
【予算・決算額】	予算額 (a)				299,973	8			127,073			127,073				
費用はどれくらい かけたか	執行額 (b)				0)			0							
איזיי	執行率(%) (b)/(a)				0%	,			0%					#DIV/0!		
	年度	目標	令和3年度	対	目標	目標	令和4年度		対目標	目標	令和5年度	対目標	目標 令者	和6年度	対目	目標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	9時間	6時間			6時間	3時間			6時間						
時間(人員)は どれくらいかけたか	期間 (d) (作業従事職員数)	1人	1人	6	6%	1人	1人		50%	1人						
	単位あたり の作業量(c/d)	9時間	6時間			6時間	3時間			6時間						
	(1人あたりの年間作業時間)	(ア)	(イ)	(1.	/ア)	(ア)	(1)		(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	P) (1)		
③所管課分析評価 ■結果·効果																
	令和2年度実績		令和3年度	Ę			令和4	年度			令和5年度	E		令和6年度		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	○コロナ禍の影響により、実際に対面しての会議はありませんでしたが、代替開催されたWeb会議に参加し、先進都市の諸外国への貢献事例や課題、方向性等の情報収集を行いました。 ・自治体水道国際展開プラットフォームに2名Web参加(令和3年1月21日実施) ○外国人留学生のインターンシップは、コロナ禍に伴いWeb実施及び縮小実施となり、当局においての受け入れはありませんでした。(令和3年2月	でしたが、代替 諸外国への貢献 した。 ・日米台水道は ・自治体水道は 和4年1月12日 〇外国人留学	献事例や課題,方向 地震対策ワークショップ 国際展開プラットフォー 日実施) 全生のインターンシップは	に参加し、 性等の情報が (中止) ムに1名Web	先進都市の 収集を行いま か参加(令 伴いWeb実	でしたが,代 諸外国への貢 した。 ・水道技術国 ・自治体水道 和5年1月11	際シンポジウム (「 国際展開プラット	会議に参加し 方向性等の情 中止)	,先進都市の 報収集を行いま							
	13日 成果発表会にはWeb参加)	でした。(令和	D4年3月2日 成果発 予定を上回る	予定どおり	予定を下回る	,	予定を		」 一丁 走を 下凹る		予定を上回る			予定を上回る	予定どおり 90%~	予定を下回る
			101%以上	100%以下	90%未満~		101%	100%	(下 90%未満~		101%以上	100%以下 90%未満~		101%以上	100%以下	90%未満~
		自治体水道国際展開プラット		1点	0.5	水道技術国際シンボ			0点							
		国際インターンシップ	フの受け入れ		0点	自治体水道国際展開プラッ	ナトフォームへの参加	1点								
				+												
		平均(4	Δ)	0.5点		平均(A)	0.5	ā	平均((A)		平均(A)			

									初「ヘハノーノフ	/ 季栗評価管埋シー	•								
目標設定項目			標			令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
(評価指標)				令和6年度				hi 46-mm	÷ (+ (-)		hl / h =====	(+ (-)			- LI / L	÷ (+ (-)		-	b) the mean
		目標(B)			実 績 (D) 1人	達成度	(D/B) 1点	外的要因 加点	実 績 (D) 2人	達成度 (D/B 200% 5点		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点
国際研修等への 参加人数	3人	1人 目標累計(C)	2人 目標累計 (C)	2人 目標累計 (C)	実績累計(E)	33% 進捗度		加只	実績累計(E)	200% 5点 進捗度 (E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E /C)	ル!!!!	実績累計(E)	准性度	(E/C)	ル!!!!
多加入致		口(元)	Distriction (C)	口标来(C)	大根米司 (L)	進抄 反	1点	0点	大根米司(L)	<u> </u>	()占	大順米司(L)	進沙反	(L/ C)		大根米司(L)	進沙反	(L/ C)	
	日標 (B)	目標 (B)	日標 (B)	日標 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B	-	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
	口际 (0)	口味 (0)	口水 (D)	口派 (0)	X 192 (D)	ÆIMIX	(5) 5)	加点	X 152 (D)	是现象 (5) 5	加点	X 192 (D)	Æ JANIQ	(5) 5)	加点	X 192 (D)	是冰灰	(5) 5)	加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
		_						0点											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度(D/B	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
								加点			加点				加点				加点
	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
								-7											
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
					ch/# == 1 /c)	\44.11F.FF	(5 (0)	加点	D/# E = 1 (c))#### (F (6)	加点	D4: H-1 (F)	\44.11E PT	(5 (6)	加点	D/4 H = 1 / (5)	\44.11F.m=	(5 (0)	加点
	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	_	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	_
	日煙 (B)	目標(B)	日煙 (B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度	(D / B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D / B)	外的要因
	口(示 (D)	口(示 (D)	口伝(D)	口(示 (D)	天 / (D)	连成反	(0/0)	加点	大 順 (D)	建成度 (D/ D	加点	大 (L)	连风反	(0/0)	加点	大 (L)	连风反	(0/0)	加点
	目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	жи	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	жи	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	жи
					2 (1)(1)(2)	12312	(_, _,		> (1)(1)(1)(1)(1)			20000000	~	(_, _,		2 5/2/1781 (-)		(_, _,	
■評価結果			1							l l		J							
	所	管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
事	【効率 業・取組の実	区性評価】 施効率を評(西する。			体水道国際)諸外国への	展開プラット	フォームへの	・コロナ禍のため,対面の したが,Webによる自治 参加により,先進都市の を収集することができまし	体水道国際展開プ)諸外国への貢献事	ラットフォームへの								
	評化	価結果			予算効率	3点	総合	合評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率		総合	>評価	予算効率		総	合評価
	₩/無の	観点·結果			作業効率	3点		С	作業効率	3点	В	作業効率				作業効率			
	a∓1回の	観只·結果			外的要因加点	0点	6点.	/10点	外的要因加点	0点 6	点/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
事業・取組が目札		か性評価】 るために有効	かであったか評	で価する。	・コロナ禍の影響により, た会議においては,報告 して,国際的視野及び外 くことができました。	内容や参加	者間での意	見交換を通	・コロナ禍の影響により, た会議においては, 報告 して, 国際的視野及び くことができました。	内容や参加者間で	D意見交換を通								
	評	価結果			達成度	1点	総合	合評価	達成度		総合評価	達成度		総合	>評価	達成度		総	合評価
	評価の	観点·結果			進捗度 外的要因加点	1点	4	E /10=	進捗度	5点	A 0点 /10点	進捗度		۷-۲-	/10 占	進捗度		0.1	/10 <i>=</i>
(4) 2 次評価結果					外的妥因加点	0点	2点。	/10点	外的要因加点	0点 1	0点/10点	外的要因加点	1	U点/	/10点	外的要因加点	1	U点	/10点
マムグロ側和木						維持				維持									
					終	営審議会総	:評平		糸	営審議会総評		*	Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y	注:		i i	—————————————————————————————————————		

	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

施 策 VIII	環境に配慮した事業運営			事業·取組名 V	лт Э ¬Ь'	道局環境計画の領	ニティ###						所管課	経営管理課
				尹未·以組名 V	/Ⅲ-2 水	. 坦何垛児計 凹(0)す	R.C.任性						川官誄	在名官理課
①事業概要		水道局として	て環境負荷の少ない水	作りを推進するた	-め. 環境負荷	荷低減に向けた取	り組みを推進して	- いきます。						
	【事業の目的】	13.12.3.00	() () () () () () () ()	11 7 63222 7 676	C+5()()()()()	1-3 EM-WICE 3177C-D	JAMAN CILLEGO C							
			令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度	
			[ネルギー等の有効利用			再生可能エネルギ				エネルギー等の有効利用				
		・施設発備に検討。	こ併せ、再生可能エネル	十一寺の有効活		・施設釜佣に分せ、 検討。	冉生可能エイル	ギー等の有効活用を	・施設整備検討。	篇に併せ、再生可能エネル	キー寺の有効活用を			
1	【取組内容と計画】		書の作成・公表			環境報告書の作品				書の作成・公表				
1	「事業・取組み」の		書の作成および公表を実 −対策の推進	ミ施します。		・環境報告書の作品 省エネルギー対策の		[施します。		5書の作成および公表を実 ギ−対策の推進	[施します。			
	内容と計画(予定)	・施設整備に	こ併せ省エネルギー型の	施設・設備に切り	り替え・	・施設整備に併せ省		施設・設備に切り替え	•施設整備	前に併せ省エネルギー型の	施設・設備に切り替え			
ı		ます。			₹	ます。			ます。					
②過程														
	年度		令和3年度				令和4年度			令和5年度			令和6年度	
【予算·決算額】	予算額 (a)				0			0			0			
費用はどれくらい	執行額 (b)				0			0						
かけたか	執行率(%) (b) / (a)				-			-		#DIV/0!			#DIV/0!	
	年度	目標	令和3年度	対目標	Ē	目標	和4年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度	対目標
F2+02 (1 ##	総作業量(c)	2.40±88	2.40±88			2.40±88	0.40±88							
【時間·体制 (人員)】	(実働時間)	24時間	24時間			24時間	24時間							
時間(人員)は	期間(d)													
どれくらいかけたか	(従事職員数)	1人	1人	100%	0	1人	1人	100%						
	単位あたり	0.40+88	0.45+88			0 4 n+ HH	0.45+88							
	の作業量(c/d)	24時間	24時間		2	24時間	24時間							
	(1人あたりの実働時間)	(ア)	(1)	(イ/ア	')	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)
③所管課分析評価				•					•					
■結果·効果	A TD 0 (mm)/d=		A 100 Fr				A 10 4 F F		1	A 105 (5.15)			↑ TR 6 Fr Fr	
	令和2年度実績 ・環境報告書を作成し、ホームページ等に公表す	.严控起生事:	令和3年度 を作成し、ホームページ		¥ . تا	= 培起生津を作成	令和4年度	等に公表するなど, 環		令和5年度			令和6年度	
	るなど、環境施策の情報提供を行いました。		をTFIXO、ホームペーン B提供を行いました。	寺にひひりのは		施策の情報提供を		寺に五衣するなど、塚						
			提案による民間事業者					との再生可能エネルギー						
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は			:係る協定に基づき、満原 !有モデル(PPA)に					三者保有モデル(PP た太陽光発電設備の運						
事業・取組の結果は		設置しました。				を開始しました。								
				고는데				구수(thin		Т	マウじton			マウじかり
			予定を上回る 101%以上	90%~	定を下回る)%未満~		予定を上回る 101%以上	90%~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 90%未満~		予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 90%未満~
		·水道尼環境型		100%以下		k 消島環境計画の酒		100%以下		101705/1	100%以下		1017094	100%以下
	・水道局環境計画の運用 1点 ・水道局環境計画の運用 1点						1/4/							

・環境報告書の作成・公表

省エネルギー対策の推進

平均(A)

1点

1点

1点

・環境報告書の作成・公表

・省エネルギー対策の推進

平均(A)

1点

1点

1点

平均(A)

								新・マスタープラン	/事業評価管理	シート								
目標設定項目		標			令和3年度				令和4年度			令和5年度	Ę			令和6年度		
(評価指標)	令和3年度 令和4年度 目標(B)目標(B)	号相5年度 目標(B)		実績(D)	達成度	(D (D)	N 45 #F	実 績 (D)	達成度(D	/D) bl 4b=	実績(D)	***	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D (D)	外的要因
環境報告書の	作成·公表 作成·公表			夫 楨 (D) 作成·公表	実施	3点	外的要因 加点	夫 槇 (D) 作成·公表		/B) 外的要I 3点 加点	大 模 (D)	建风层	(D/B)	加点	夫 禎(D)	建	(D/B)	加点
作成・公表	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計 (C)		実績累計(E)		(E/C)	лит	実績累計(E)	進捗度(E	5/11	実績累計(E)	维性度	(E/C)	加黑	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加州
TFJX*AAX	日保来記(C) 日保来記(C)	日保来計 (C)	日保来訂 (C)	天祖糸司 (C)	進抄及	3点	0点	天祖糸司 (こ)	進抄及 (C)	3点 0点	天祖糸司(C)	進抄反	(E/ C)		天祖糸司 (こ)	進抄反	(E/ C)	
	目標 (B) 目標 (B)	日無 (D)	日無 (D)	実 績 (D)		(D/B)	外的要因	 実績(D)	達成度(D		型 実績(D)	安代帝	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
	日保(D)日保(D)	日信 (D)	日伝 (D)	大 (E (D)	建以反	(0/0)	加点	大 (D)	建城皮 (D.	加点	A (((())	建风反	(0/ 0)	加点	大 (E (D)	建冰皮	(0/ 6)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	日煙要計 (C)	日煙要計 (C)	実績累計(E)	准排度	(E/C)	лит	実績累計(E)	進捗度(E.		実績累計(E)	淮 排 使	(E/C)	лит	実績累計(E)	准排度	(E/C)	лит
	□196.9Kell (C) □196.9Kell (C)	Districted (C)	□1 3c3tc a1 (C)	大根米司(L)	進沙 皮	(L/ C)	0点	大根米il (L)	進沙皮 (L)	<i>/</i> C)	大順米司(L)	進抄反	(L/ C)	-	大順米il(L)	進抄反	(L/ C)	
	目標(B)目標(B)	日標 (B)	日煙 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D	/B) 外的要	因 実績(D)	達	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
	日保(D)日保(D)	日信(D)	日保 (D)	大 (E (D)	建以反	(0/0)	加点	大 (D)	建城皮 (D.	加点	以 大順(D)	建风反	(0/ 0)	加点	大 (E (D)	建冰皮	(0/ 6)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標累計(C)	D#### (C)	実績累計(E)	准排度	(E/C)	ліж	実績累計(E)	進捗度(E		実績累計(E)	准性度	(E/C)	лж	実績累計(E)	進捗度	(E /C)	лиж
	日保来記(C) 日保来記(C)	日保米il (C)	日保来計 (C)	大根米司(L)	進沙 皮	(L/ C)	0点	大根米il (L)	進沙皮 (L)	<i>/</i> C)	大順米司(L)	進抄反	(L/ C)	-	大順米il(L)	進抄反	(L/ C)	
	目標(B)目標(B)	日極 (b)	日梅 (b)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D	/B) 外的要	国 実績(D)	海战市	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D /B)	外的要因
	口惊(D) 口惊(B)	口伝 (D)	口伝 (D)	大 恨 (ロ)	建拟反	(0/0)	加点	大根(リ)) 建/以/文(D	加点	メ (D)	建拟反	(0/0)	」外的安因	大根(ロ)	建拟技	(0/0)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	D### (C)	D#### (C)	実績累計(E)	光华庄	(E/C)	ліж	実績累計(E)	進捗度(E.		実績累計(E)	241年庄	(E/C)	лж	実績累計(E)	光 排序	(E/C)	лиж
	日保米計(C) 日保米計(C)	日保米il (C)	日保来訂 (C)	天祖糸司 (C)	進抄反	(E/ C)		天祖糸司 (こ)	進抄及 (C)	/ C)	天祖糸司(C)	進抄反	(E/ C)		天祖糸司 (こ)	進抄反	(E/ C)	
	目標(B)目標(B)	口捶 (D)	口捶 (D)	実 績 (D)	海代府	(D/B)	N WITTER	実 績 (D)	達成度(D	/D) N 65 m	因実績(D)	海代府	(D/B)	となる	実 績 (D)	達成度	(D /B)	b) shares
	日信(D)日信(D)	日信(D)	日信(D)	天 根 (D)	连风反	(D/ B)	外的要因 加点	天 禎 (D)	建成反 (D.	/B) 外的要	以 天 根 (D)	建双反	(D/ b)	外的要因 加点	天 禎 (D)	建风反	(D/ B)	外的要因 加点
		Dimmel (a)	Dimmel (a)	実績累計(E)	光华庄	(E/C)	ル!!!!	実績累計(E)	進捗度(E.		安徳田弘 (5)	\#+\t=\\	(E/C)	加炽	安徳田弘 (┏)	進捗度	(F (C)	ル!!!!
	目標累計(C)目標累計(C)	目標系計 (C)	目標系計 (C)	夫禎糸計 (C)	進抄及	(E/C)		夫禎糸訓(C)	進抄及 (E)	/ C)	実績累計(E)	進抄及	(E/C)	-	実績累計(E)	進抄及	(E/C)	
 ■評価結果																		
■ 評価相未				Ι	令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度	:	
	7月目計1四			・環境計画の運用や環境			マウ添り中	・環境計画の運用や環境		ハまもマウほりま		7/11/5	<u> </u>			7110年度		
				施しました。	見報古音の作	FDX・ム衣で	丁上地リ天	・現現計画の運用で現場施しました。	見報古音のFM	・公衣をアル通りま	•							
				・事業の性質上,予算	計 上7377時4	テけありませ	んでした	・事業の性質上、予算	計上及7時4元(ナ	ありま け んでした								
	【効率性評価】			子来の江東工, 丁卉	11 11/2/0 4/11	1100000000	10 CO/Co	于来の正真工, 丁卉	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3756 670 60768								
車	【効率性評価】 禁・取組の実施効率を評値	ボオス																
尹	*未・収組の天肥効率を計1	Щ9る。																
	評価結果			予算効率	3点	2 公子	今評価	予算効率	3点	総合評価	予算効率		終台	今評価	予算効率		総	合評価
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			作業効率	3点		С	作業効率	3点	С	作業効率		uncy I	I IIM	作業効率		4404	- # 1 IIII
	評価の観点・結果			外的要因加点	0点	4	/10点	外的要因加点	0点	6点/10点	外的要因加点		0点。	/10点	外的要因加点		0点	/10点
				・環境報告書の策定				・環境報告書の策定,	-7111				JAN /	////	71-75 H/M	1	- JAN	, ==,,,,,
				て市民に情報提供を行		-X-700057KC		て市民に情報提供を行		JUNESKC 2012KIC 2 0								
				・進捗度は事業の性質		ませんでした		・進捗度は事業の性質」		んでした。								
	【有効性評価】			200 00000						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
事業・取組が日	標等を達成するために有効	かであったか証	価する															
子来 4000000	保守で生成するだめに日か	1 (0))/()	ш э оо															
	輕価結 里			達成度	2片	\$42.5	今評価	達成度	3占	総合評価	達成度		\$\\\\	今!評価	達成度		松	合評価
	評価結果			達成度	3点		今評価 C	達成度	3点	総合評価	達成度		総合	5評価	達成度		総	合評価
	評価結果 評価の観点・結果			達成度 進捗度 外的要因加点	3点3点		今評価 C ✓10点	達成度 進捗度 外的要因加点	3点 3点 0点	総合評価 C 6点/10点	達成度 進捗度 外的要因加点			合評価 ✓10点	達成度 進捗度 外的要因加点			合評価 /10点

42	次評	価結果
----	----	-----

2 次評価結果				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き、計画に沿って事業を推進すること.	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				

施 策 VIII	環境に配慮した事業運営			事業・取	祖名	VII − 1	建設副産物	の再利用促	進						所管	管課	技術管	理室
①事業概要																		
	【事業の目的】	建設副産物	物の再利用により、CC	2排出量の	削減	や省エネル	ギー化を図り、	環境保全へ	の社会的責	任を果たします。								
			令和3年	度					令和4年度			令和5年度			令和6	5年度		
	【取組内容と計画】 「事業・取組み」の 内容と計画(予定)	の検討 ・建設リサイリート廃材ます。 ・建設発生検討し、現	土の有効利用促進、 (クル法に基づき、アス: を再生ブラントにて再! 主土について、リサイクル 見場内で掘削土を改良)フィールド提供を行い	ファルト廃材 資源化する。 率向上のたまする機械の	および ことを約 めの方)開発	コンク 継続し 5策を や高 p H	の検討 ・建設リサーリート廃材ます。 ・建設発生検討し、3	イクル法に基で を再生プラン E土について、 現場内で掘削	びき、アスファル トにて再資源 リサイクル率 リ土を改良す	イクル率向上方策 ルト廃材およびコンク 原化することを継続し 向上のための方策を る機械の開発や高 p H 打技術の開発を促進し	の検討 ・建設リサーリート廃材ます。 ・建設発生検討し、5	土の有効利用促進、リカイル法に基づき、アスファイターを再生プラントにて再資。 主主について、リサイクル率 見場内で掘削土を改良す カフィールド提供を行い、第	ルト廃材およびコンク 源化することを継続し 向上のための方策を 「る機械の開発や高 p H					
②過程																		
	年度		令和3年	度					令和4年度			令和5年度			令和6	6年度		
【予算·決算額】	予算額 (a)					(D				0		0					
費用はどれくらい	執行額 (b)					(D				0							
かけたか	執行率(%) (b) / (a)					_	-			-	_	#DIV/0!			#DI	V/0!		
	年度	目標	令和3年度		対目	標	目標	令和4	 l年度	対目標	目標	令和5年度	対目標	目標	令和6年度		対目	 i標
【時間·体制 (人員)】	総作業量(c) (実働時間)	10時間	10時間				10時間	101	寺間		10時間							
時間(人員)はどれくらいかけたか	期間 (d) (従事職員数)	2人	2人		100	%	2人	2.	人	100%	2人							
	単位あたり の作業量 (c/d)	5時間	5 時間				5時間	5 時	持間		5時間							
	(1人あたりの実働時間)	(ア)	(イ)		(1/	ア)	(ア)	(1	()	(イ/ア)	(ア)	(1)	(イ/ア)	(ア)	(1)		(1/	ア)
③所管課分析評価								I			•		*					
■結果·効果											1			1				
	令和 2 年度実績		令和3年						令和4年度			令和5年度			令和6	5年度		
【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	・建設リサイクル法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化しました。(再生率100%) ・平成30年度より、建設副産物に関する集計機関が変更されたことにより、土質改良による発生土のリサイクル率抽出について従前の方法(改良土採用工事の発生土量における採用率)では算出できななったことから再生率については、全工事における発生土の土質改良の割合となる。(再生率1.6%) ・建設発生土については、最終処分を必要とする発生土が少なかったこともあり、改良土を含	保化					原材を再生プラントにて再資源化しました。 (再生率100%) ・建設発生土については、最終処分を必要とする発生土が 少なかったこともあり、改良土を含む有効利用率は99.6%と なった。 ・建設副産物全体のリサイクル率は99.7%と昨年度より更				交換						▼ ≑⊌ton	
	む有効利用率は96.2%となった。 ・建設副産物全体のリサイクル率は97.2%と高い達成率となった。	建設発生土のの促進	予定を上區 101%以 D有効利用 2点		~]	予定を下回る 90%未満へ	,	コのリサイクル	予定を上回る 101%以上 2点	予定どおり 90%~ 100%以下 90%未満						A N F		予定を下回90%未満

平均(A)

2点

平均(A)

平均(A)

2点

								新・マスタープラ	ン事業評価管理シー	٢								
目標設定項目	E	標			令和3年度	:			令和4年度			令和5年度	:			令和6年度		
(評価指標)	令和3年度 令和4年度					-			1-14 - 1-24								-	
				実 績 (D)	達成度		外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)		実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
建設副産物の	85% 85%	85%	85%	99.7%	117.3%		加点	94.1%	110.7% 5点	加点				加点			ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	加点
リサイクル率	目標累計 (C) 目標累計 (C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)		(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	_
		-	- (-)	- (a)	- *	5点	ti th mm	- th (P)	- 5点		中 (4 (5)	\± -4 r>	(5 (5)	61.46-TE	p (# (p)	\# - \ ==	(5 (5)	b) th men
	目標(B)目標(B)	目標 (B)	目標 (B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)		実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
			Dimmel (e)	中纬田=1 (5)	かれた中	(F (C)	加点	安结用引 (5))##库 (F (6)	加点	安徒用=1 /c)	・光北に広	(5 (6)	加点	中纬田三 (5)	*#北京	(5 (6)	加点
	目標累計(C)目標累計(C)	目標系計 (C)	目標系計 (C)	実績累計(E)	進抄及	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進抄及	(E/C)	-
	目標(B)目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因
							加点			加点				加点				加点
	目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	
							0点											1
	目標(B)目標(B)	目標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因
							加点			加点				加点				加点
	目標累計(C) 目標累計(C)	目標累計 (C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E/C)	_
		D# (5)	D# (D)	r (# (p)	\± -4\+	(D (D)	hi /	r (# (p))±-4-5 (5 (5)	h! / h =====	n (# (p)	\± -\-	(5, (5)	hi 45-77-77	r (# (p)	\# -b -rh	(5 (5)	h) 46-77-77
	目標(B)目標(B)	日標(B)	目標(B)	実 績 (D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点	実 績 (D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点	実 績(D)	達成度	(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)目標累計(C)	口標電計 (0)	口標電計 (C)	実績累計(E)	准性度	(E/C)	加州	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度	(E /C)	加州	実績累計(E)	准性度	(E/C)	加州
	日保来記(C) 日保来記(C)	日标来訂(C)	日标来引(C)	大根米il (L)	進抄反	(L/ C)		大順米司(L)	進抄及 (L/ C)		大順系il (L)	進沙反	(L/ C)		大順米il(L)	進沙皮	T	-
■評価結果		1				1							1					
	所管評価				令和3年度				令和4年度			令和5年度				令和6年度		
事	【効率性評価】 業・取組の実施効率を評(価する。		・改良土については対象 鎖等の関係からも今後利る。しかし、平成30年度り、全体のリサイクル率にる。	引用率が更に をに再資源化	減少していく .対象項目の	(ものと思われ)改訂によ	・建設発生士については 効利用が図られ、利用 ます。										
						40.4				() A = T (T	- m+1 +	1	40.4) (m			1 40	A (III
	評価結果			予算効率	4点		字評価	予算効率	-7111	総合評価	予算効率		総合	>評価	予算効率		統合	今評価
	評価の観点・結果			作業効率 外的要因加点	4点	1	B ∕10-⊨	作業効率 外的要因加点	4点	B = /10=	作業効率 外的要因加点		0-	/10点	作業効率 外的要因加点			/10点
				・アスファルト廃材とコンク	0点 U_		/10点 BL 7±n	・アスファルト廃材とコング	- 7111	点/10点	外的安囚加点		U,R,	/ 10点	外的安囚加点		U,R.	/ 10点
事業・取組が目	【有効性評価】 標等を達成するために有効	かであったか評	価する。		レとなるよう促 関しては有効	進していかな 効利用及び	がければならな 集計の適正 した。	・パスクルトト焼材とコンク 引き続き完全なリサイク、 建設発生土に関しては、 化を図りましたが、建設・ クル率が昨年度より減少	ルとなるよう促進してま 有効利用の促進及び 発生土有効利用率の	, ります。また, 集計業務の適正								
	評価結果			達成度	5点		>評価	達成度	- ////	総合評価	達成度		総合	>評価	達成度		総行	合評価
	評価の観点・結果			進捗度	5点	-	A	進捗度	5点	Α	進捗度				進捗度			
	b i in - movin diplois			外的要因加点	0点	10点	/10点	外的要因加点	0点 10	点/10点	外的要因加点		0点/	/10点	外的要因加点		0点	/10点
④ 2 次評価結果														1				
					維持				維持									

金 2 八 計 岡和朱				
	維持	維持		
	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
	引き続き, 計画に沿って事業を推進すること.	引き続き,計画に沿って事業を推進すること.		
【方向性】				